

*TOKYO COLLEGE of
MUSIC*

FACTBOOK 2020

TCM

東京音楽大学

目 次

FACTBOOK2020 について	1
-------------------	---

I. 概要

1 教 育 方 針	2
2 沿 革	9
3 組 織	10
4 教 員・職 員	12
5 キャンパス・施設	16
図 書 館	17

II. 教育

1 学 生 数	22
2 入 試・入 学 状 況	27
3 卒 業・修 了	40
4 休 学・退 学	42
5 開 講 科 目 数	46
6 単 位 修 得 状 況	48
7 教 職 課 程	52
8 公 開 講 座・演 奏 会	54
9 大 学 間 連 携	57
10 学 修 行 動 調 査	58

III. 研究

1 研 究 助 成 金 等	60
2 リポジトリ	61

IV. 社会貢献

1 地 域・社 会 連 携	62
2 外 部 依 頼 演 奏 会	63
3 社 会 人 講 座	65

V. 学生生活

1 奨 学 金・授 業 料 減 免	67
2 学 生 相 談 室	70
3 学 生 寮	70

VI. 進路状況

1 学 部	71
2 大 学 院 (修 士)	72

VII. グローバル

1 受 入 留 学 生	73
2 派 遣 留 学 生	74
3 国 際 交 流	75

VIII. 財務状況

事業活動収支計算関係比率	77
--------------	----

東京音楽大学

FACTBOOK 2020 について

「東京音楽大学FACTBOOK」は、本学のInstitutional Research(IR)活動の一環として、過去の法人と大学の情報等を活用し、その経年変化等をグラフ等により可視化したデータ集です。

2018年9月、本学事務局にIR室を設置し、2019年7月より「東京音楽大学FACTBOOK」作成に係る計画を進行させ、複数年にわたる教育、研究、社会貢献、学生生活、進路状況、グローバル、財務状況等に関する現状を包括的に把握し、見やすい図や表、グラフ等に整理する取組みを実施し、第一版となる「東京音楽大学FACTBOOK2020」を作成いたしました。

IR室を設置した直後の2018年11月26日、中央教育審議会より答申のあった「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、2040年の展望と高等教育が目指すべき姿として、(1)学修者本位の教育への転換が不可欠であること。(2)教育研究体制は多様性と柔軟性において、学生、教員、教育プログラム等の確保が重要であること。(3)「学び」の質保証の再構築が必要であることが示されています。また、教育の質の保証として、学修成果の可視化や教学に係る取組み状況等の基本的な情報の積極的な公表が不可欠とされています。

さらに、2020年4月の学校教育法や私立学校法の改正などの法的な整備が進む中で、教育研究水準の維持や、大学評価基準への適合、運営基盤の強化及び透明性に努めることが求められています。

このように、本学が置かれている環境は、従前と比較して大きく変わってきており、中期的計画・事業計画の策定や具体的な運営において、エビデンスベースで行うことが不可欠になっています。今後も「東京音楽大学FACTBOOK」を適宜充実させ、本法人にとってより効果的で実効性のある業務遂行(将来構想、計画設定、政策決定、経営判断等)のための意思決定支援ツールとなることを願うとともに、社会の様々な要請や期待に応えていく本法人として、「東京音楽大学FACTBOOK」がその説明責任の一助となれば幸いです。

学校法人東京音楽大学
理事長 丸山恵一郎

I. 概要

I-1 教育方針 (1)建学の精神と理念

- ・アカデミズムと実学の両立
- ・音楽による社会貢献
- ・国際性

東京音楽大学は、鈴木米次郎により明治40年（1907年）に設立された東洋音楽学校を前身とする、我が国で最も古いルーツを持つ私立音楽大学です。昭和38年（1963年）に4年制大学として認可され、続いて昭和44年（1969年）に東京音楽大学と名称変更し、平成5年（1993年）に大学院音楽研究科修士課程、平成25年（2013年）に同研究科後期博士課程を設置し、現在に至っています。

創立者、鈴木米次郎は常々「音楽を通して社会に貢献する」と語り、私立学校設立認可願にも「汎ク音楽ニ関スル学科及術科ヲ教授シ以テ高潔ナル品性ノ修養ヲ得セシムルニアリ」と記されています。鈴木は、西洋音楽に関する学問の探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽家及び音楽教育者を育成し、それによって社会に貢献することを願っていました。

この建学の精神は「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」として、創立当初より、修業年限を東京音楽学校（現・東京藝術大学）と同じ3年（他の私立音楽学校は1～2年）とすること、視覚障がい者のための点字楽譜を開発すること、清国留学生を積極的に受け入れること（これら留学生は中国における西洋音楽教育普及に尽力しました。）、卒業生を「船の楽士」として太平洋航路の客船に乗船させること等の実践活動を通じて実現されてきました。

この精神は本学における教育の基本理念として現在の学則にも反映されており、社会の第一線で活躍する教師陣等による我が国でも最高レベルの教育水準を保つことにより、国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者、入選者を例年多数輩出し、音楽界、教育界、さらに近年では音楽産業分野にも優秀な人材を送り出すに至っています。

I-1 教育方針 (2)教育の目的

学則では、本学の教育目的を次のように謳っています。

「本学は、教育基本法に則り、広く一般教育の知識を授けるとともに、音楽の専門教育を行い、これを通じて人格の完成をはかり、もって有為な音楽家を育成することを目的とする。」（学則第2条）

「本学は、音楽芸術の研鑽を通じて、高度な専門性を有した音楽家、音楽教育者を育成する。また、自らの音楽的個性とともに幅広い教養を備え、現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを教育目標とする。」（学則第2条の2）

「本学大学院は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。」（大学院学則第2条）

I-1 教育方針 (3)使命・目的

東京音楽大学では互いに関連しあう6つの使命・目的を定めている。

1. 教育

音楽の高度な専門教育を実施することによって、実力ある音楽家、音楽教育者、音楽研究者を始めとし、広く音楽界に貢献する人材の育成を第一の目的とします。専門教育だけではなく一般科目との連携によって、個の確立、協調性と社会性の獲得を目指し、「アカデミズムと実学の両立」の精神による、現代社会に通用する人間の育成を目指します。

2. 演奏

学生に多くの演奏の機会を与えるとともに、それによって多くの人々に、演奏に親しむ機会を提供します。演奏活動を通して学生の演奏能力の向上を図り、同時に自立する力や社会性を育てます。また、演奏会の企画、運営などを学ぶ場も設定し、音楽を社会に提供する姿勢を育んでいます。

3. 国際性

ヨーロッパやアジアの様々な大学と提携し、学生の派遣、演奏家や教育者の招聘によって、国際的な視野を持つ人間を育てることに努めます。学生オーケストラ、吹奏楽団の海外演奏会も行います。

4. 研究

教員自ら修練を重ね、優れた音楽を演奏し、社会に提供することに努めます。実践的な音楽演奏に留まらず、演奏法や指導法の開発、新しい音楽の創造、その基盤となる音楽研究、それらを支える様々な研究領域についても研鑽を積みます。また、卒業後も研究を望む学生のために大学院を設置しています。

5. 多様な音楽的価値観の尊重

西洋の伝統的な音楽だけでなく、日本、アジアを始めとする様々な音楽的価値への多角的な視点を獲得する機会を提供します。ジャズ、ポピュラー音楽などについても講座や専攻を開設することによって、より広い視野や多面的な能力を持つ音楽人の育成に努めます。

6. 地域連携

地域の自治体や様々な学校との連携を促進します。学内で開かれるコンサートは地域に広く公開し、公開講座などを通じて地域とのつながりを大切にします。

— 音楽文化の新たな地平を拓く —

東京音楽大学は、1907年の開学以来、建学の精神である「音楽を通して広く社会に貢献できる人材の育成」を目標に、演奏活動を通じて海外協定機関等との緊密で多様な音楽文化の交流を育みながら、演奏力を安定的に発展、成熟させるとともに、教育研究の世界展開に多くの成果を挙げてきました。

本学は、急速な技術革新やグローバル化が進展する現代社会にあって、伝統を継承しつつ、常に新たな教育と研究の道を模索してきました。2017年4月には、音楽を柱に、教養と英語の能力も身につけて世界のあらゆる分野で活躍できる人材を育成する「ミュージック・リベラルアーツ専攻」を開設し、2019年4月には、新たに「中目黒・代官山キャンパス」を開校するとともに、「吹奏楽アカデミー専攻」を開設するなど、教育研究の質の飛躍的向上と充実に取り組んで参ります。

新しい時代に向けて音楽文化を創造し、音楽により、また音楽を通して、急激に変化する社会の様々な要請や期待に応えていくことを目指して、「東京音楽大学ビジョン」を定めました。

1. 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。

音楽は、人間の感性に直接働きかける力を持ち、あらゆる境界を越えて広がっていく可能性を秘めています。

本学は、先進的な教育、研究及び社会貢献等を基盤として、人の心を自由にし、豊かな未来を実現する音楽文化の新たな地平を拓いていきます。

2. 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。

急速な技術革新やグローバル化等により絶えず変化する社会にあって、音楽大学には、演奏や音楽活動を通して人びとに感動を与え、その精神を崇高にし、多様な価値観を受け止められる感性を有する人材の育成が求められます。

本学は、学生一人ひとりが音楽に関する高度で専門的な知識・技術とともに豊かな教養を身につけ、西洋・東洋の枠を超えた多様な音楽文化や、音楽とITを融合する最先端の分野等についても多角的な視点を持った人材を育成し、社会のニーズに応えます。

大学院教育については、その質の格段の向上と、未来を牽引する人材を育成する観点から、教育研究組織の改編を含め抜本的な改革を推進し、その進化を図ります。

3. 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。

音楽文化の多様化、複雑化が進む現代において、未来を切り拓く多彩なアプローチによる音楽文化に関する研究や、本学の強みである演奏法や指導法の開発を推進し、異分野の研究者との共同研究を組織的に展開していく。これらの最新の研究成果を教育に反映するとともに、世界に発信します。

また、附属民族音楽研究所においては、アジア音楽の研究拠点として創造的な研究を推進します。

4. 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。

グローバル化が進展する中で新たな音楽文化を創造するには、歴史とともに社会をよく知ることが求められ、多文化が共存するキャンパスであることが不可欠です。

多様な価値観を尊重することの重要性を踏まえ、教職員、学生及び教育研究等について双方向の国際交流を活発化するとともに、多様な背景を持った人の受入れを積極的に推進します。

これらを通して国際性に富んだ人材を育成するとともに、国際交流推進のための環境整備を図ります。

5. 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。

音楽活動を通じて地域社会から求められる社会貢献活動を行い、地域社会の活性化及び文化力の向上に貢献します。

そのため、地域社会に開かれた大学として、自治体、音楽関係団体、音楽コミュニティ、さらに校友会等との連携及び協働によるコンサート、公開講座、ワークショップ、音楽祭等を活発に展開します。また、自治体、産業界、音楽コミュニティ等の要請により本学の学生及び教職員を積極的に派遣し、魅力ある地域づくりに貢献します。

6. クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

本学は、2019 年 4 月に中目黒・代官山キャンパスを開校し、従来の池袋キャンパスとの連携の下、機能性、創造性、知的生産性、安全性及び ICT 環境等を備えた「クリエイティブ・キャンパス」を創出・運営して、教育研究の質の一層の向上を図るとともに、教職協働による働き方改革を積極的に推進し、教職員及び学生が自ら成長し続ける大学を実現します。

また、付属高等学校を池袋キャンパスに移転統合して実効性のある高大接続改革を推進します。

そのため、大学の将来を見据えた経営戦略に基づく財務計画を策定し、中長期的な財政基盤の確立を図ります。

2019 年 1 月 11 日策定

I. 概要

I-1 教育方針 3ポリシー(学部)

ディプロマポリシー

アカデリズムと実学の精神を両立させることによって、個の確立、協調性、社会性、国際性を獲得し、広く社会に貢献することのできる人材を世に送り出します。

社会において音楽家として活動するためには、以下の3つの自立を果たすことが必要です。

- 自ら演奏や作品を組み立てることができる。
- 自ら音楽における教育の工夫ができる。
- 自ら音楽活動をする場を作り出すことができる。

これらの自立を実現するためには、以下のことを修得する必要があります。

- A. 様式に則した演奏能力や創作能力を身に付けていること。
- B. 音楽の理論や歴史、体系を理解していること。
- C. 専門領域に留まらない教養を身に付け、演奏家、教育者を始め、様々な音楽分野で活躍できる力を持っていること。
- D. 複数の外国語の基本を身に付けていること。
- E. 社会における音楽の役割について考察し、活動できること。
- F. 上記の学習した事柄を総合して、専攻した音楽の分野を的確に表現できること。

以上の能力を身に付け、所定の単位を取得した者に対して、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

カリキュラムポリシー

個人レッスンを核とする専攻科目を中心に、専門基礎科目・専門共通科目で音楽的能力の基礎を固めるとともにその幅を拡げ、さらに、基礎教育科目で国際人としての広い教養を身に付けることにより、音楽を土台として現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを目標とします。

1. 専攻科目：質の高い専門教育を実施し、高度な能力を持つ音楽人を養成します。その実現にあたっては、全専攻での一流の教員による個人レッスンとともに、多くの専攻でアンサンブル教育の充実に力を入れています。
2. 専門基礎科目：音楽を専門的に学ぶための基礎を固めます。
3. 専門共通科目：専攻の枠を超えた音楽的素養を身に付け、その幅を拡げます。
4. 基礎教育科目：音楽家として、社会人としての豊かな教養を培います。

これらに加え、学生の興味・関心に合わせて、教職課程科目・特別実技科目などの多彩なプログラムも提供しています。また、成績優秀者には、大学が主催する各種演奏会への出演の機会が与えられます。さらに、海外の大学等と交流協定を結んでおり、選抜された学生には短期留学の機会が与えられます。

アドミッションポリシー

- 大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。
- 音楽の学習には外国語も必要です。
- 専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

I-1 教育方針 3ポリシー(大学院)

音楽研究科 修士課程

<ディプロマ・ポリシー>

大学院修士課程においては所定の単位を修得し、かつ以下に示す能力を身に付け、学位審査試験に合格した者に、修士（音楽）の学位を授与します。なお、学位審査試験は修士演奏・修士作品あるいは修士論文（一部専攻においてはこれらの組み合わせ）及び最終試験によって行います。

- 1) 高度な専門的知識・技能と研究能力を身に付け、自立的で質の高い音楽活動を展開できること。
- 2) 旺盛な国際感覚を持ち、多様な音楽的価値観を尊重できること。
- 3) 現代社会における音楽芸術のあり方について考察し、音楽による社会貢献ができること。

<カリキュラム・ポリシー>

器楽専攻

学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。

時代や地域、演奏形態、楽器の特性、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。

学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。

2年次にはリサイタル形式の修士演奏を行います。

声乐専攻

学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。

時代や地域、演奏形態、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。

声乐にとって必要な外国語の能力を獲得し、日本語も含めた正しい発音、発声法、歌唱法に基づく芸術的な表現と言語能力を獲得します。

オペラ研究領域では、朗読、立ち居振る舞い、パントマイム、バレエ等の身体表現を学び、舞台での実践力を修得します。

学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。

2年次には修士演奏を行います。

作曲指揮専攻(作曲)

自らの個性的な創作の基盤ないしは起点となるべき課題を定め、自主性をもって能動的な研究活動、研究発表を行うことにより、総合的な作曲能力の向上を目指します。

最先端情報処理技術を探求し、進化し続けるマルチメディア環境を学び、その実践に取り組みます。

2年次には修士作品を作成します。

作曲指揮専攻(指揮)

指揮者というものの存在意義を再認識し、高度かつ機能的な技法を学び、深い知識や教養の獲得を目指します。

指揮者として自分を見つめ、自分に必要なことを自ら判断する能力を身につけます。

指揮の技法・音楽的な知識・教養はもとより、広く人間同士のつながりが大切であることを学びます。

2年次には修士演奏としてオーケストラを指揮します。

音楽文化研究専攻(音楽教育)

音楽教育に関わる専門的な知見を身につけ、研究能力と実践力を修得します。

社会における様々な音楽文化活動の展開を可能にする幅広い知識を身につけ応用力を獲得します。

音楽教育、音楽文化活動に関わる課題を設定し、修士論文を作成します。

音楽文化研究専攻(音楽学)

音楽学研究に必要な方法論を追究します。

演奏や教育、周辺領域を含む広範囲な視座の獲得を目指します。

学生それぞれが目指す将来の職業（研究者や教育者など）に対応する能力が身につくようにします。

自分の問題意識を明確化し、それに基づいて修士論文を作成します。

I. 概要

I-1 教育方針 3ポリシー(大学院)

音楽文化研究専攻(ソルフェージュ)

楽曲の総合的理解、把握、解釈を可能にする高度な読譜力の修得を目指します。

指導法や教材作成など、ソルフェージュ教育に必要な能力を獲得します。

学生それぞれが目指す将来の職業（教育者や研究者など）に対応する能力が身につくようにします。

各自の専門実技のさらなる修得に加えて、2年次には修士論文を作成します。

音楽文化研究専攻(多文化音楽)

日本を含む世界各地の伝統的な音楽文化を理論と実技の両面から専門的に学びます。

伝統的な音楽文化を生かした新しい音楽文化（作品、演奏、研究など）の創造を目指します。

2年次には、理論研究に重点を置いた修士論文の作成、あるいは、実技研究に重点を置いた作品や演奏を通した課題研究の作成により研究の成果をまとめます。

<アドミッション・ポリシー>

音楽の専門的な研究に必要な基盤を備え、高度な技術、知見、研究能力を持ち、かつ社会の現況と今後の動静に対応できる柔軟な資質と強い意欲を持つ人材を求めます。

音楽研究科 博士後期課程

ディプロマポリシー

博士後期課程では「音楽の各分野における高度な専門性」「総合的な知見」「社会的・実践的能力」を備えた次のような人材を育成する。

1. 音楽の演奏や創作に関する高度の専門性を有することに加え、総合的な知見をもって文化の進展に寄与する芸術表現を論理的かつ主体的に研究、追求し、かつこれを他分野の人々にも言語化して伝達することを通して社会的・実践的能力を発揮することのできる音楽家、すなわち音楽の実践を行う演奏家並びに作曲家（以下「音楽家」という）。
2. 音楽と教育に関する専門的な知識を修得していることに加え、それらを基盤としながら学際的な研究を行い、かつ音楽教育における実践的スキルと指導法を習得し、教育実践と研究活動をバランスよく遂行しながら、音楽家や音楽学研究者と共同して音楽文化の発展に貢献し、主に高等教育において音楽家や音楽教師の育成に携わる音楽教育者並びに音楽教育学研究者。
3. 音楽に関する深い学識をもって、人間の音楽文化を価値づけることに加え、総合的な知見を有しながら自立して研究を推進し、かつ様々な音楽家や音楽教育者、音楽教育学研究者とも共同して、その成果を社会に発信していく実行力をもった音楽学研究者。

カリキュラムポリシー

学生は専門性、総合性、社会的・実践的能力のいずれをも獲得することが、実社会に出て活動するためには必須である。そのために、本学の博士後期課程のカリキュラムは、「専門研究科目」（選択必修）において専門性を高め、「共同研究科目」（選択必修）においてより広い知見と社会的・実践的能力を養い、「総合研究科目」（必修）においては、より広い知見を獲得するとともにそれらを総合し、博士論文や博士演奏、博士作品制作などを行うよう授業科目を配置している。

アドミッションポリシー

本研究科は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的としている。

博士後期課程においては、修士課程で培った専門的な知識・能力に加えて、総合的な知見と社会的・実践的能力を備えた高度専門職業人（音楽家、音楽教育者）と研究者（音楽教育学研究者、音楽学研究者）の養成を行うこととしている。

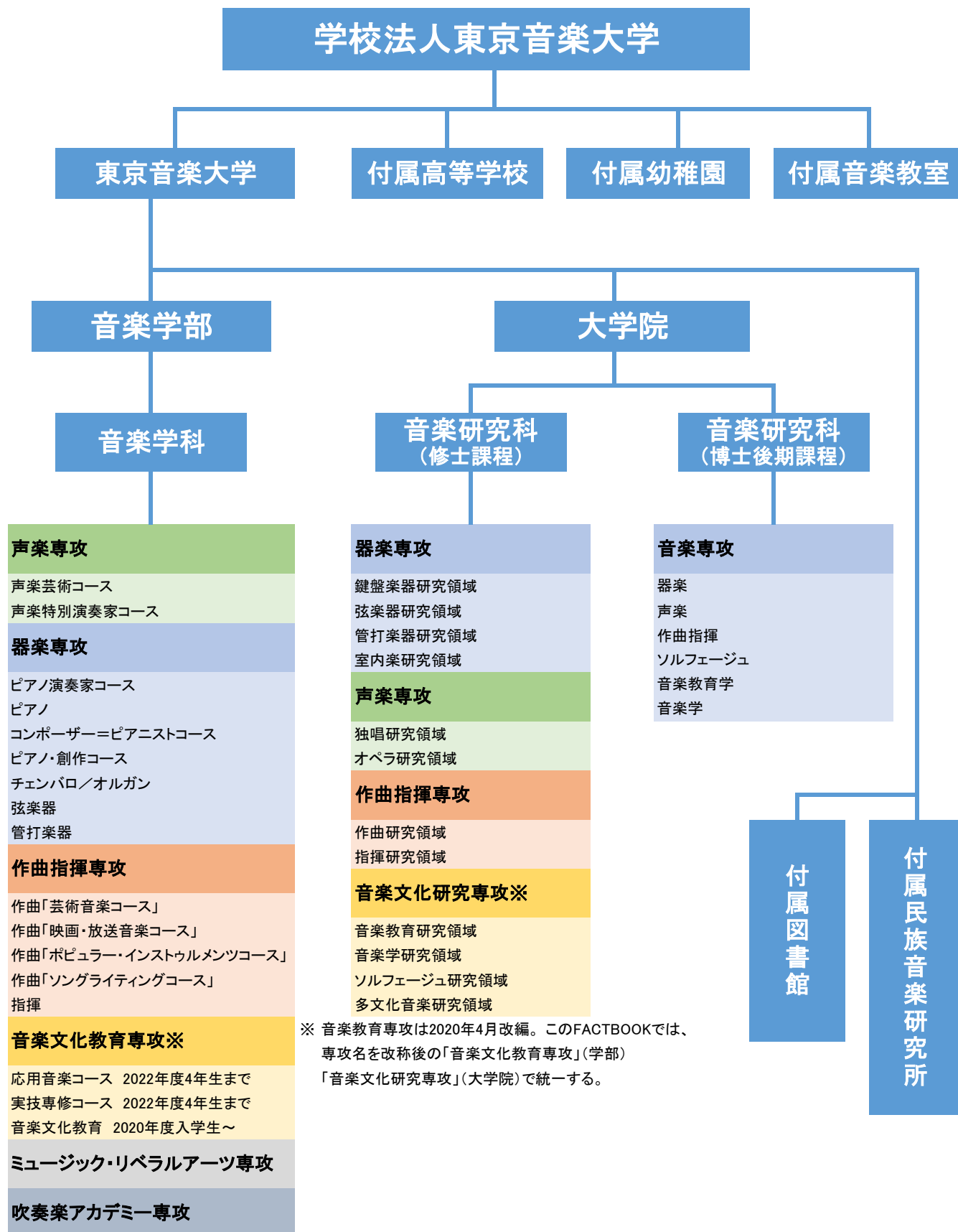
音楽研究科の教育研究に関する基本理念は、人間力豊かで広い視野を持ち、音楽に関してより高度な専門性と独創力を有し、国内外で活躍する音楽家、音楽教育者、音楽教育学研究者並びに音楽学研究者を育成することにある、次のような資質と問題意識を持つ人材を対象として入学選抜を行う。

1. 博士後期課程への進学目的が明確な者
2. 専門分野における基礎的・専門的な音楽力及び語学力を身に付けている者
3. 博士後期課程の教育研究目標や研究活動を十分理解し、活用できる者

I-2 沿革

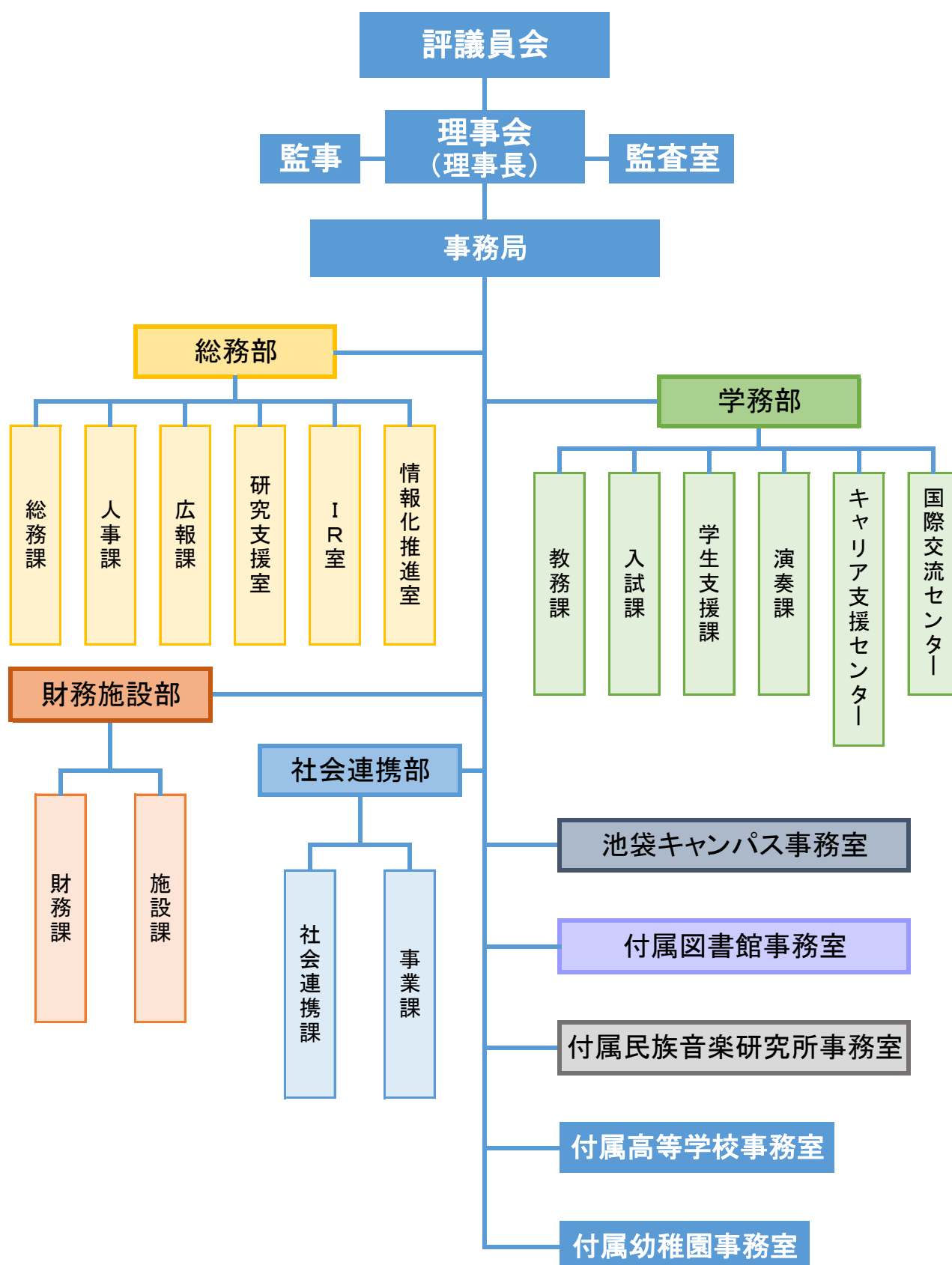
明治 大正	1907 明治40年 5月	鈴木米次郎、東京市神田区に本学の前身となる東洋音楽学校を創立 現存する私立音楽大学の中で最も古い伝統を有する。本科と別科があり、ピアノ、オルガン、ヴァイオリン、独唱、作曲を教えた。
	1908 明治41年 9月	管弦楽部設置
	1910 明治43年 3月	東京フィルハーモニー会設立、事務所を本校に設置
	1912 大正元年 4月	卒業生中心の東京オーケストラ団を結成
	8月	東洋汽船会社の地洋丸などアメリカ航路の客船に本校卒業生による楽団が乗船し、20年近く活動を続けた。
	1916 大正 5年 1月	日本の音楽教育機関として初めて雅楽科を開設
	1923 大正12年 9月	関東大震災のため校舎全焼 当時池袋にあった成蹊学園(現成蹊大学)の一部を借り、授業再開
昭和	1924 大正13年 11月	北豊島郡高田町大字雑司ヶ谷(現豊島区南池袋)に校舎移転
	1926 昭和元年 4月	師範科設置
	1930 昭和 5年 11月	現在のB館敷地に鉄筋2階建新校舎竣工
	1937 昭和12年 4月	グルック作曲:歌劇《アウリスのイフィゲニア》を本邦初演(日比谷公会堂)、オーケストラは新交響楽団(現NHK交響楽団)NHKにより全国に中継放送
	9月	演奏旅行(福島、仙台、函館、岩見沢、帯広、池田、網走、北見、旭川、札幌)
	1940 昭和15年 6月	ウェーバー作曲:歌劇《魔弾の射手》を本邦初演(日比谷公会堂) オーケストラは中央交響楽団(現東京フィルハーモニー交響楽団)
	1945 昭和20年 4月	空襲により校舎焼失、終戦後残った鉄筋校舎で授業再開
	1954 昭和29年 2月	東洋音楽短期大学設置認可(声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻)
	1960 昭和35年 9月	A 館(旧)竣工
	1963 昭和38年 2月	東洋音楽短期大学から4年制の東洋音楽大学に移行設立(声楽専攻、器楽専攻、作曲指揮専攻) 短期大学学生募集停止(昭和45年3月廃止)
	1965 昭和40年 6月	A 館(旧)施設拡張(ホール、研究室、学生食堂、会議室を増設)
	1969 昭和44年 4月	B 館竣工(11 階建、レッスン室、教室、スタジオ)
	8月	東洋音楽大学から東京音楽大学に名称変更
	1970 昭和45年 4月	目白台学生寮竣工
	1971 昭和46年 4月	声楽専攻にオペラコース新設(平成13年まで)
	1973 昭和48年 5月	付属図書館竣工
	1974 昭和49年 4月	付属音楽教室開設
	1975 昭和50年 4月	音楽教育専攻新設
	1975 昭和50年 9月	付属民族音楽研究所開設
	1976 昭和51年 4月	器楽専攻にピアノ演奏家コース新設
	7月	東京音楽学校(旧東洋音楽学校)廃止
平成	1989 平成元年 4月	作曲指揮専攻に映画・放送音楽コース新設 声楽専攻に声楽演奏家コース新設
	1991 平成3年 1月	邦楽研究室棟使用開始
	1993 平成5年 3月	大学院音楽研究科修士課程設置認可(器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻、音楽教育専攻)
	1994 平成6年 3月	J 館竣工(スタジオ、レコーディングルーム、教室、レッスン室)
	2004 平成16年 9月	K 館(法人事務室・会議室・研究室)使用開始
	2005 平成17年 4月	作曲指揮専攻にポピュラー・インストゥルメンツコース新設
	2007 平成19年 3月	創立100周年記念本館(A館)竣工
	4月	音楽教育専攻改編(応用音楽教育コース・実技専修コース)
	2011 平成23年 4月	器楽専攻にピアノ演奏家コース・エクセレンス新設
	2012 平成24年 4月	作曲指揮専攻にソングライティングコース新設
	2013 平成25年 11月	大学院音楽研究科博士後期課程設置認可(博士(音楽)、博士(音楽教育学)、博士(音楽学))
	2014 平成26年 4月	器楽専攻にコンポーザー=ピアニストコース、ピアノ・創作コース新設
	2017 平成29年 4月	ミュージック・リベラルアーツ専攻新設
	2018 平成30年 4月	声楽専攻改編(声楽芸術コース/声楽特別演奏家コース)
	2019 平成31年 4月	中目黒・代官山キャンパス開校 吹奏楽アカデミー専攻新設
令和	2020 令和2年 4月	音楽文化教育専攻 改編
	2021 令和3年 4月	作曲指揮専攻のミュージック・メディアコース改編 (映画・放送音楽コース、ポピュラー・インストゥルメンツコース、ソングライティングコース統合)

※海外演奏旅行についてはⅦ. グローバル(3国際交流)に掲載



※ 音楽教育専攻は2020年4月改編。このFACTBOOKでは、専攻名を改称後の「音楽文化教育専攻」(学部)「音楽文化研究専攻」(大学院)で統一する。

I-3 組織 (2) 法人・事務組織図 2020年度

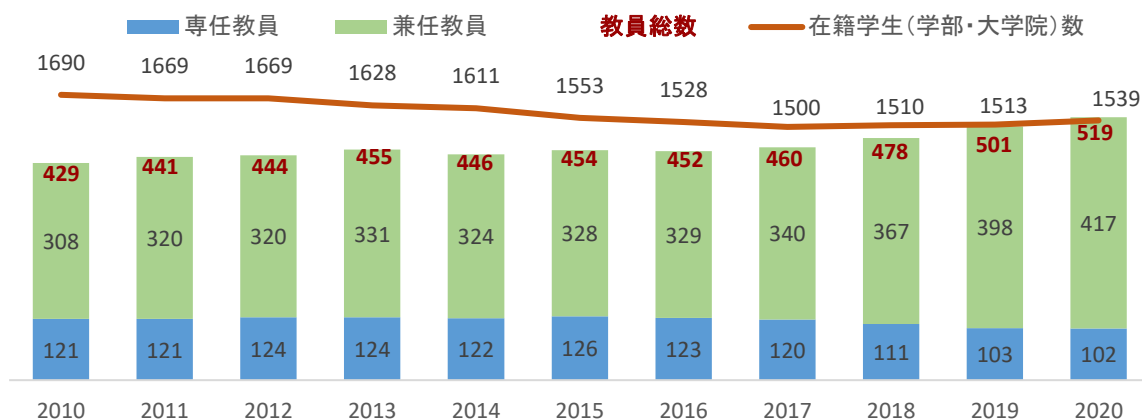


I. 概要

I-4 教員・職員 (1) 教員

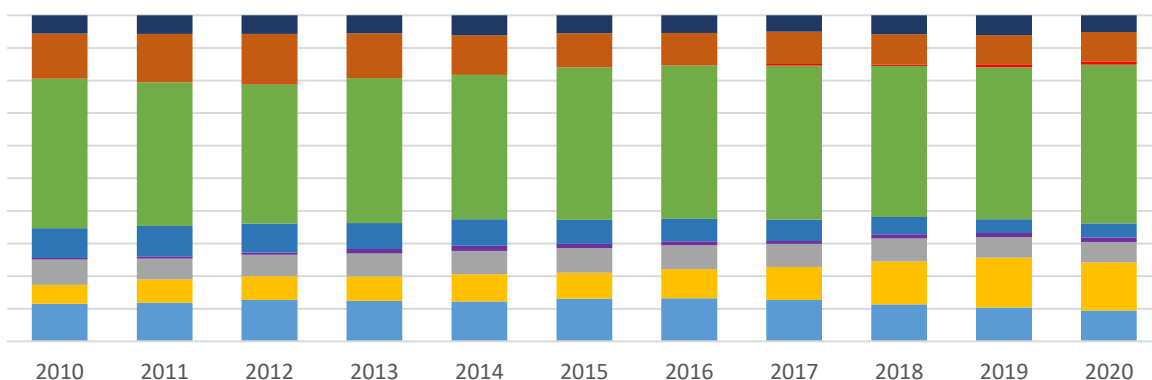
※教職員数・学生数は各年度5月1日付けの数字

教員数・在籍学生数推移 2010～2020



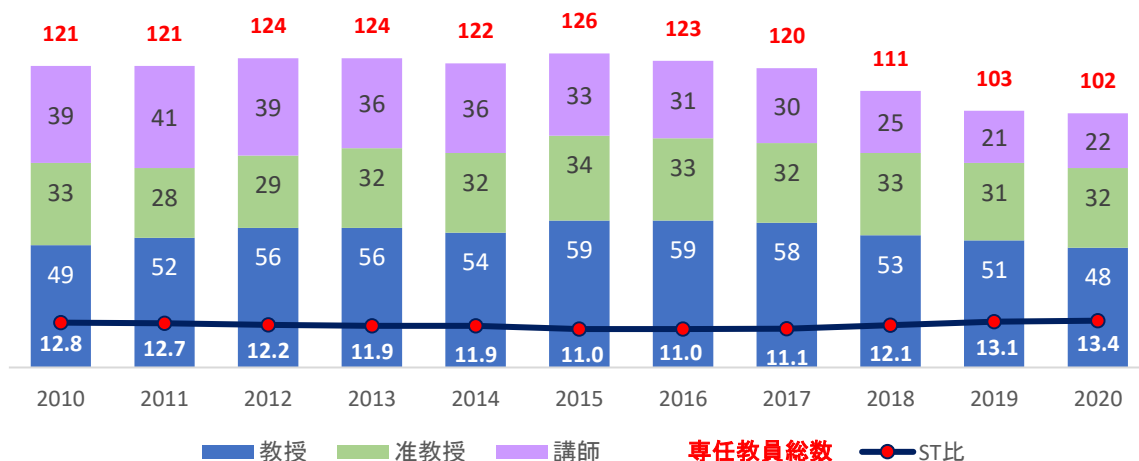
※附属機関の教員数は含まない。在籍学生数には学部・大学院とも科目等履修生は含まない。

職位別割合推移



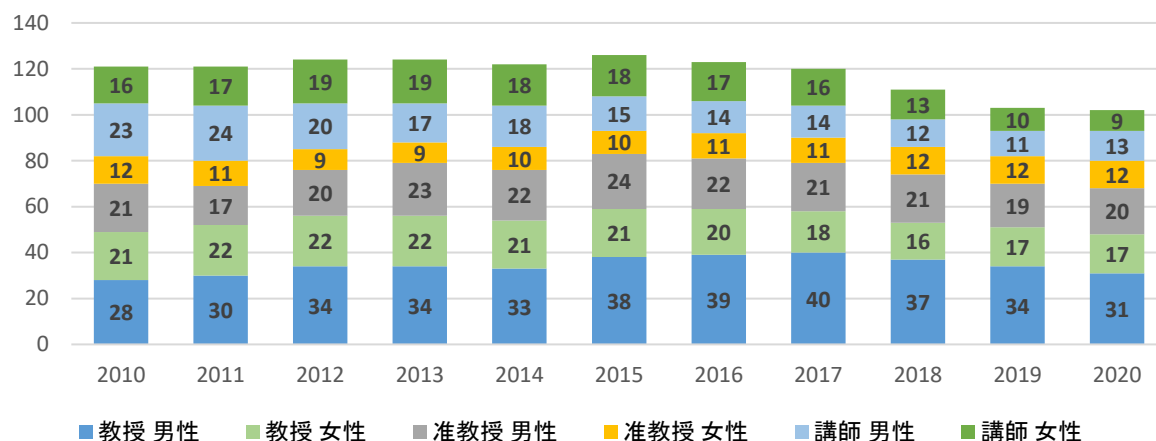
■教授 ■客員・特任・兼任教授 ■准教授 ■客員准教授 ■専任講師 ■特任・兼任講師 ■助教 ■助手 ■研究員

職位別専任教員数・ST比推移

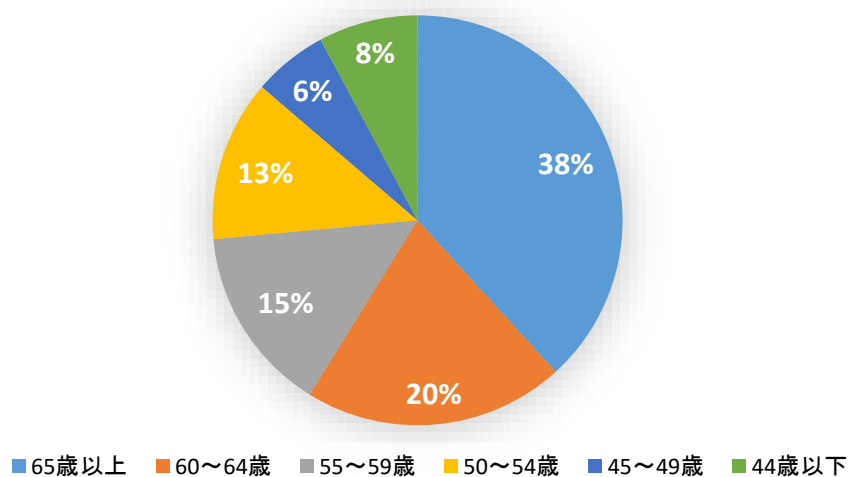


※ST比は専任教員一人当たりの学生数。本グラフでは学部所属教員数と学部学生数に基づき算出。

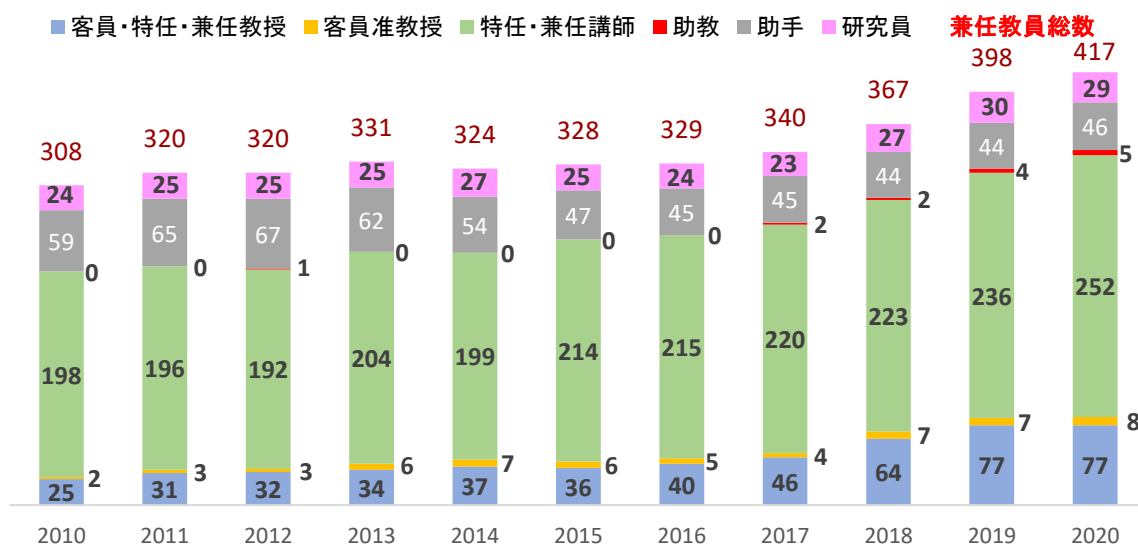
専任教員職位・男女別教員数推移



2020年度 専任教員年齢別割合(平均59.4歳)



職位別兼任教員数推移

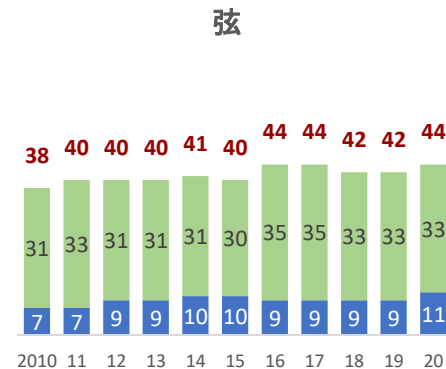
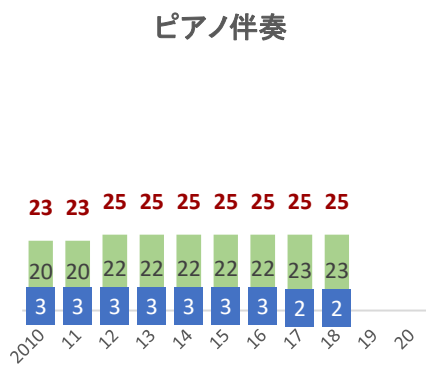
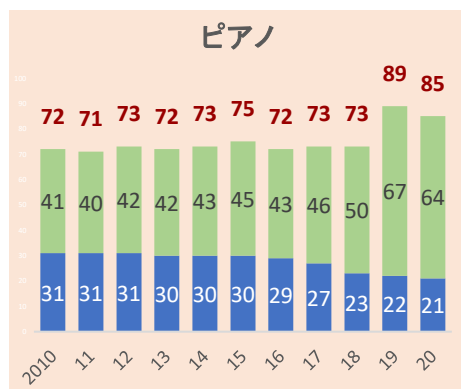


I. 概要

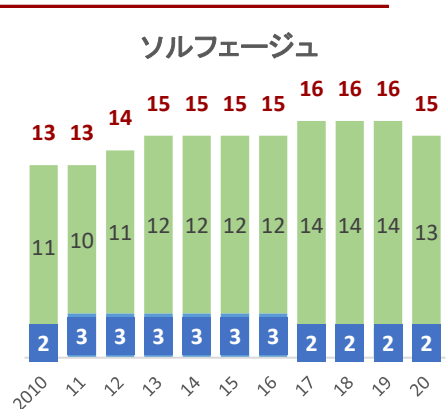
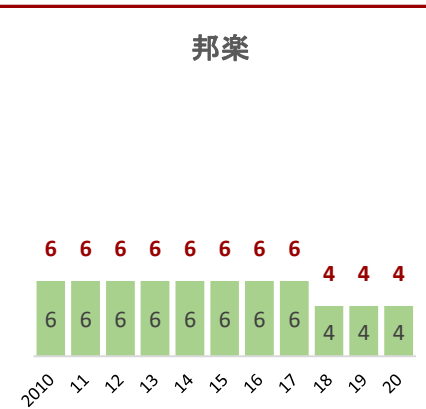
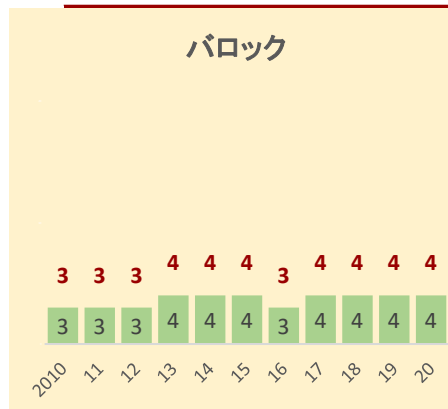
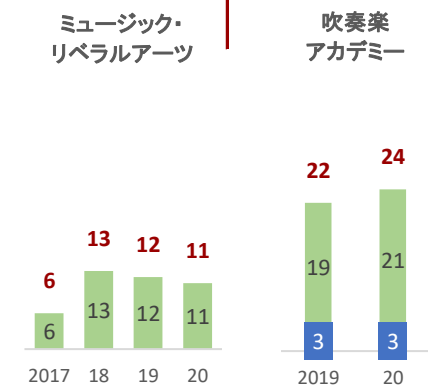
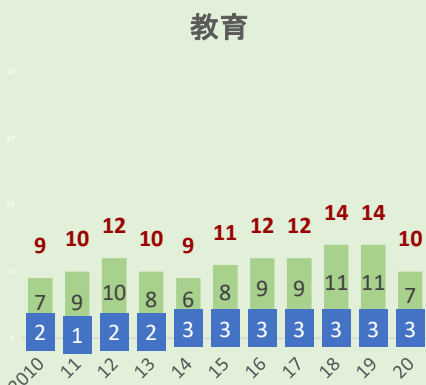
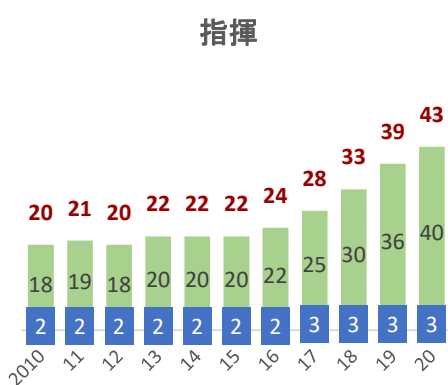
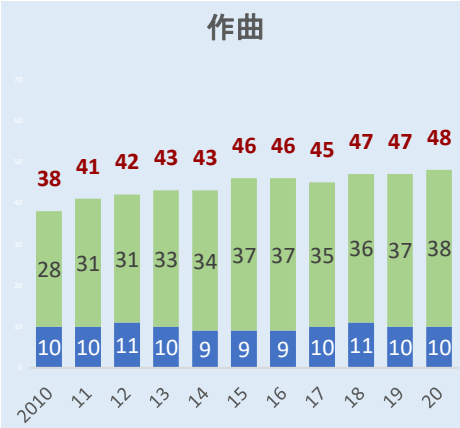
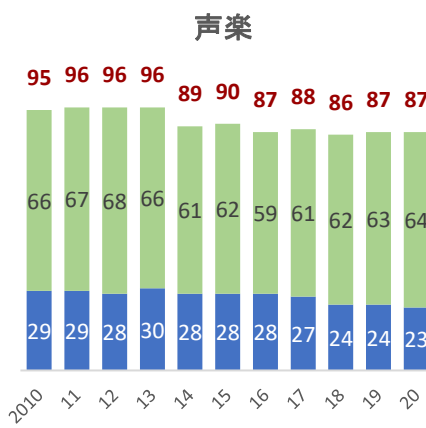
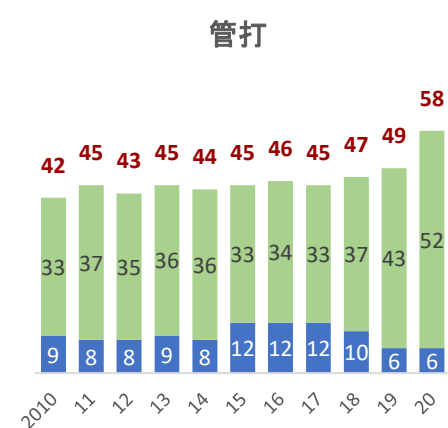
I-4 教員・職員 (1)教員

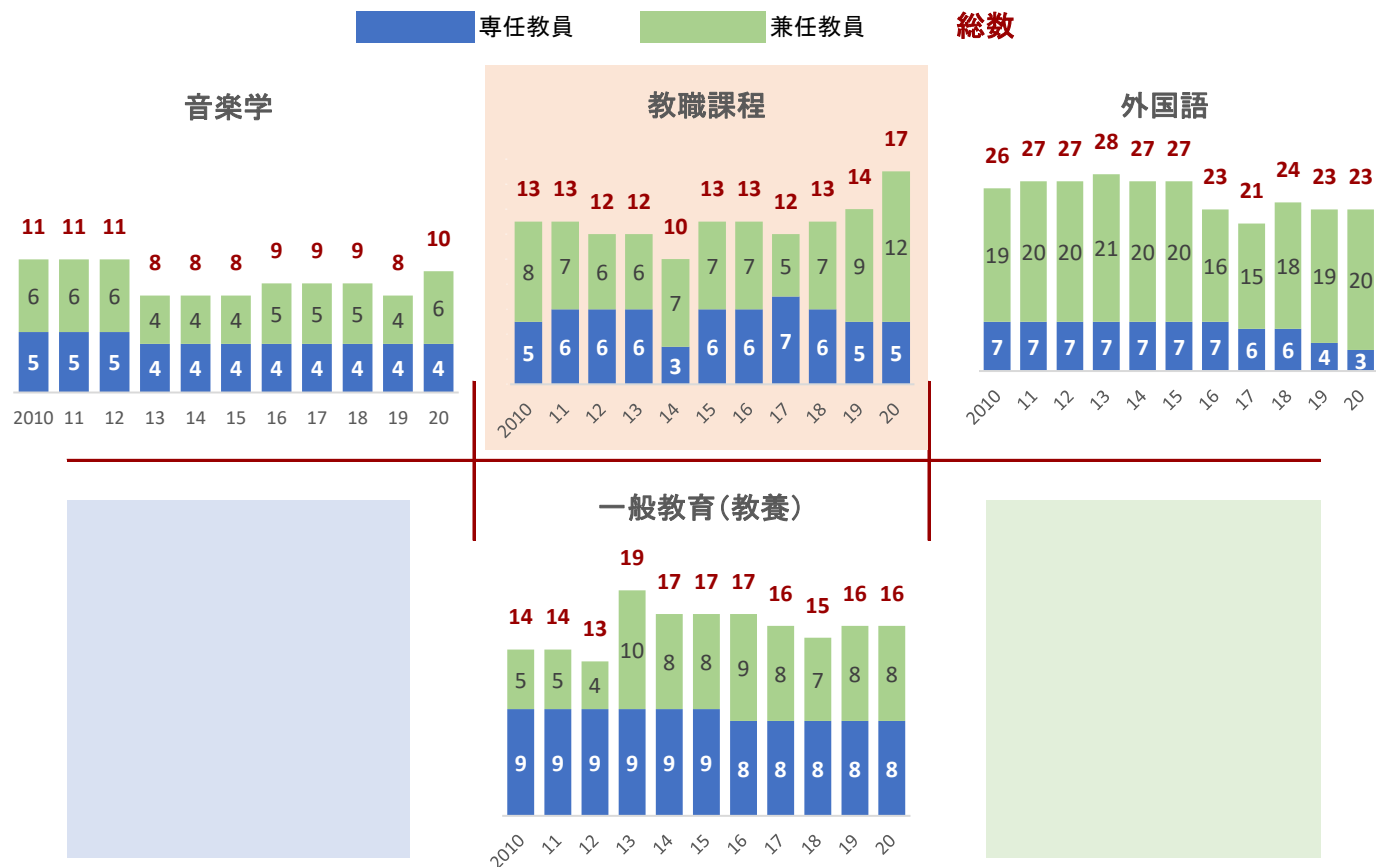
所属別教員数推移(各所属研究員を含む)

専任教員 兼任教員 総数

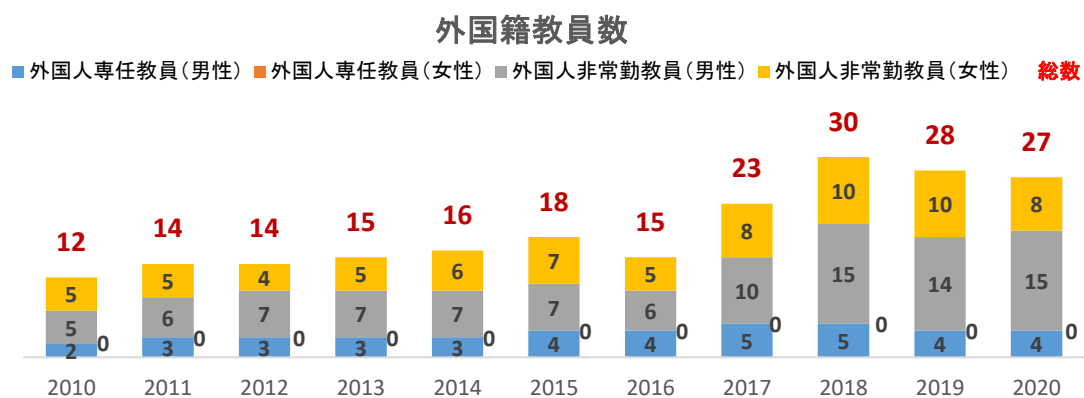


※2019年度～伴奏の教員はピアノの所属となっている。

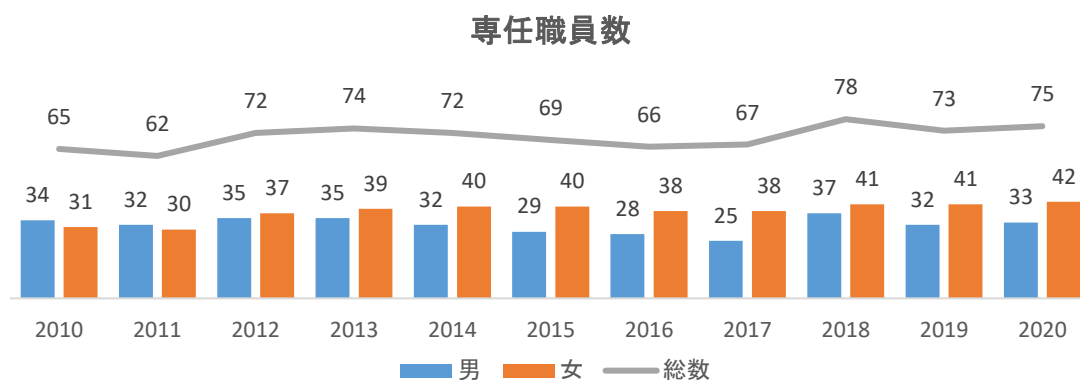




I-4 教員・職員 (2) 外国籍教員



I-4 教員・職員 (3) 職員



I-5 キャンパス・施設 (1) キャンパス・学生寮

中目黒・代官山キャンパス

TCMホール(音楽ホール) 422席	
TCMスタジオ(録音・録画)	
レッスン室	81
教室	20
特大教室	1
練習室	62
コンピュータ室(Windows 30台)	1
コンピュータ室(Macintosh12台)	1
キーボード室(23台)	1
クリエイティブラボ	
自習室	1
グループ学習室	5
セミナーエリア	
セミナールーム	2
学生と街のレストラン	1
楽器室	1
カフェ(DEAN&DELUCA)	
売店(KAWAI)	

池袋キャンパス

100周年記念ホール(音楽ホール) 806席	
レコーディングルーム	1
レッスン室	56
教室	27
B館スタジオ(大教室・パイプオルガン)	
J館スタジオ(大教室)	
練習室	79
B館コンピュータ室(Windows 32台)	1
J館コンピュータ室(シンセサイザー・PC18組)	1
体育館	1
学生食堂	1
楽器室	1
付属図書館	
付属高等学校	
付属幼稚園	
付属民族音楽研究所	

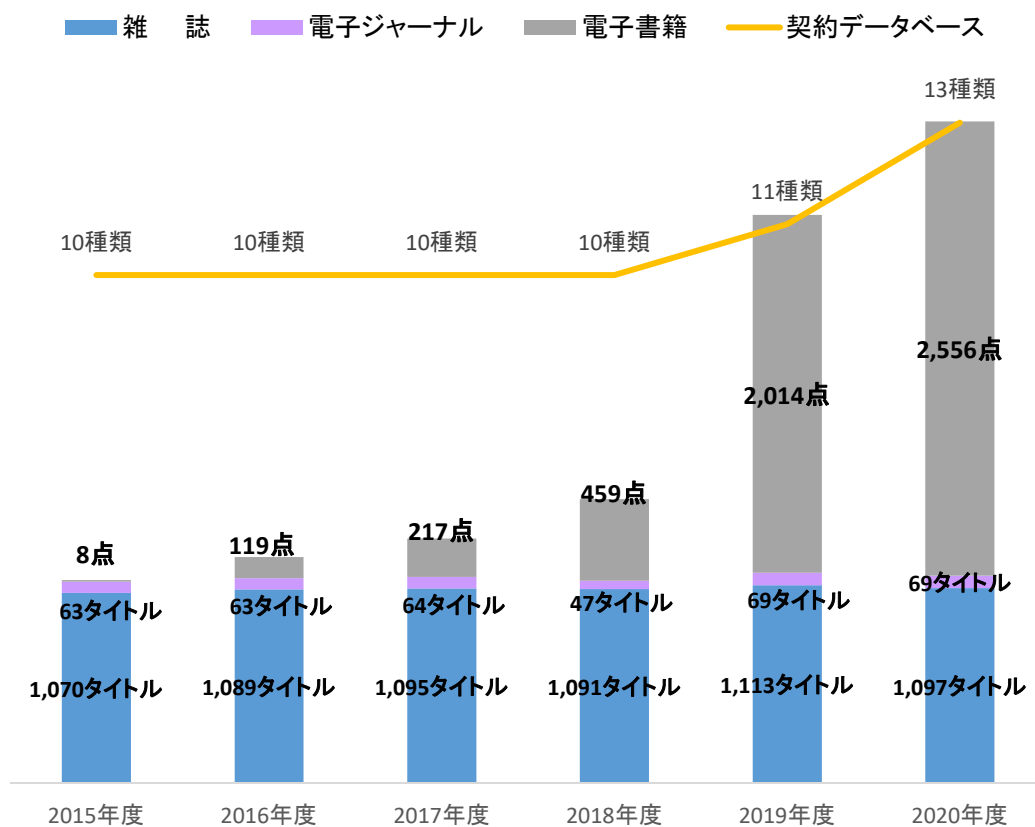
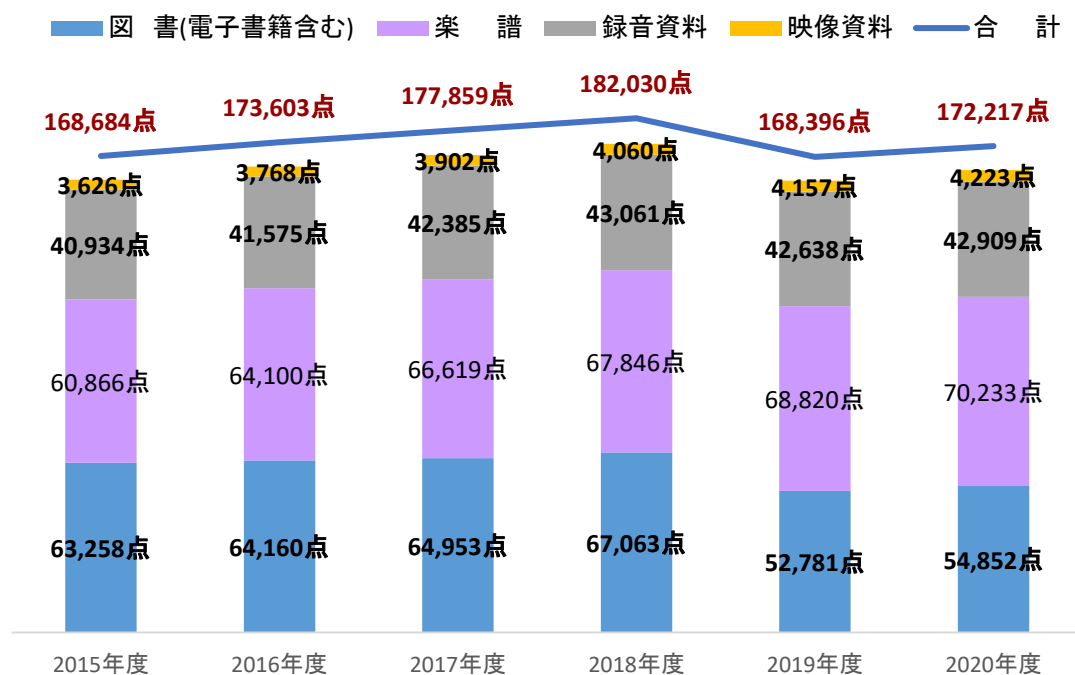
目白台女子学生寮

定員	92名(2人部屋)	※付属高校生分を除く
練習室	45室	

※現在池袋キャンパス内に学生寮を建設中(2022年4月完成予定)

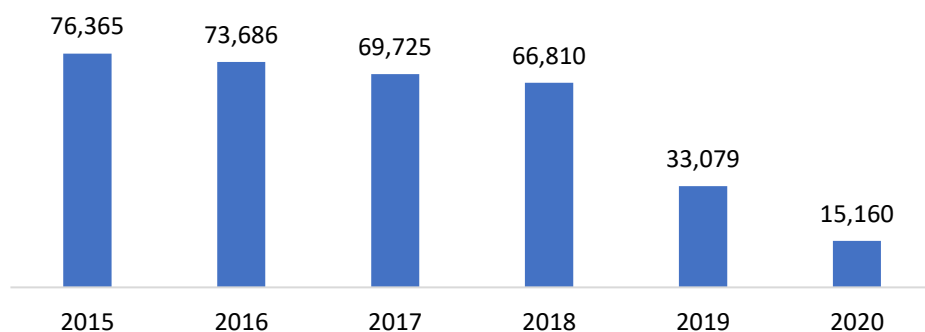
I-5 キャンパス・施設 (2) 図書館

蔵書数



利用状況

入館者数



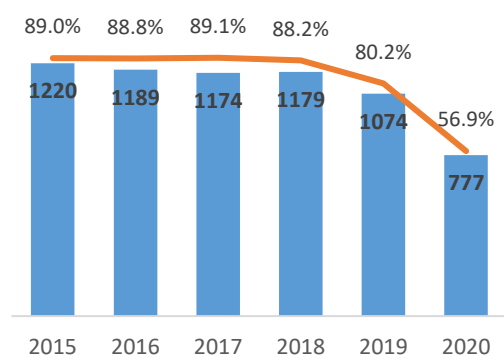
※図書館(池袋キャンパス)入口のカウンターに記録された数。中目黒・代官山キャンパス(クリエイティブラボ)での利用者数はカウントされていない。

利用者数

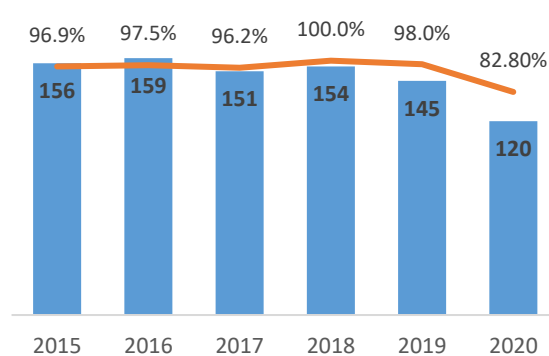
一度でも図書館を利用した学生の数

■ 利用者数 — 割合(利用者数÷在籍(登録)数)

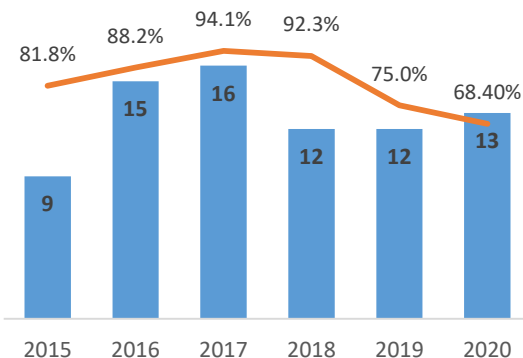
学部



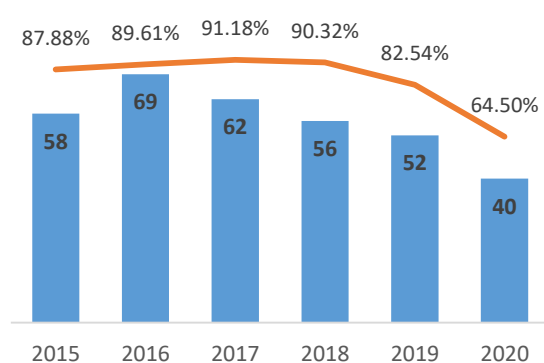
修士



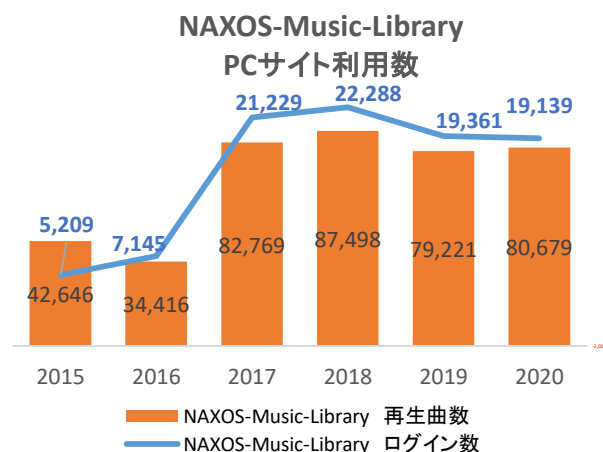
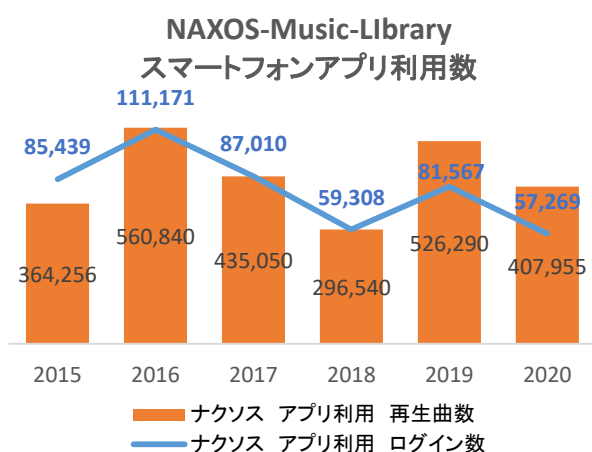
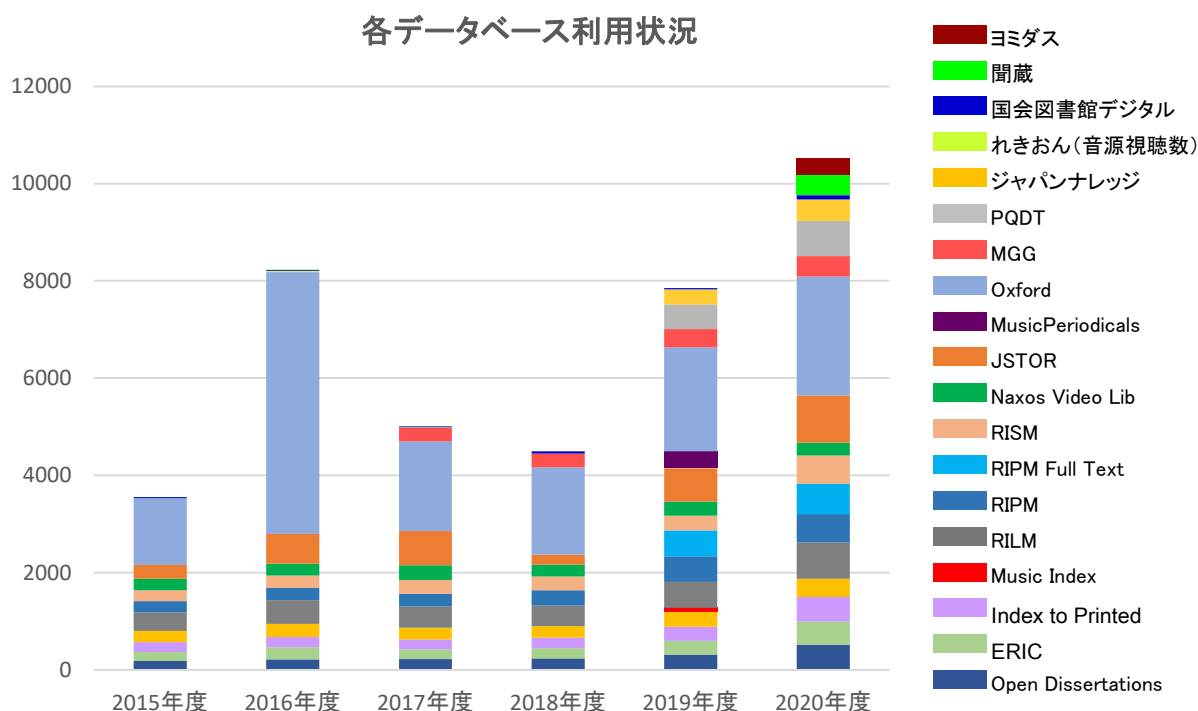
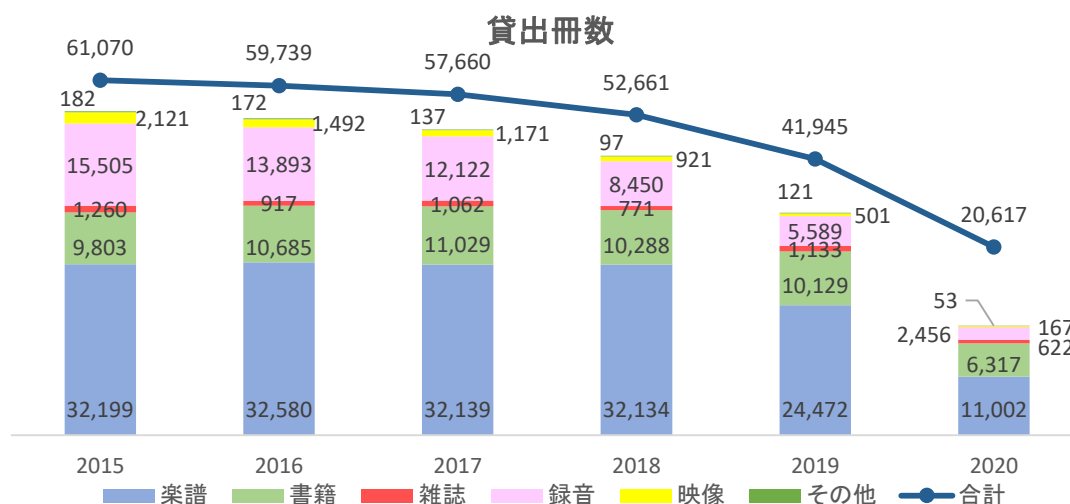
博士



科目履修生(大学院)



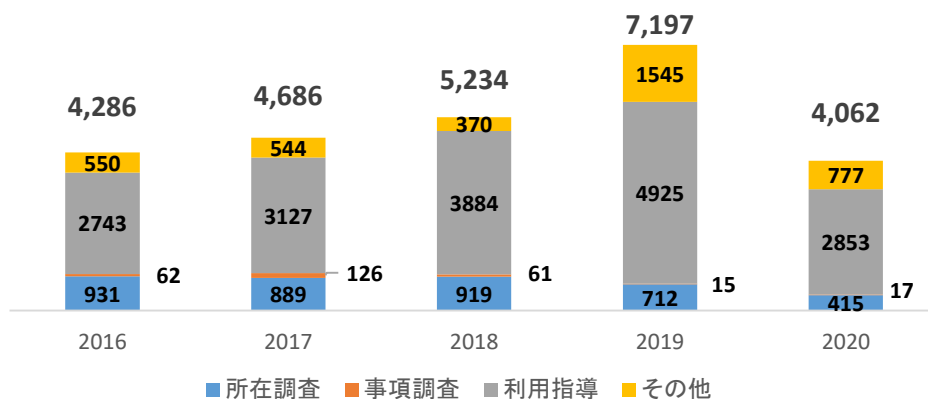
I-5 キャンパス・施設 (2) 図書館



I. 概要

I-5 キャンパス・施設 (2) 図書館

レファレンス(サポート)件数



※2020年度のレファレンス件数は、オンライン臨時対応数を含む。

2020年度の利用状況

利用者 利用区分		楽譜	書籍	逐次 刊行物	録音	映像	ROM	マイクロ	映像 解説	録音 解説	総計	昨年度 総計	増減
学 内	大学(学部)	5701	2332	90	719	60	1	1		4	8908	19866	-10958
	科目等履修	2	1	0	0	0	0	0			3	10	-7
	聴講生(※1)		0	0	0	0	0	0				28	-28
	大学院博士	358	492	48	33	0	0	0			931	1122	-191
	大学院修士	1333	1262	74	204	11	0	0		12	2896	6335	-3439
	院科目等履修	324	112	0	44	4	1	0			485	679	-194
	研究生	21	5	0	0	0	0	0			26	198	-172
	教職員(※2)	2185	1439	274	1192	85	1	0		17	5193	8881	-3688
	学内小計	9924	5643	486	2192	160	3	1	0	33	18442	37119	-18677
学 外	交換留学生(※3)		0	0	0	0	0	0				8	-8
	交流学生(※4)		0	0	0	0	0	0				13	-13
	高校	341	144	1	65	2	0	0		1	554	1268	-714
	音楽教室		0	0	0	0	0	0			0	2	-2
	卒業生	326	152	20	76	0	0	0		6	580	2748	-2168
	旧教職員	80	159	22	17	0	0	0			278	145	133
	社会人講座(民音研)	259	103	2	72	5	0	0			441	333	108
	指揮研修講座	44	86	0	31	0	0	0			161	0	161
	受験講習会		0	0	3	0	0	0			3	16	-13
	学外(一般)(※5)	21	0	0	0	0	0	0			21	19	2
	学外(大学)		0	0	0	0	0	0			0	111	-111
	学外(豊島区)		0	0	0	0	0	0			0	0	0
	ILL	5	18	2	0	0	0	0			25	49	-24
	文献複写	2	12	89	0	0	3	6			112	114	-2
	学外小計	1078	674	136	264	7	3	6	0	7	2175	4826	-2651
総計		11002	6317	622	2456	167	6	7	0	40	20617	41945	-21328
昨年度総計		24472	10129	1133	5589	501	22	43	2	54	41945		
増減		-13470	-3812	-511	-3133	-334	-16	-36	-2	-14	-21328		

(※1)聴講生は1名在籍しているが、利用カードは「指揮研修講座の学生証」のため実質0名。

(※2)演奏補助等、パート、アルバイトを含む。

(※3)2020年度は0名。

(※4)2020年度の受入は中止。

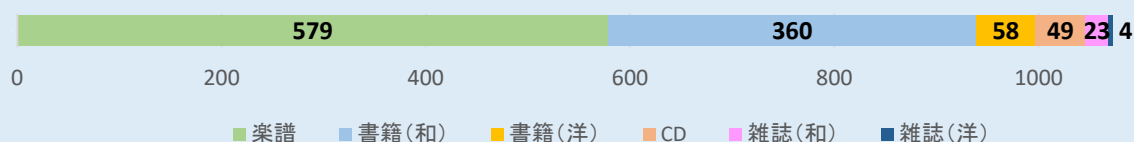
(※5)コロナ対応で2020年度の学外者の利用は中止。この数字はニッポニカアーカイヴ演奏譜の貸出点数。

I-5 キャンパス・施設 (2) 図書館

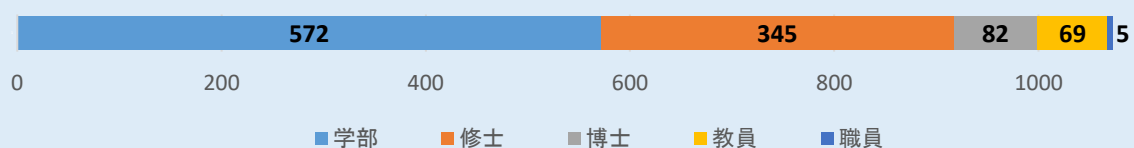
2020年度 コロナ禍による閉館・利用制限期間の臨時対応

1. 郵送貸出 (総数1073件)

資料種別郵送貸出件数



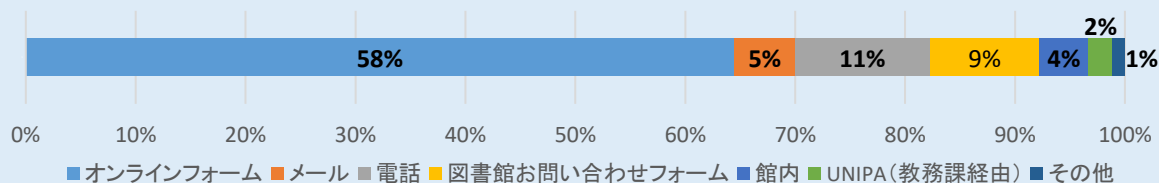
利用者区分別郵送貸出件数



2. オンラインレファレンス件数

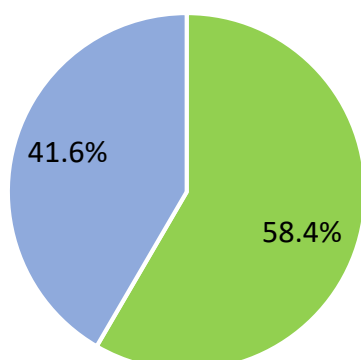
	所在調査	事項調査	利用指導	その他	合計
館内	358	11	2738	770	3877
オンライン	57	6	115	7	185
総計	415	17	2853	777	4062

オンラインレファレンス受付方法別割合

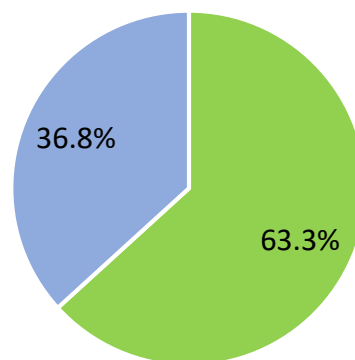


池袋キャンパス 中目黒・代官山キャンパス 貸出点数比較(割合)

2019年度 ■ 池袋 ■ 中目黒



2020年度 ■ 池袋 ■ 中目黒

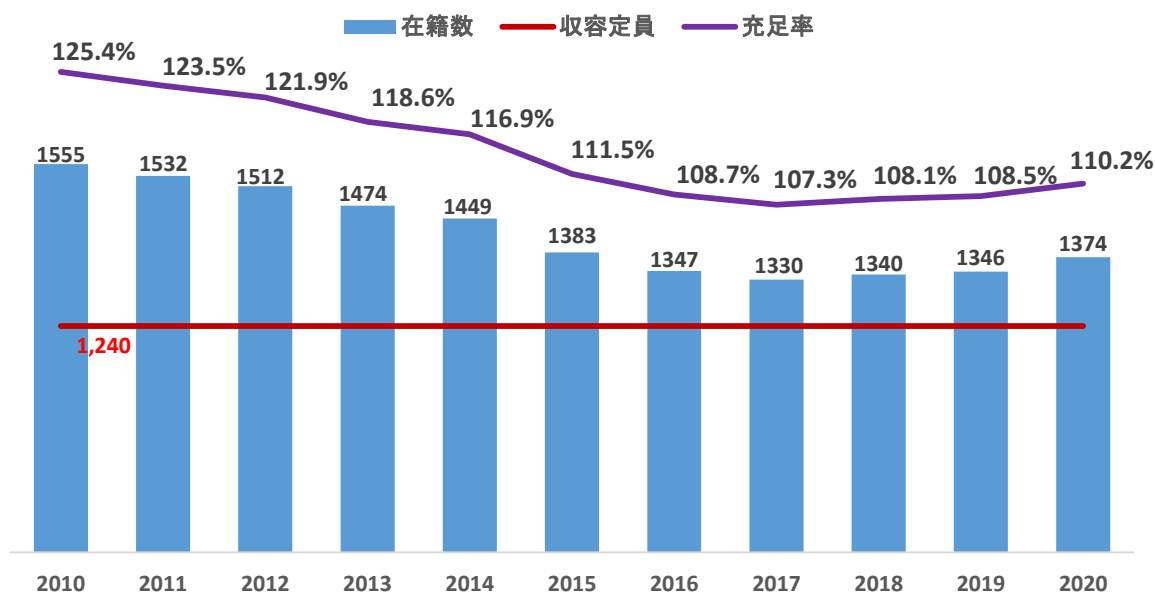


Ⅱ. 教育

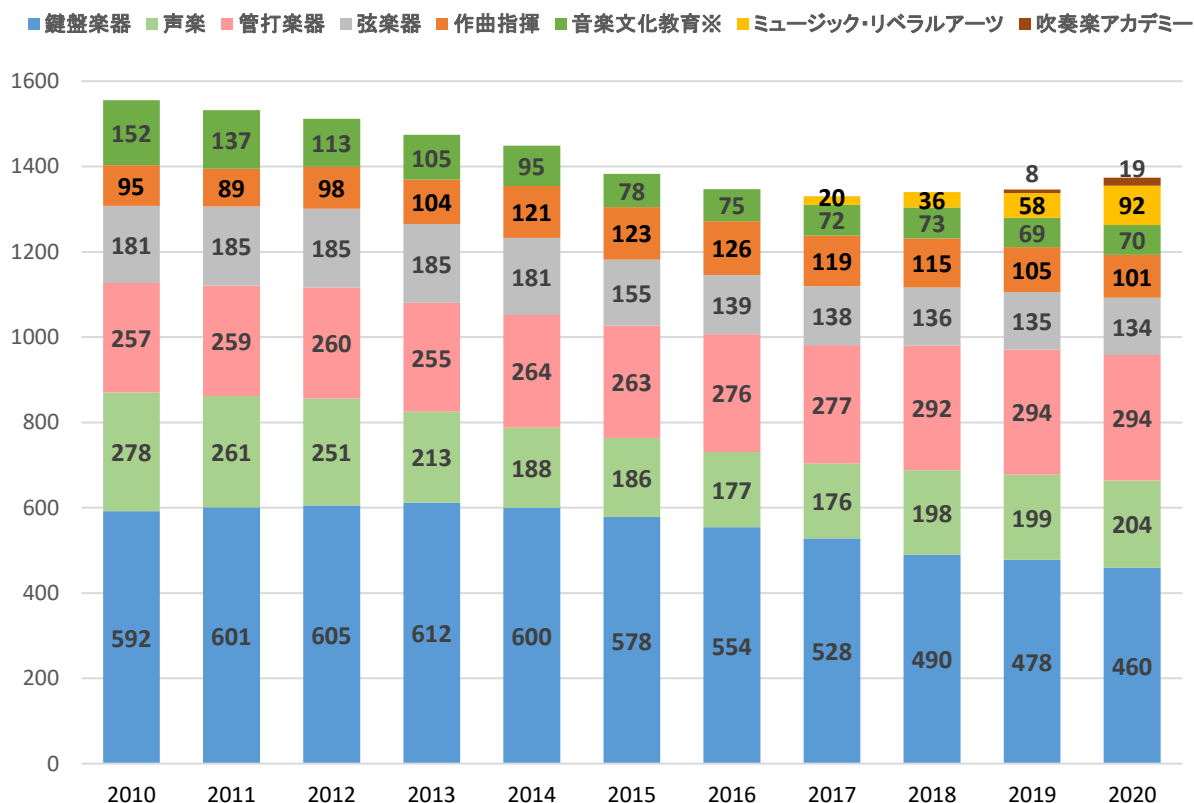
Ⅱ-1 学生数(学部)

※グラフ内の在籍数は各年度5月1日付けの数字

在籍数・収容定員充足率推移(学部)2010～2020



専攻別在籍数推移(学部)2010～2020

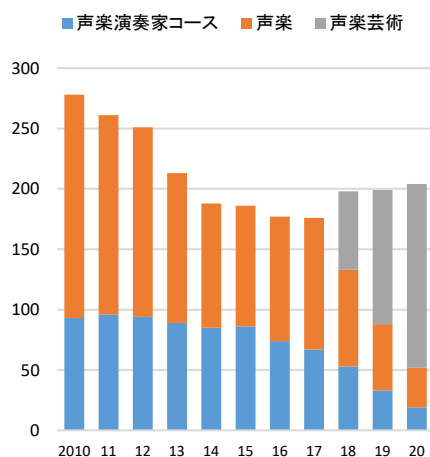


※2020年4月「音楽教育」から「音楽文化教育」へ改編

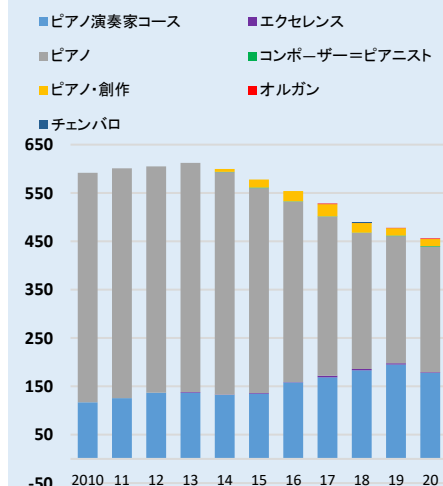
※器楽専攻は鍵盤楽器・管打楽器・弦楽器に分けて表示

楽器・コース別在籍数推移(学部) 2010～2020

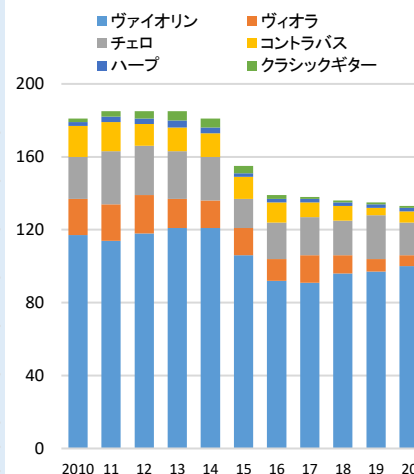
声乐



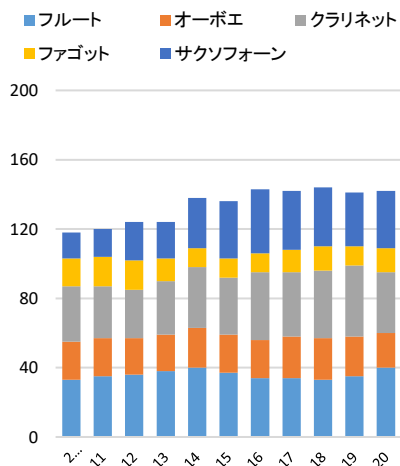
鍵盤楽器



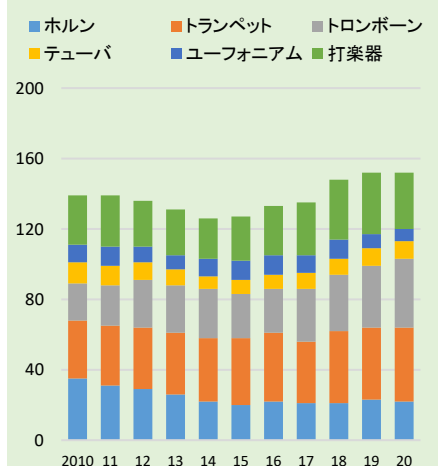
弦楽器



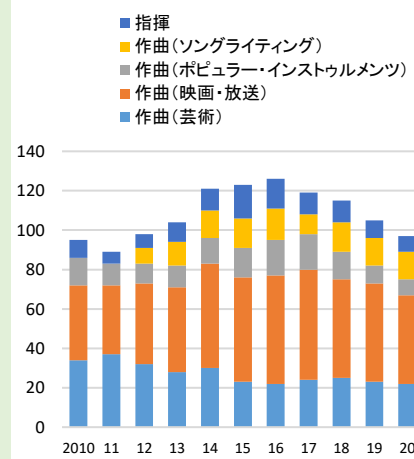
木管楽器



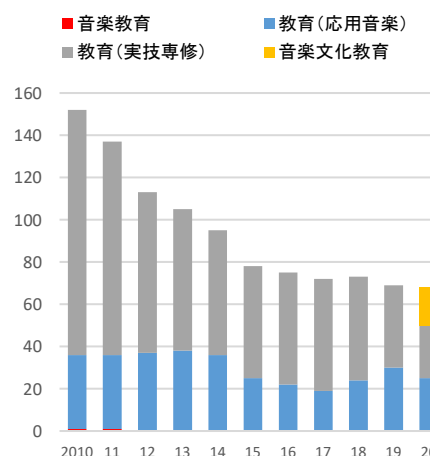
金管・打楽器



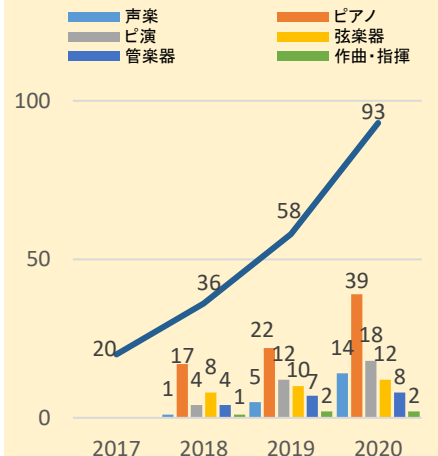
作曲指揮



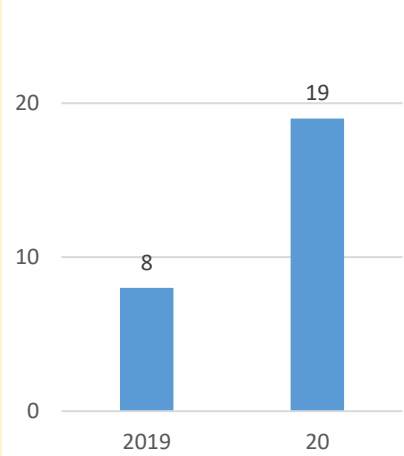
音楽文化教育※



ミュージック・リベラルアーツ



吹奏楽アカデミー



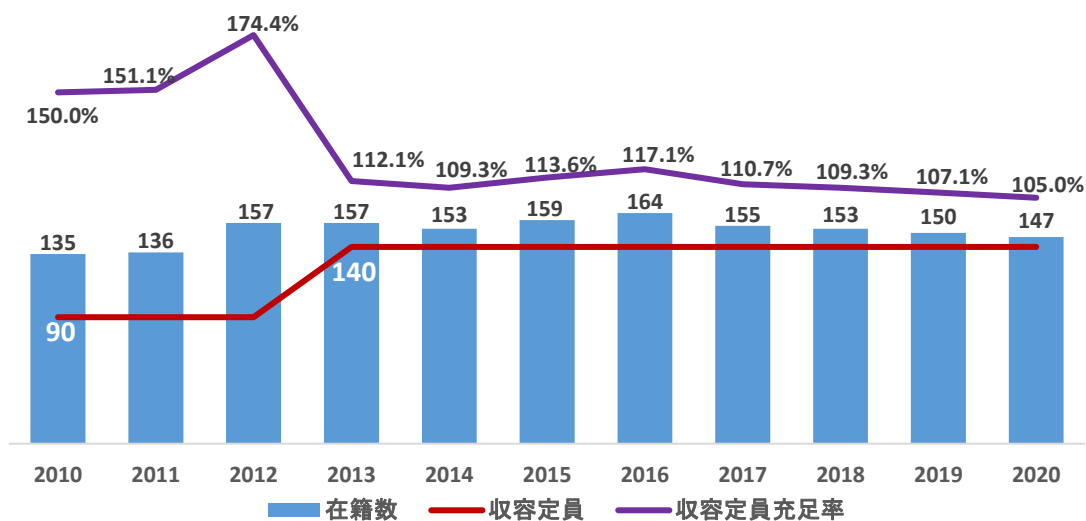
※2020年4月「音楽教育」から「音楽文化教育」へ改編

Ⅱ. 教育

Ⅱ-1 学生数(大学院)

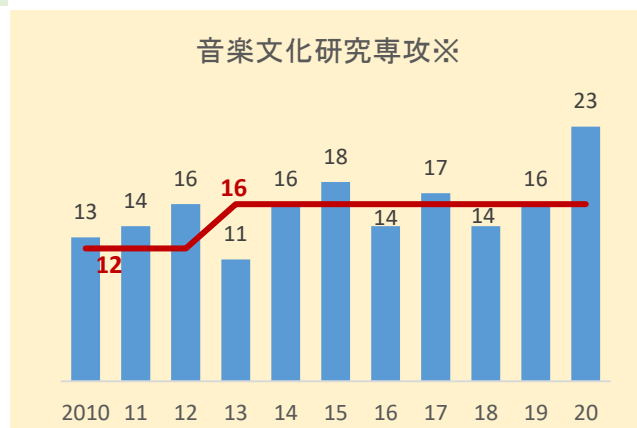
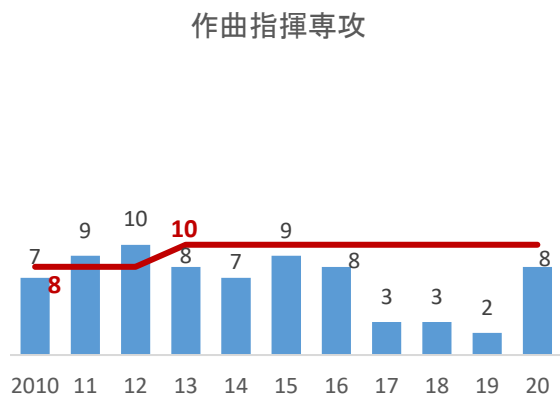
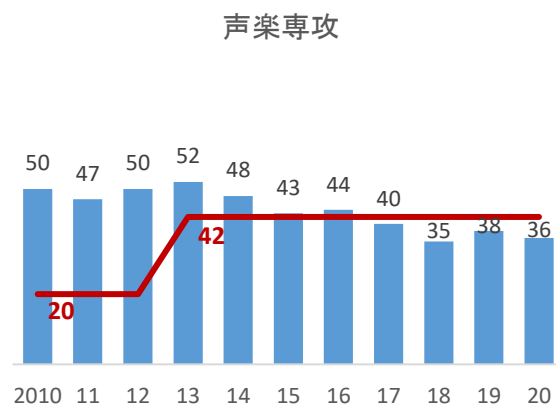
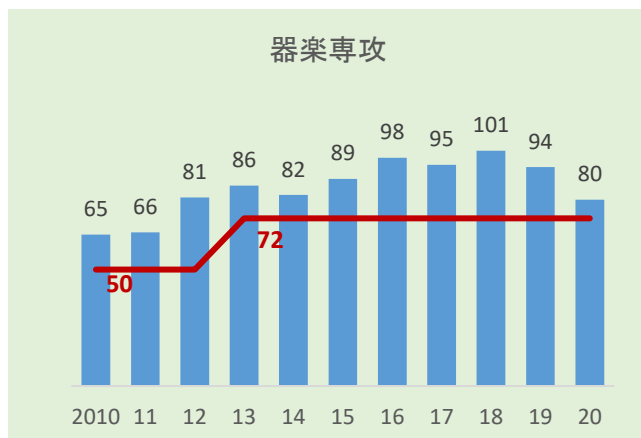
※グラフ内の在籍数は各年度5月1日付けの数字

修士課程 在籍数・収容定員充足率推移2010～2020



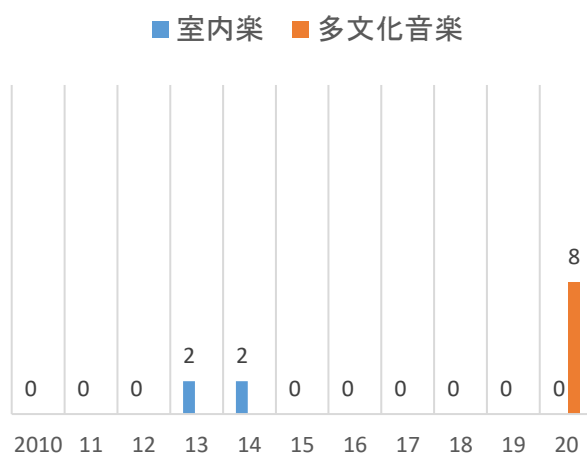
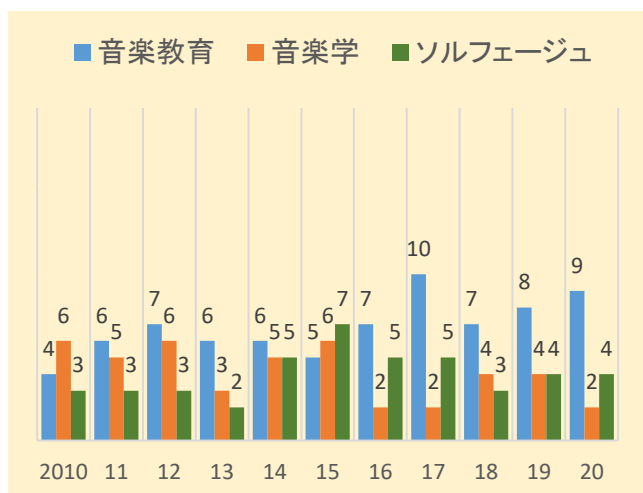
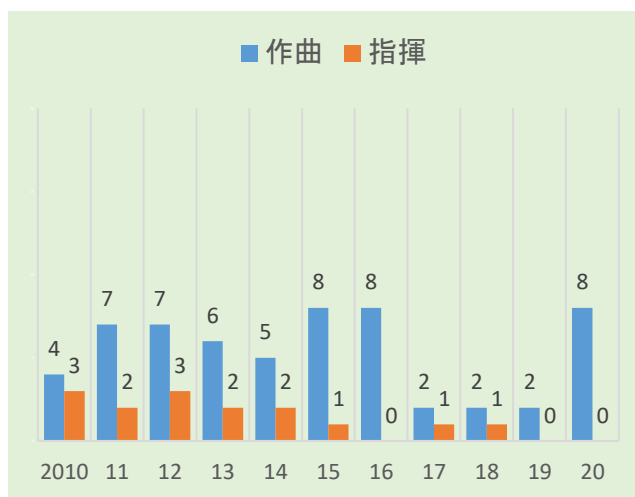
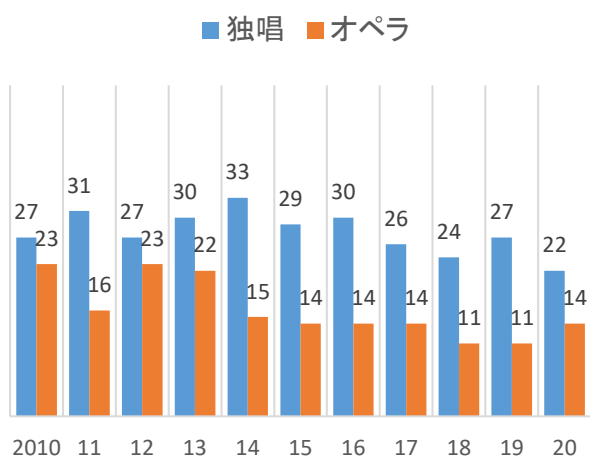
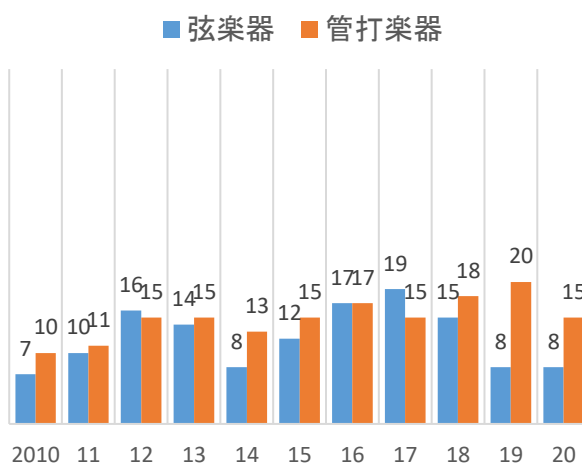
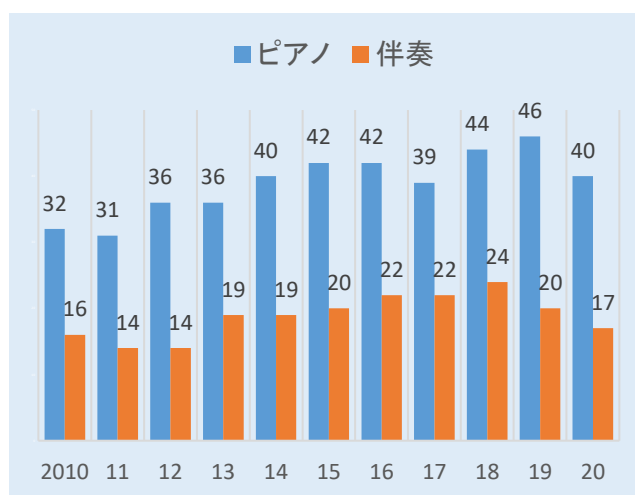
修士課程専攻別在籍数推移2010～2020

在籍数 収容定員



※2020年4月1日「音楽教育専攻」は「音楽文化研究専攻」に名称変更し、同専攻に「多文化音楽研究領域」を新設。

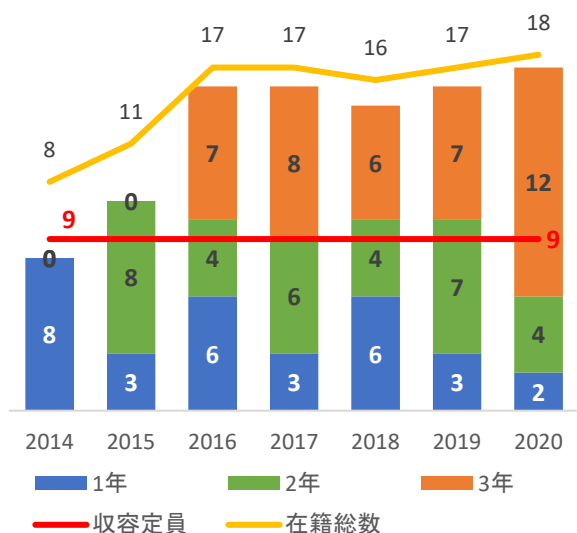
修士課程研究領域別在籍者数推移 2010～2020



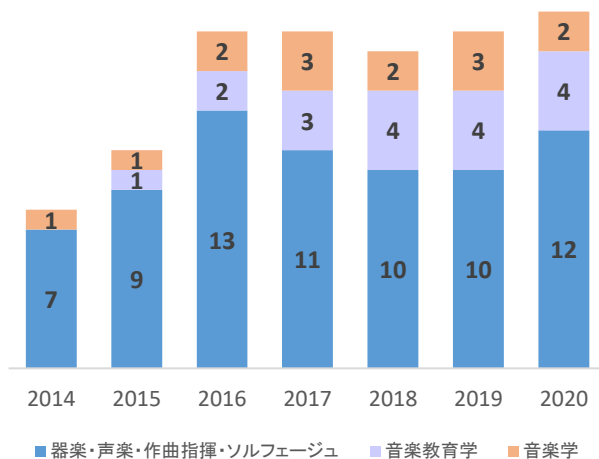
Ⅱ. 教育

Ⅱ-1 学生数(大学院)

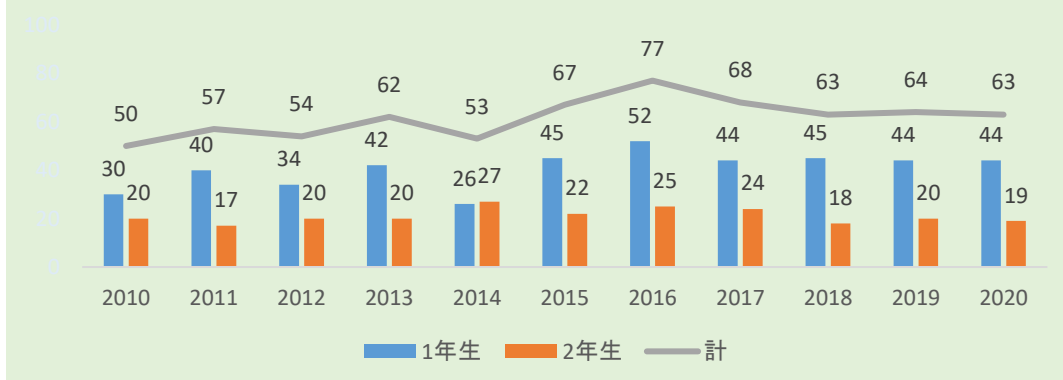
博士後期課程学年別在籍数推移



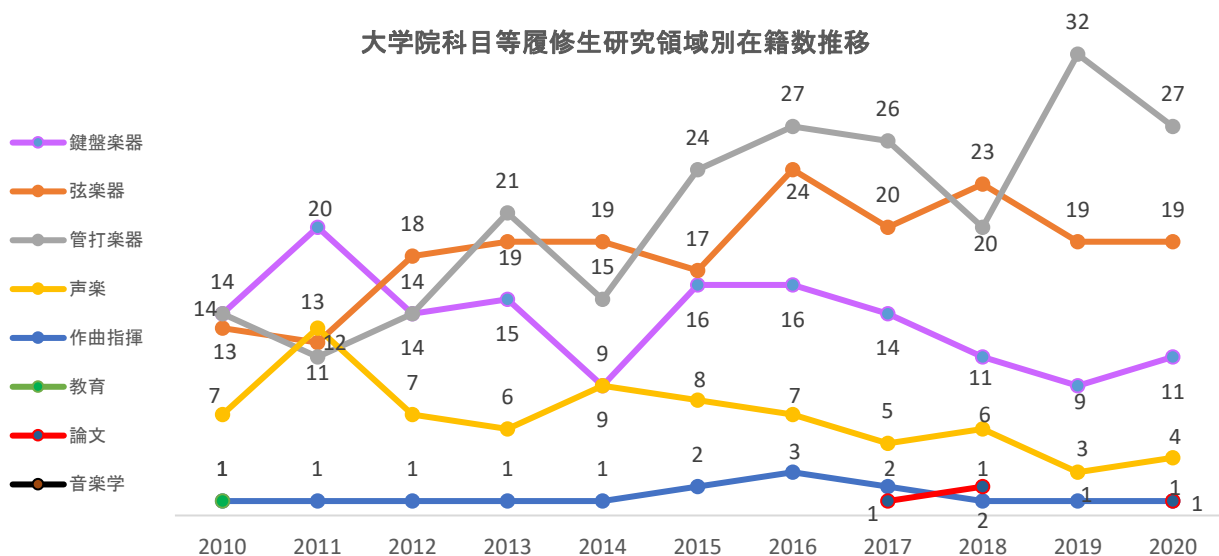
博士後期課程専門領域別在籍数推移



大学院科目等履修生在籍数推移

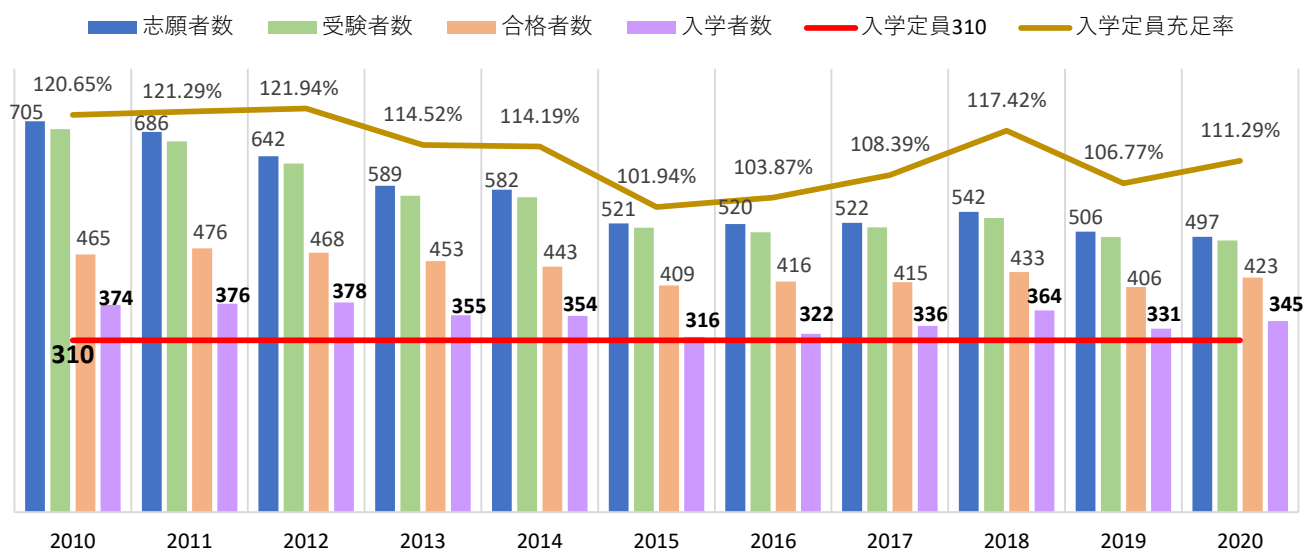


大学院科目等履修生研究領域別在籍数推移

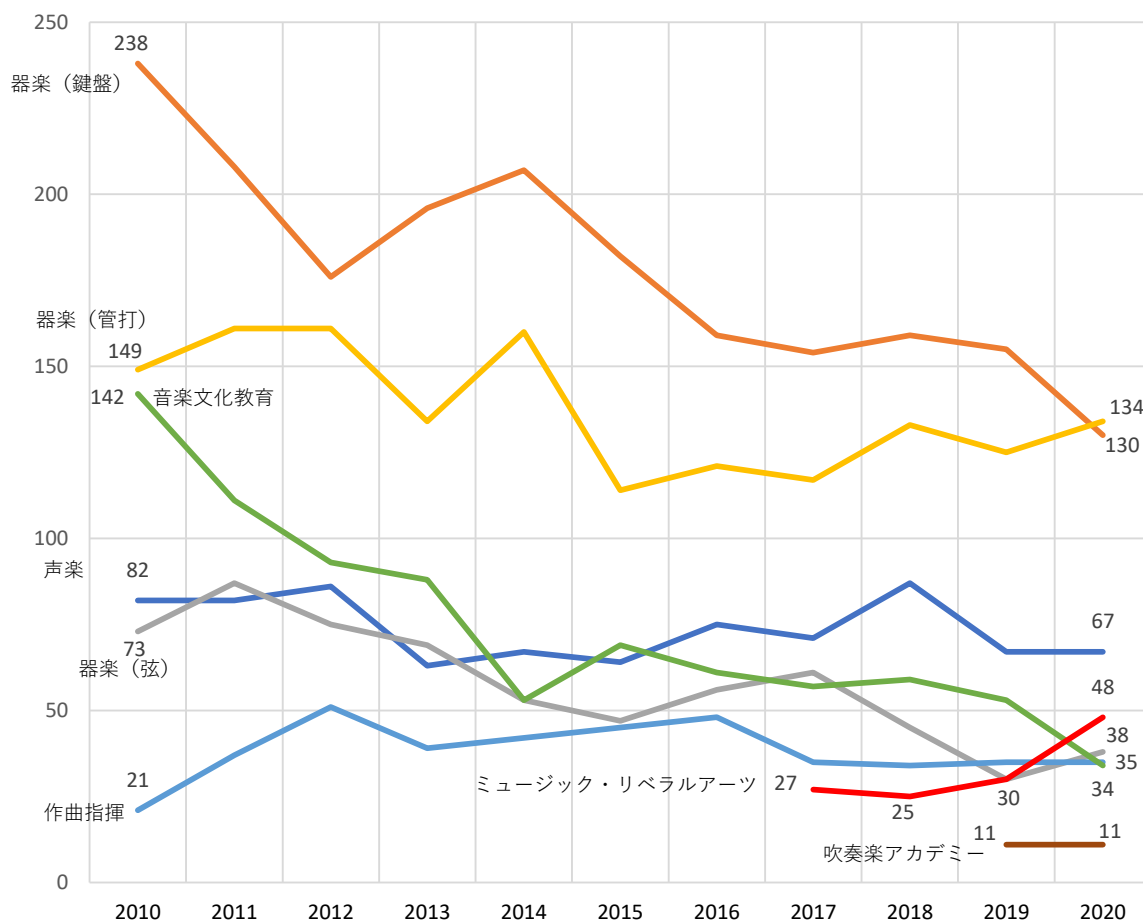


Ⅱ-2 入試・入学状況(学部)

入学試験状況(学部) 2010～2020



専攻別志願者数(学部) 2010～2020

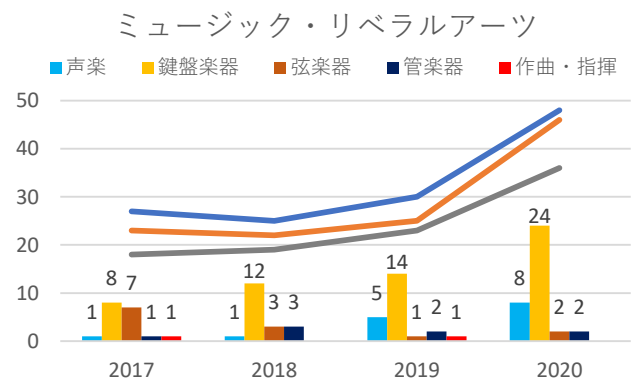
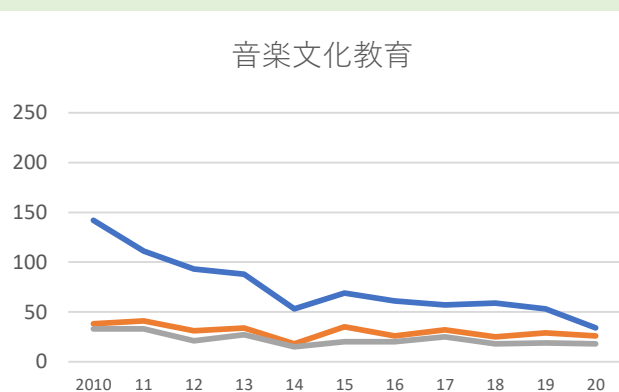
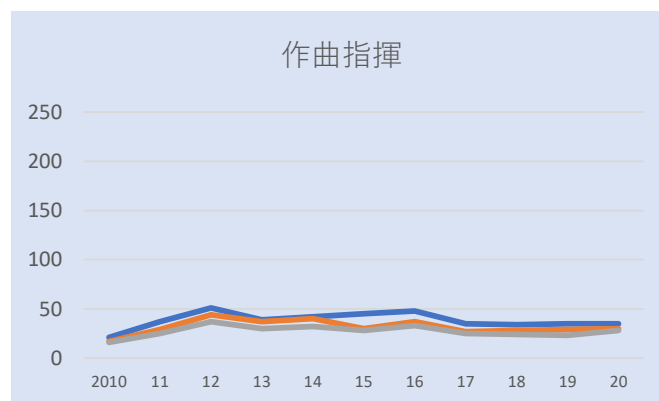
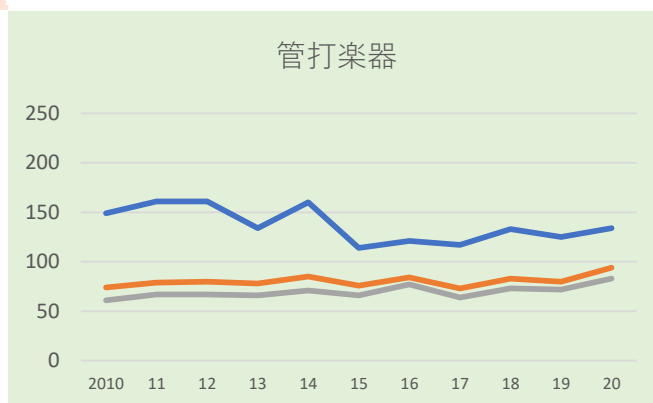
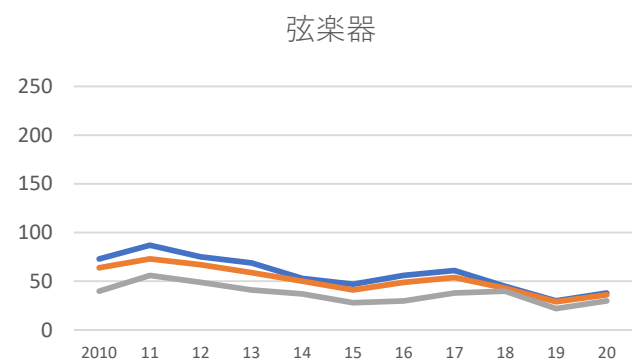
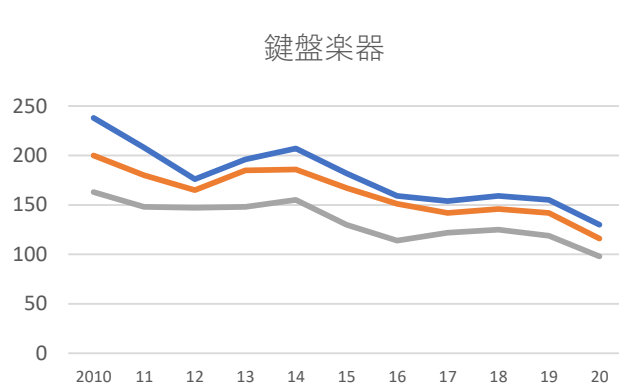
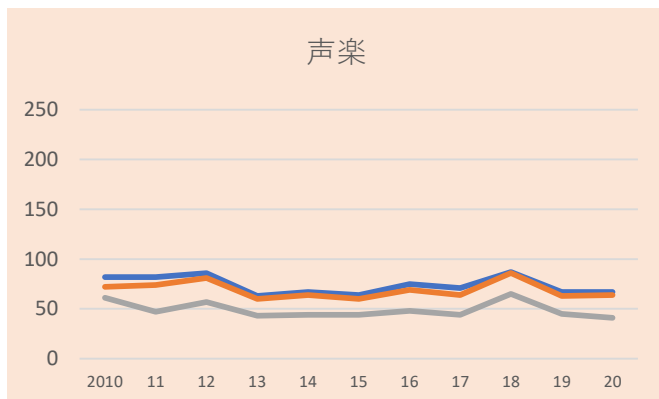


Ⅱ. 教育

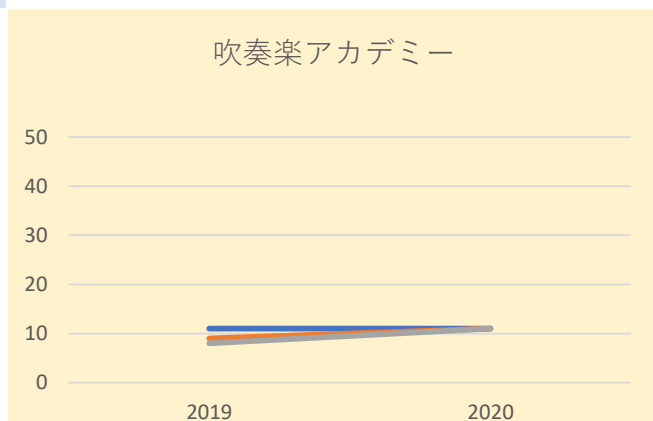
Ⅱ-2 入試・入学状況(学部)

専攻別志願者数・合格者数・入学者数(学部) 2010~2020

■ 志願者数 ■ 合格者数 ■ 入学者数

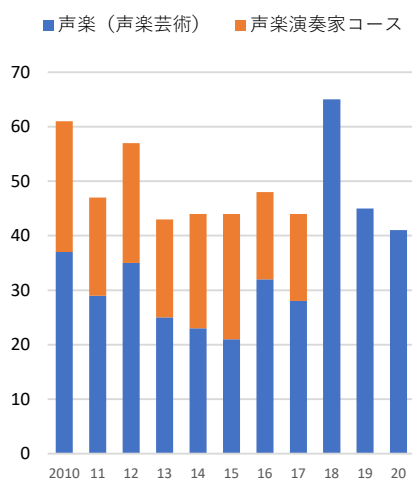


※棒グラフの数字は入学者の専攻楽器分布

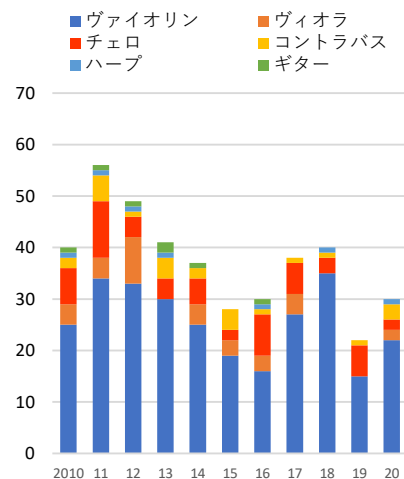


専攻・コース・楽器別入学者数（学部）

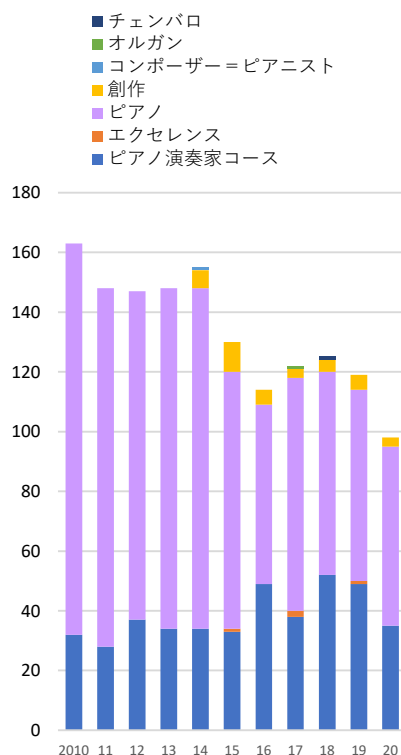
声 楽



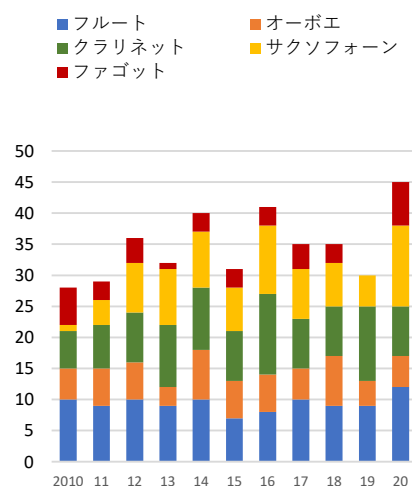
弦楽器



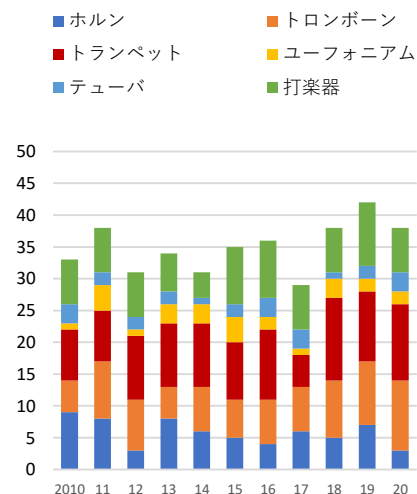
鍵盤楽器



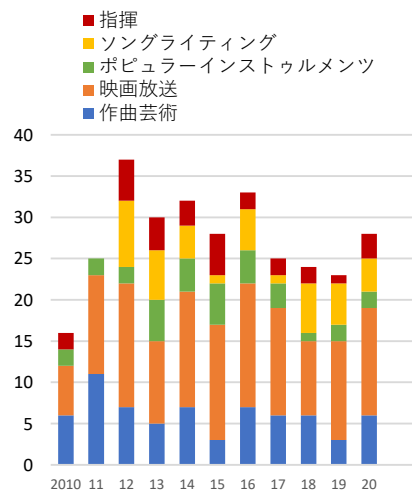
木管楽器



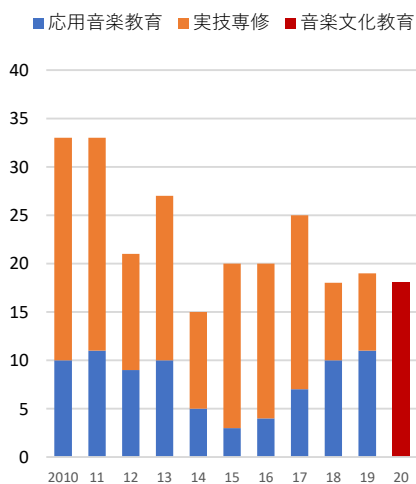
金管・打楽器



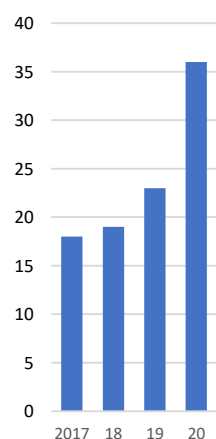
作曲指揮



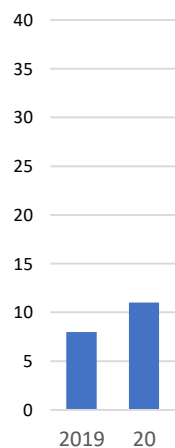
音楽文化教育



ミュージック・リベラルアーツ



吹奏楽アカデミー

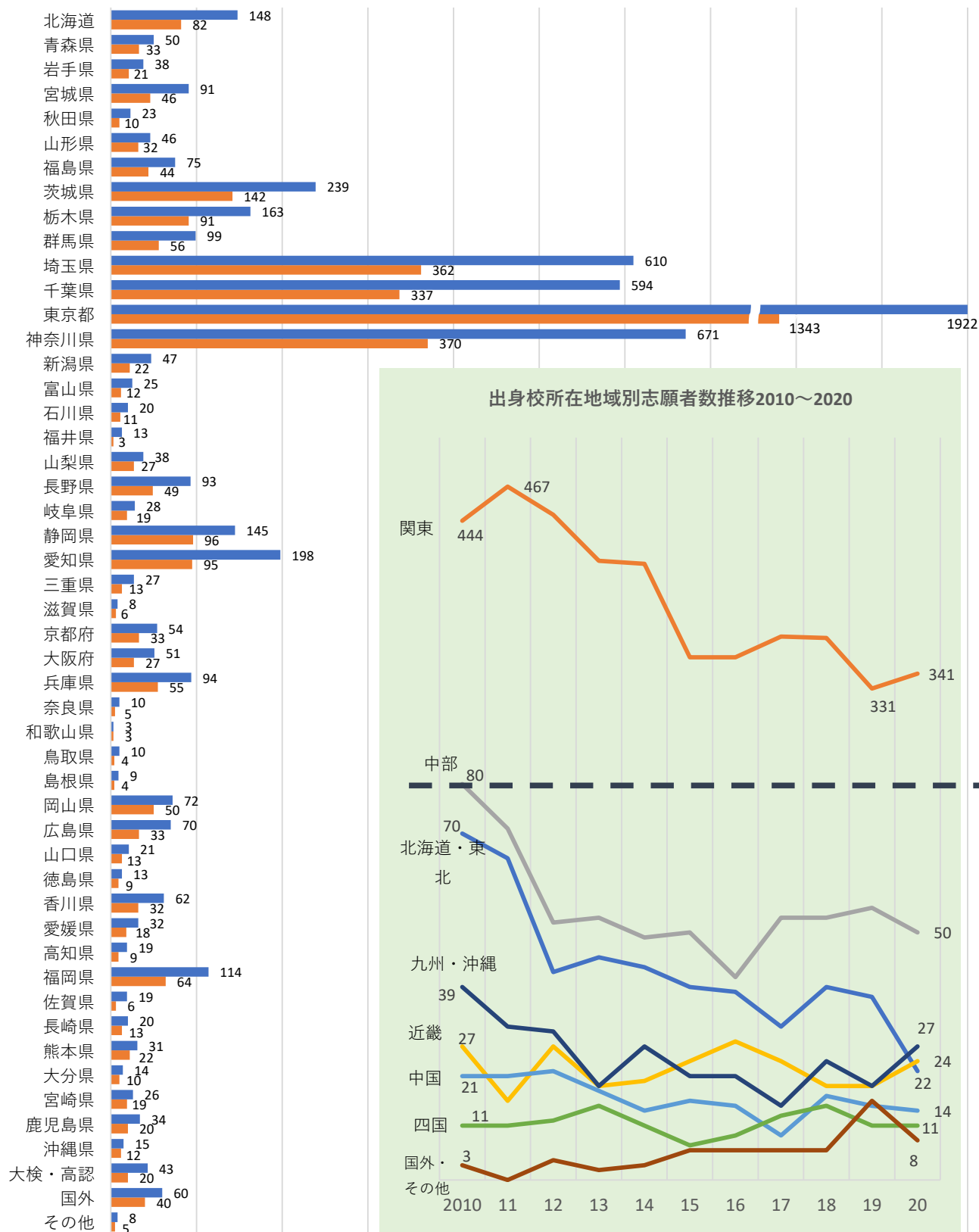


Ⅱ. 教育

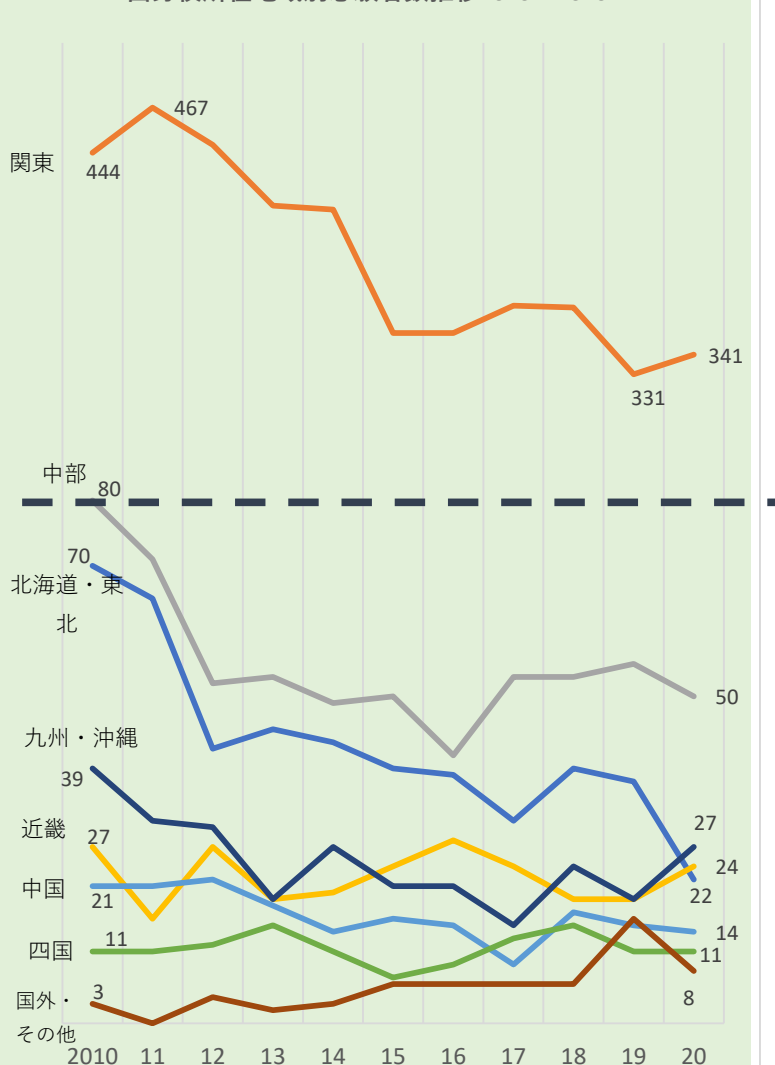
Ⅱ－２ 入試・入学状況(学部)

出身校所在地別志願者数・入学者数（学部）2010～2020 総数

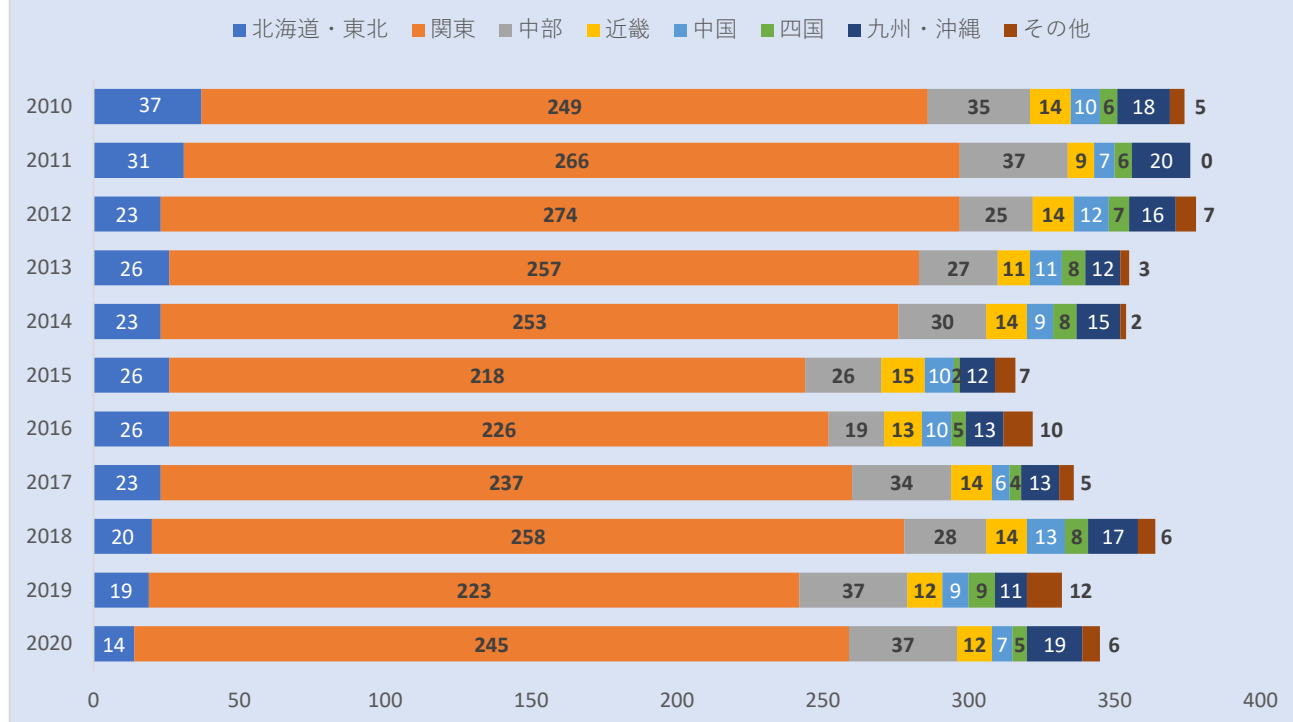
■ 志願者数 ■ 入学者数



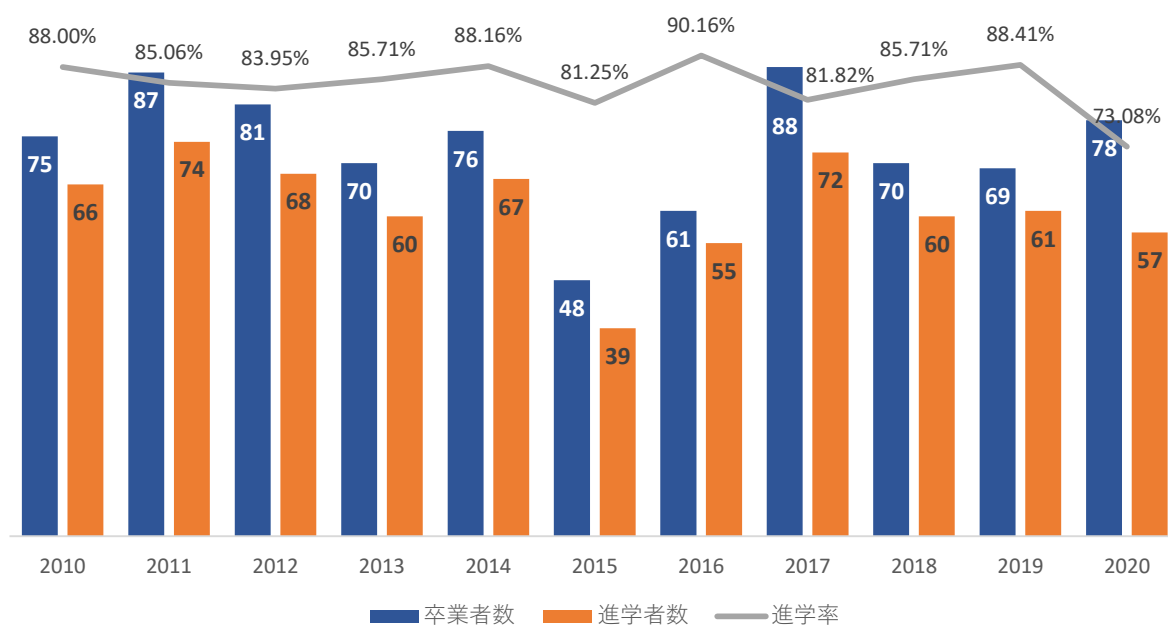
出身校所在地域別志願者数推移2010～2020



地域別入学者数（学部）推移2010～2020



付属高校生の本学進学率 2010～2020



Ⅱ. 教育

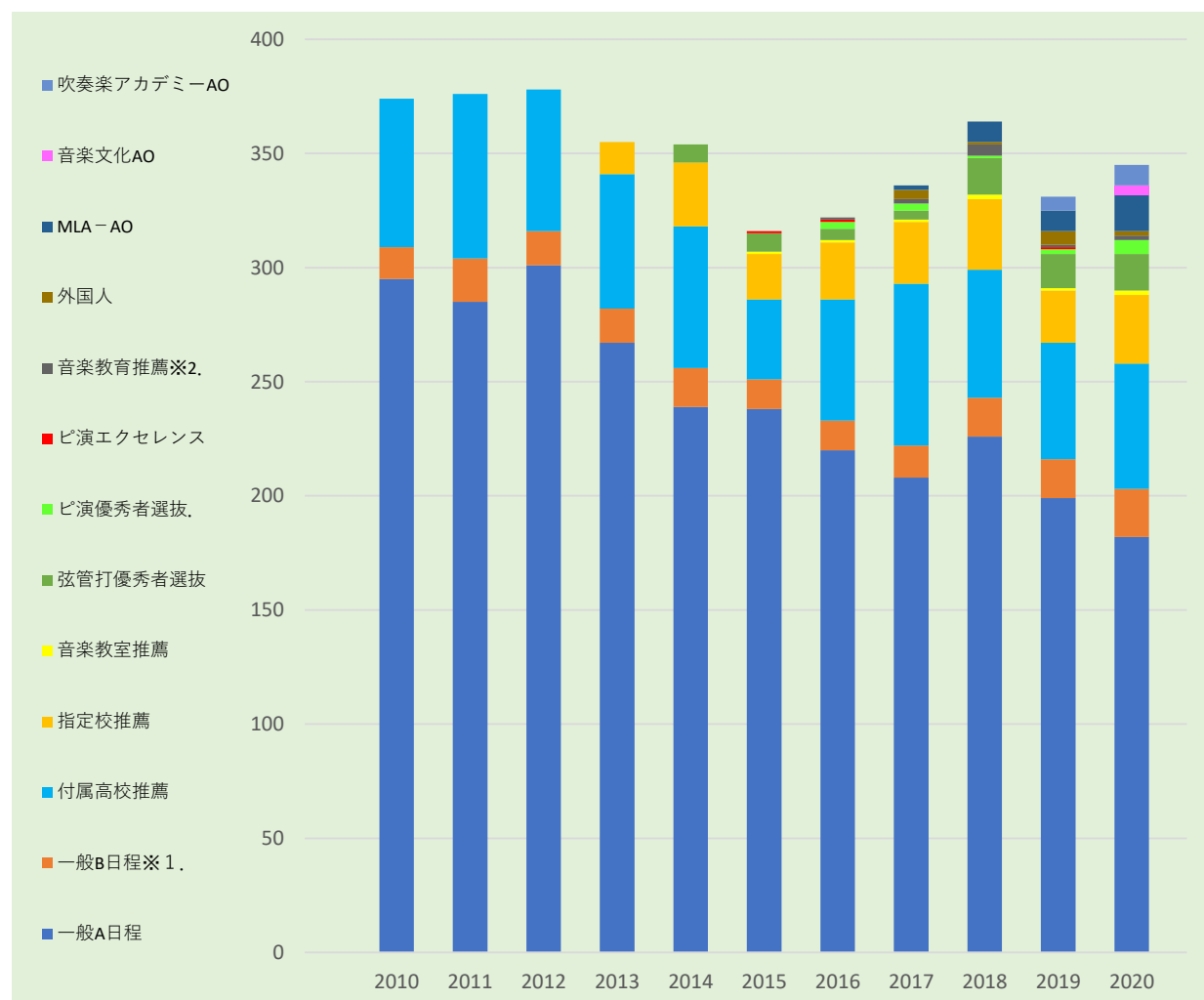
Ⅱ-2 入試・入学状況(学部)

入学試験別入学者数

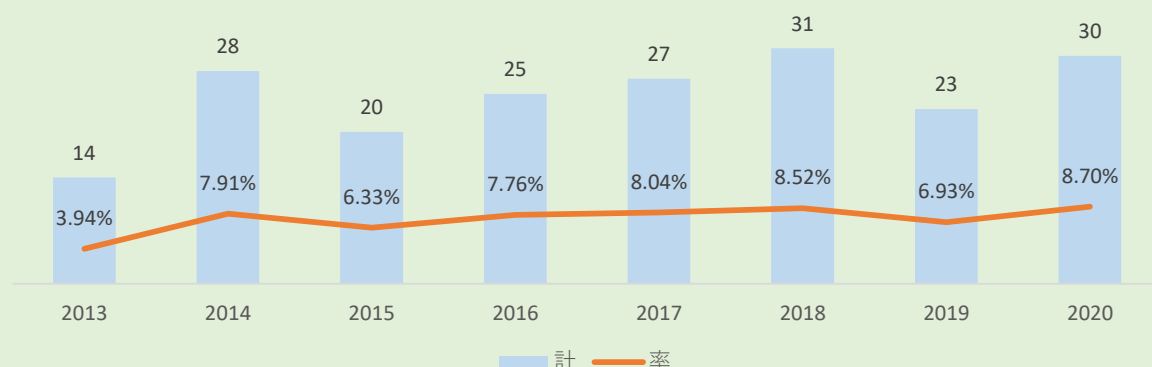
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
一般A日程	295	285	301	267	239	238	220	208	226	199	182
一般B日程※1.	14	19	15	15	17	13	13	14	17	17	21
付属高校推薦	65	72	62	59	62	35	53	71	56	51	55
指定校推薦				14	28	20	25	27	31	23	30
音楽教室推薦						1	1	1	2	1	2
弦管打優秀者選抜					8	8	5	4	16	15	16
ビ演優秀者選抜.							3	3	1	2	6
ビ演エクセレンス						1	1			1	
音楽教育推薦※2.							1	2	5	1	2
外国人								4	1	6	2
MLA-AO								2	9	9	16
音楽文化AO											4
吹奏楽アカデミーAO										6	9

※1. 2016年度までは「特別選抜入学試験」

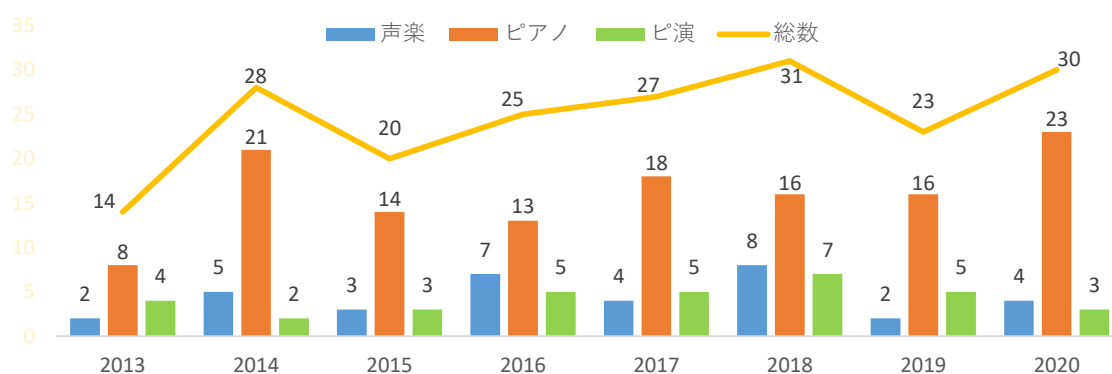
※2. 2019年度までは「応用音楽教育推薦」2020年度は「音楽文化教育推薦」



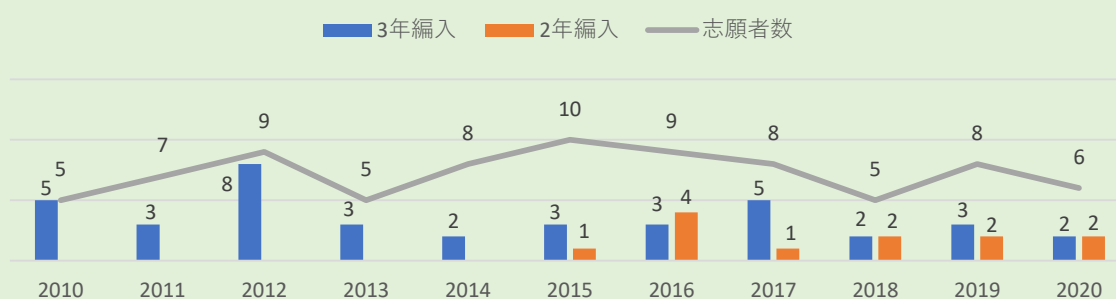
年度別指定校推薦入学者数推移・全体における割合



専攻別指定校推薦入学者数推移



編入学者数推移2010～2020

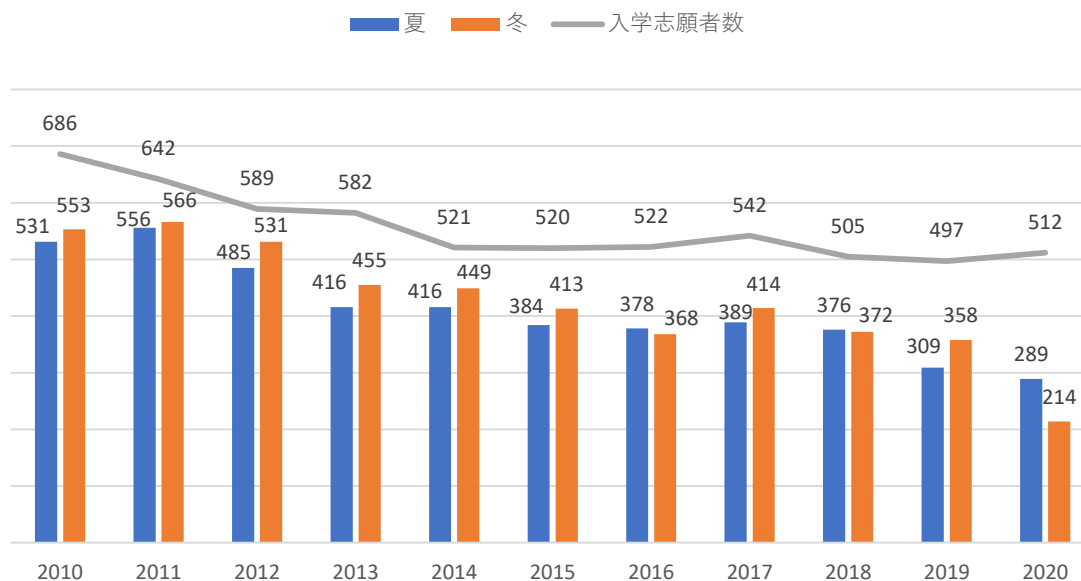


	2010	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
3年次編入学者	5	3	8	3	2	3	3	5	2	3	2	39
2年次編入学者						1	4	1	2	2	2	12
音楽系学部（短大含）		2	7	3	2	4	5	4	2	4	4	37
一般大学			1				2	1	2	1		7
その他		1						1				2
※2年次編入は2015年度開始												
再入学者数	2	1	1	1		2						7

Ⅱ. 教育

Ⅱ-2 入試・入学状況(学部)

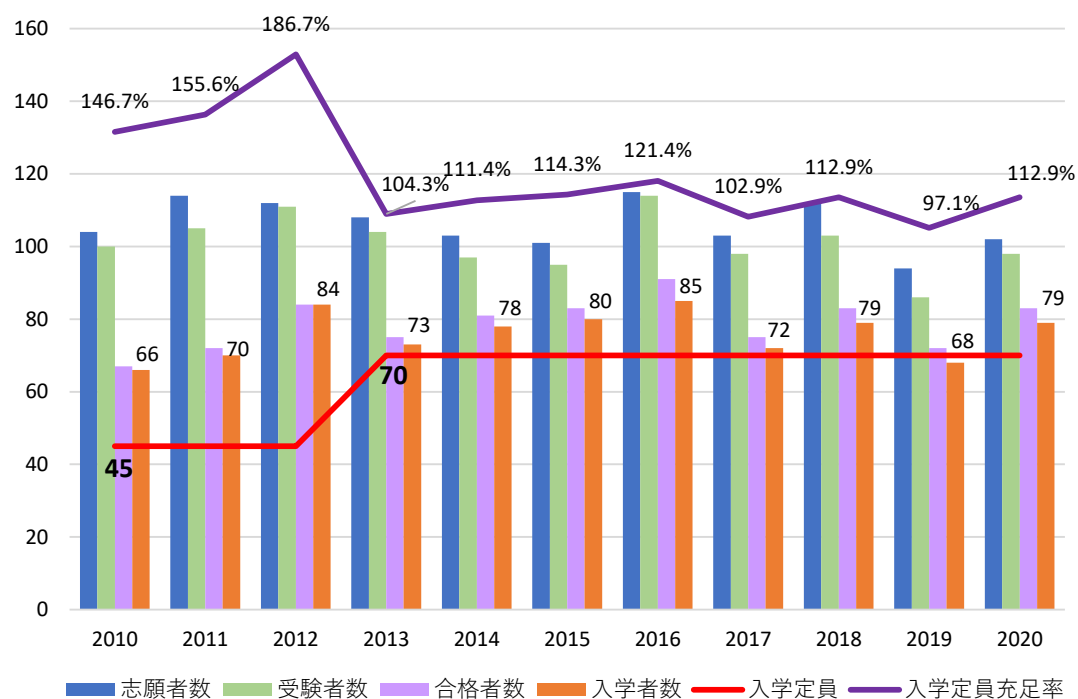
夏期／冬期講習会受講者数・入学志願者数推移



※2020年度は夏期・冬期ともコロナ禍のためレッスンのみ開講（対面及び遠隔）

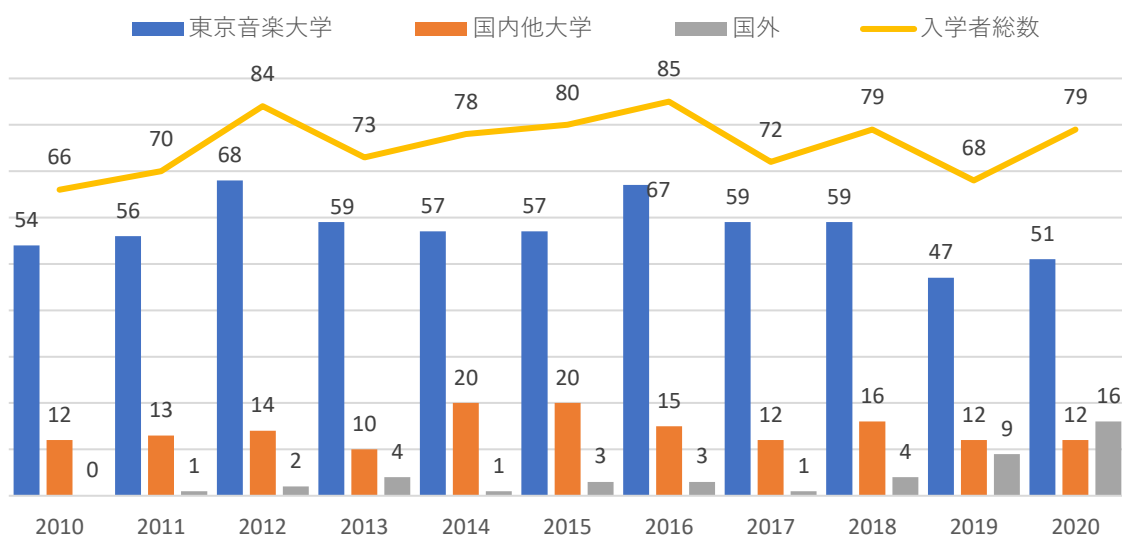
Ⅱ-2 入試・入学状況(大学院)

大学院修士課程入試状況 2010～2020



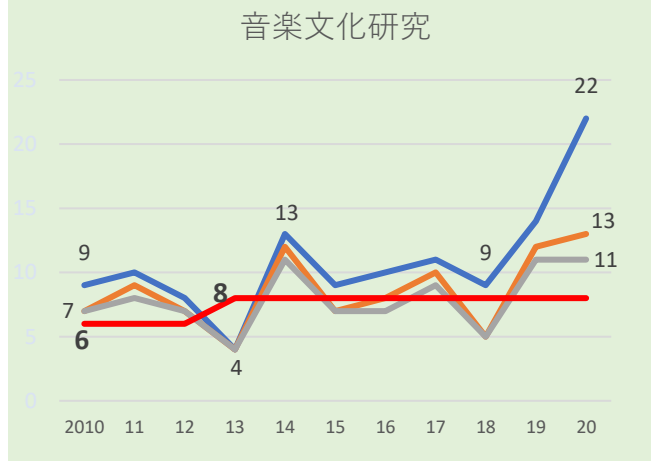
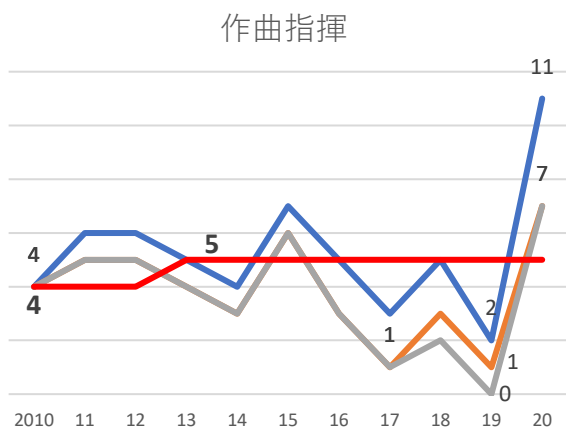
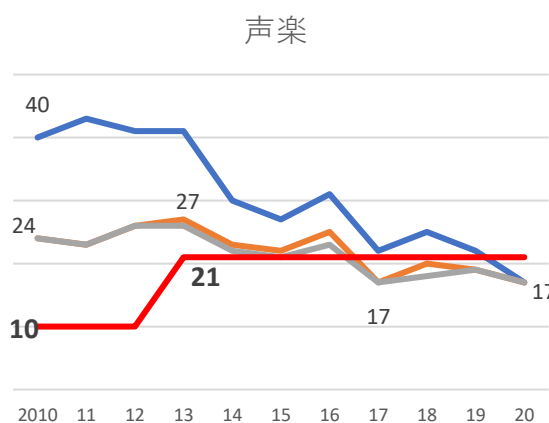
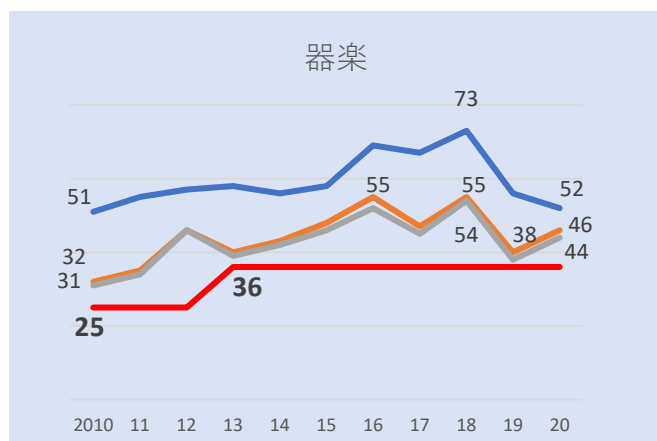
Ⅱ-2 入試・入学状況(大学院)

修士課程出身大学分類別入学者数2010～2020



修士課程 専攻別志願者数・合格者数・入学者数推移

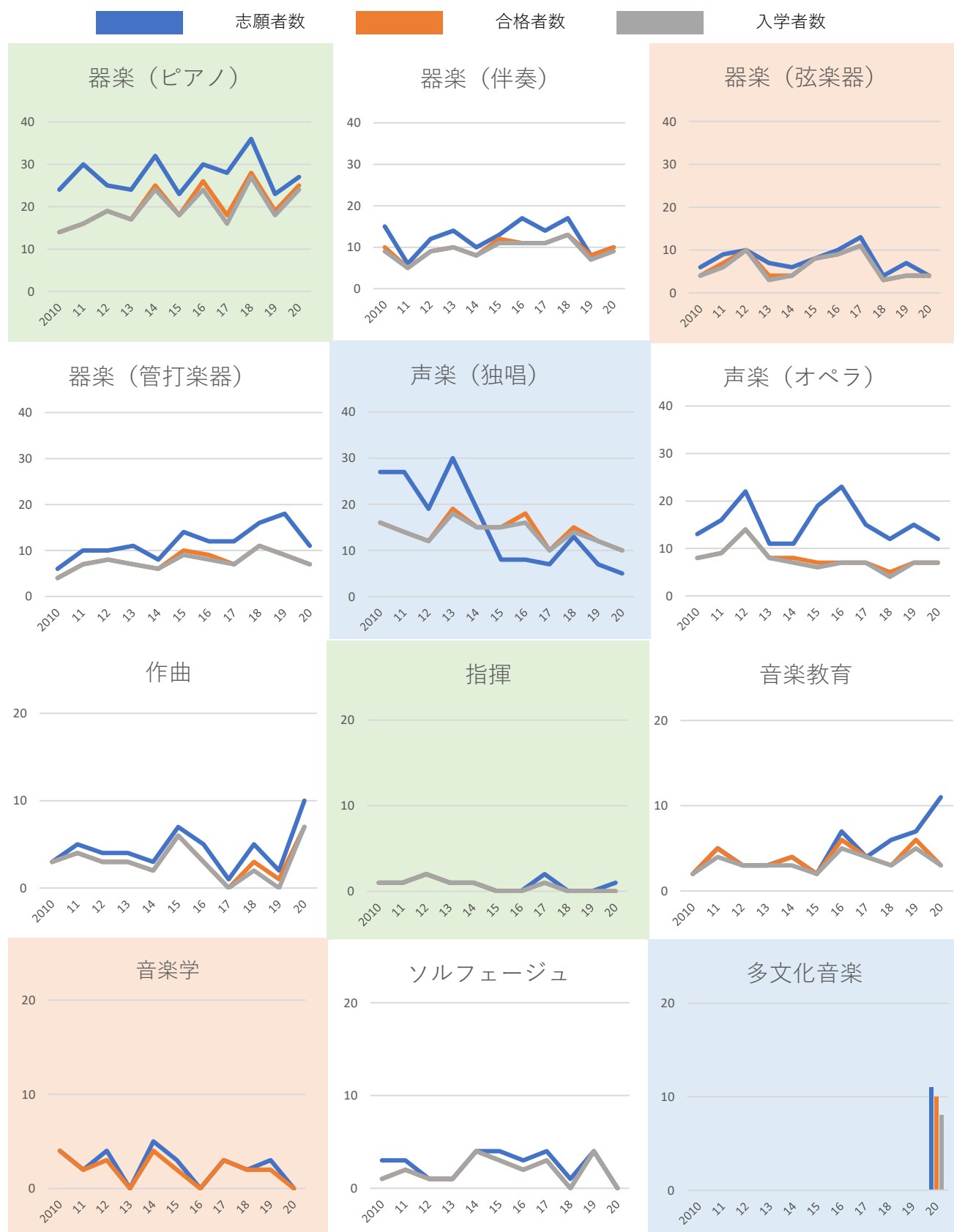
志願者数 合格者数 入学者数 入学定員



Ⅱ. 教育

Ⅱ-2 入試・入学状況(大学院)

修士課程 研究領域別志願者数・合格者数・入学者数

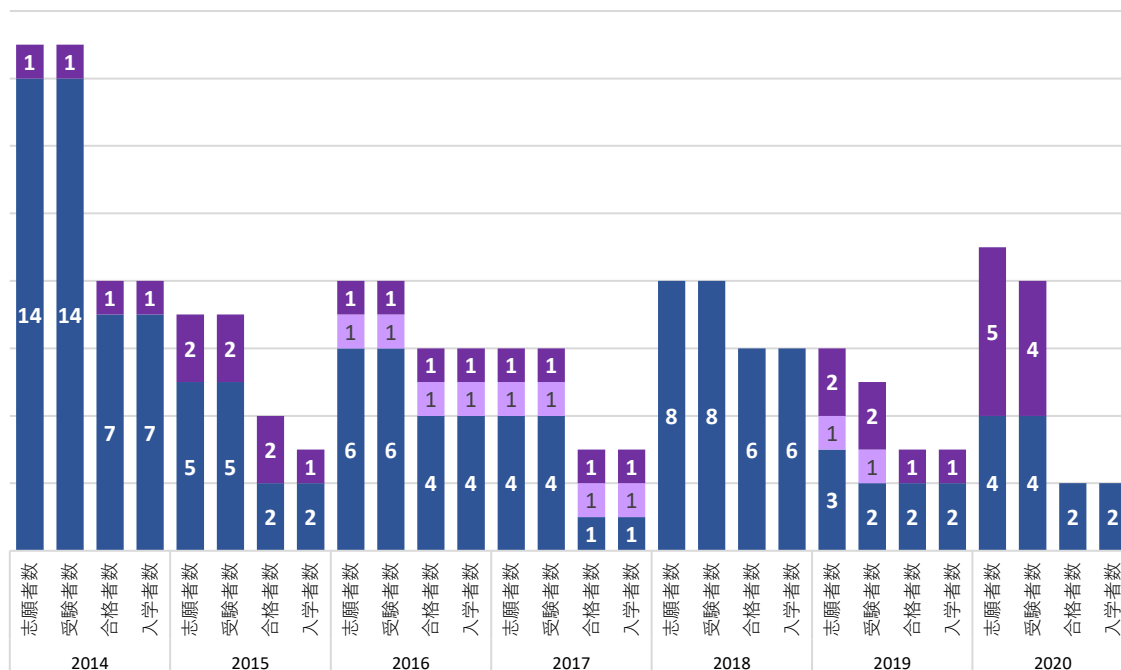


※声乐 (独唱) は第2志望での合格者入学者を含む。

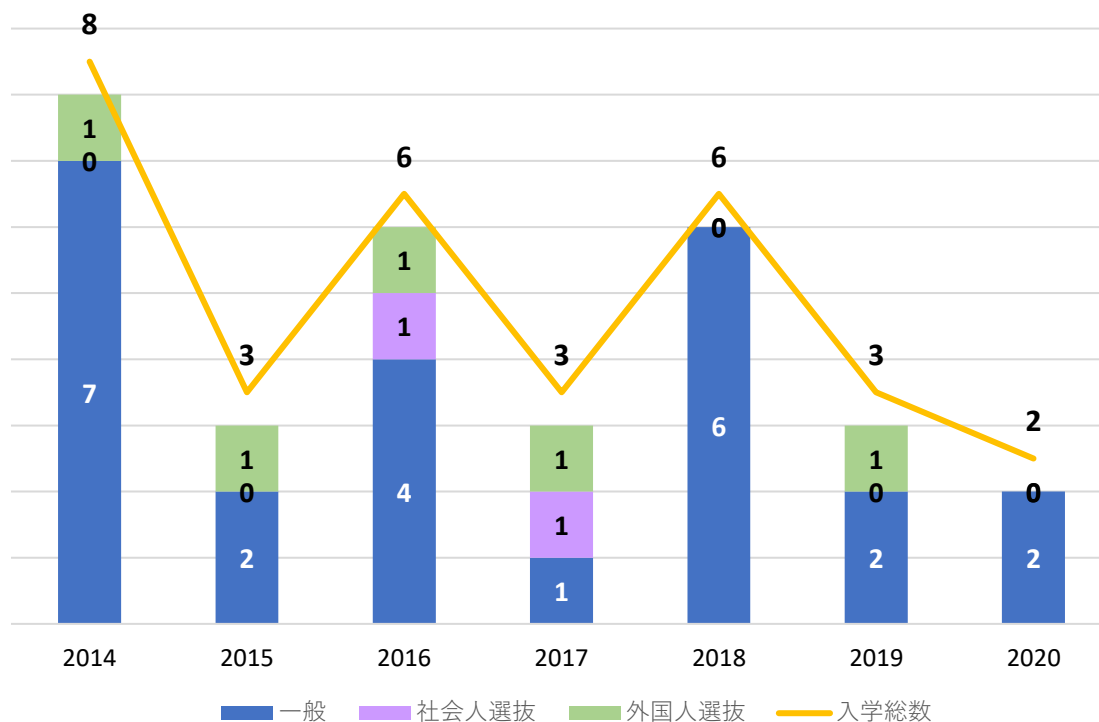
※上記グラフには2013年度入学室内楽研究領域の2名を含まない。

博士後期課程入試状況

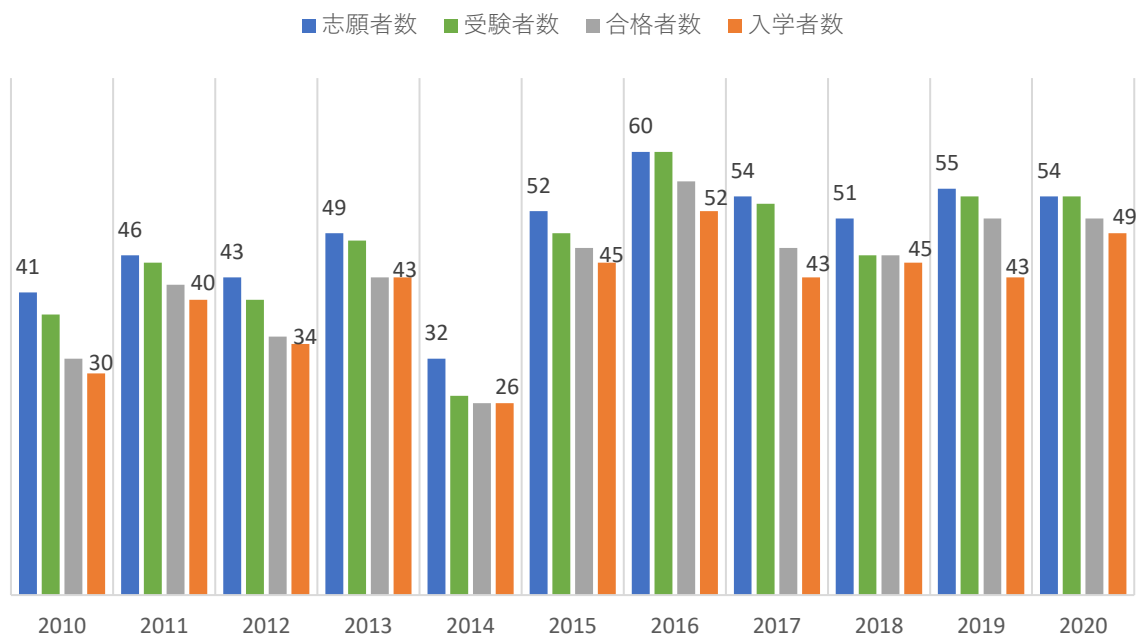
■ 一般 ■ 社会人選抜 ■ 外国人選抜



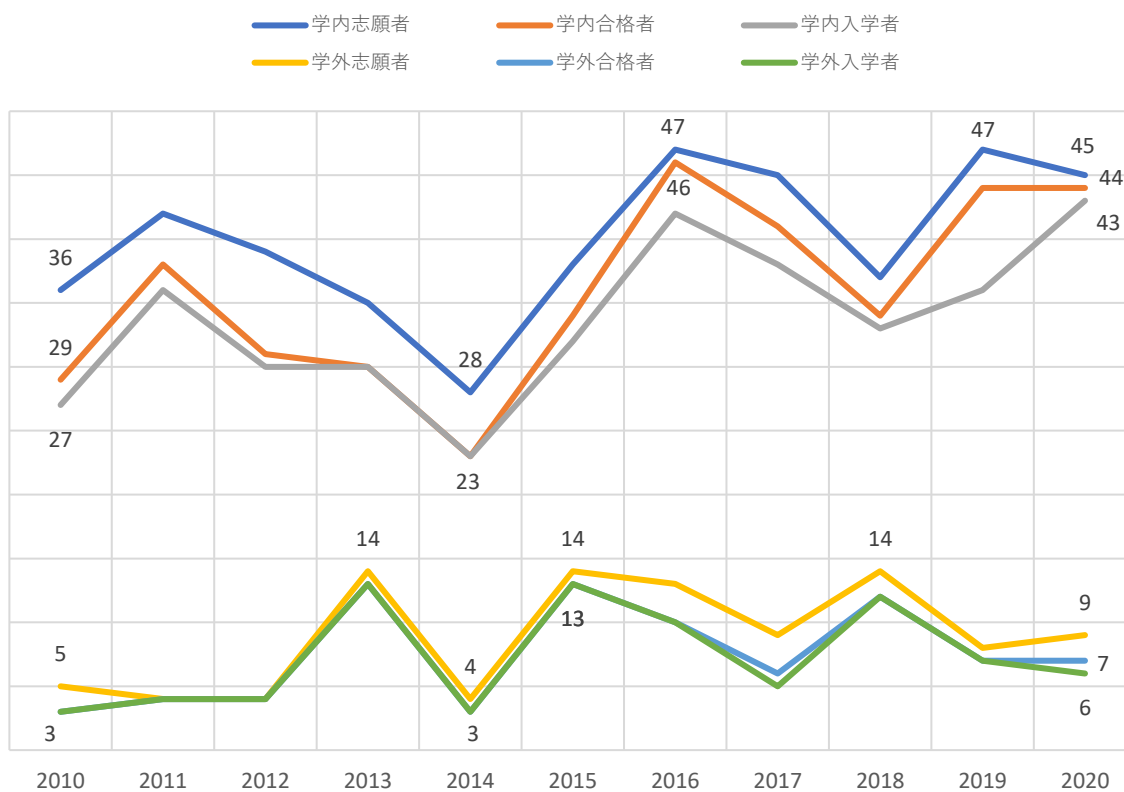
博士後期課程入学者数推移



大学院科目等履修生 入学試験状況2010～2020

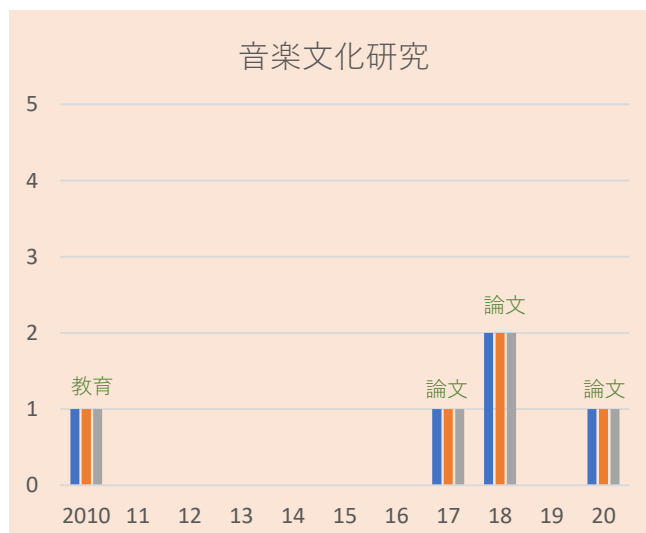
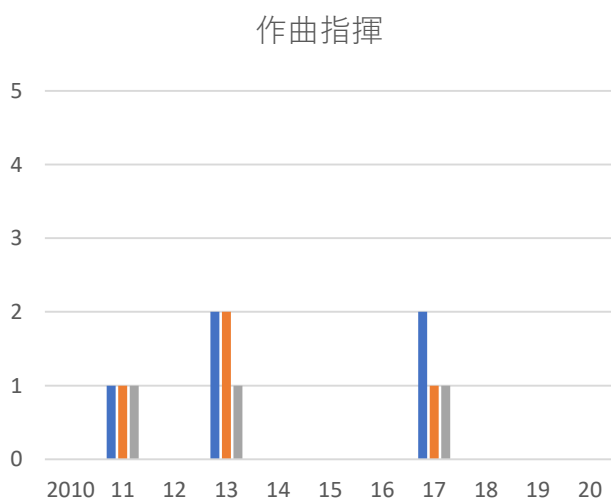
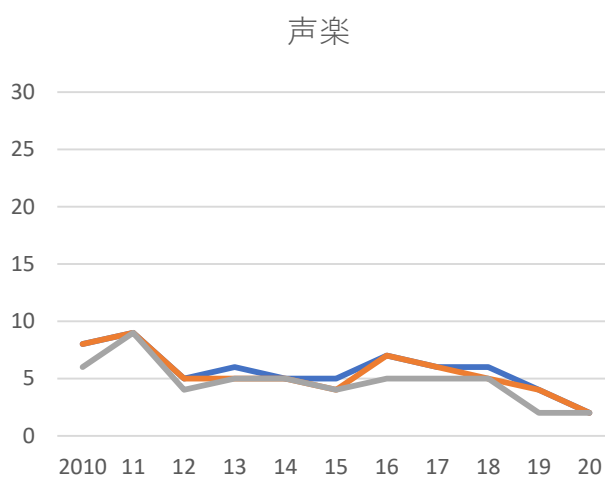
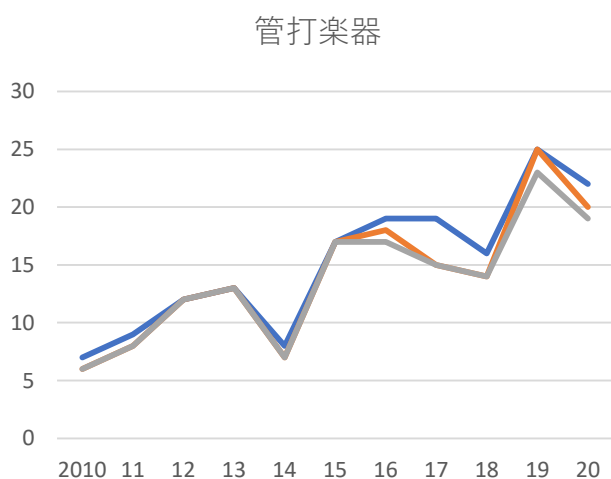
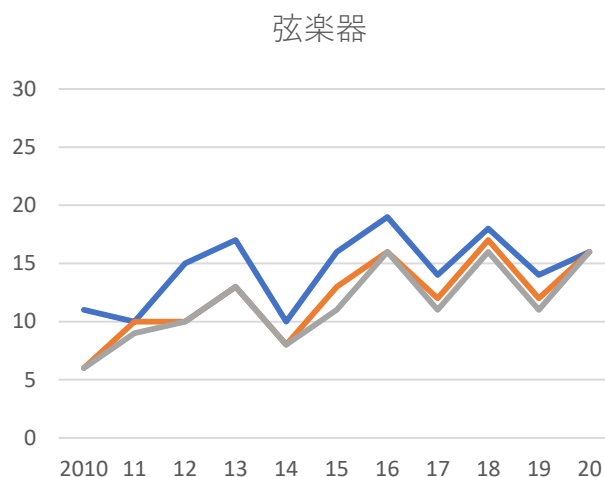
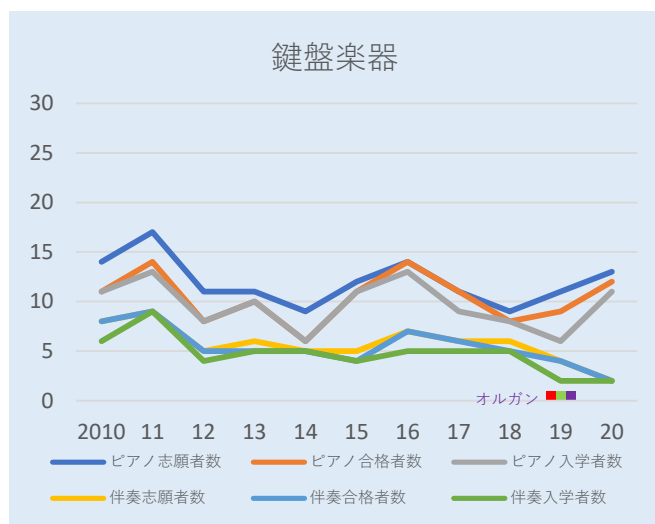


科目等履修生 志願者・合格者・入学者 学内外の比較



科目等履修生 研究領域別志願者・合格者・入学者

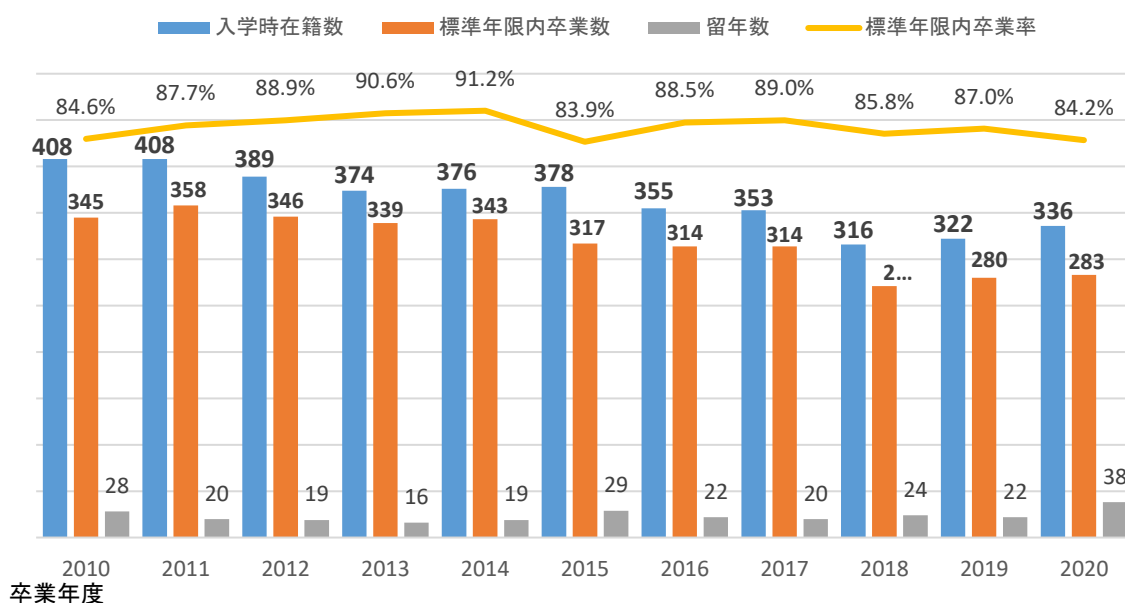
志願者数 合格者数 入学者数



Ⅱ. 教育

Ⅱ－3 卒業者数(学部)

標準年限(4年)内卒業率(学部)2010～2020



※編入学者数は含まない。退学(等)数は表示していない。

専攻別最高学年在籍者(過年度生・編入学生含)の卒業者数と卒業率

専攻	年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
声楽	最高学年在籍数	65	76	86	68	49	58	46	48	48	42	52
	卒業者数	56	63	76	62	45	51	39	39	43	36	43
	卒業率(%)	86.15%	82.89%	88.37%	91.18%	91.84%	87.93%	84.78%	81.25%	89.58%	85.71%	82.69%
器楽(鍵盤)	最高学年在籍数	143	150	147	172	154	143	157	164	131	116	124
	卒業者数	134	144	137	162	146	134	145	159	125	110	108
	卒業率(%)	93.71%	96.00%	93.20%	94.19%	94.81%	93.71%	92.36%	96.95%	95.42%	94.83%	87.10%
器楽(弦)	最高学年在籍数	57	50	39	40	56	49	43	42	29	34	40
	卒業者数	50	49	38	39	52	44	39	36	23	31	33
	卒業率(%)	87.72%	98.00%	97.44%	97.50%	92.86%	89.80%	90.70%	85.71%	79.31%	91.18%	82.50%
器楽(管打)	最高学年在籍数	68	70	66	62	65	65	65	65	73	83	65
	卒業者数	62	63	63	60	61	63	64	58	63	80	58
	卒業率(%)	91.18%	90.00%	95.45%	96.77%	93.85%	96.92%	98.46%	89.23%	86.30%	96.39%	89.23%
作曲・指揮	最高学年在籍数	30	27	22	18	27	35	35	34	33	36	29
	卒業者数	27	24	18	14	23	25	26	26	26	30	22
	卒業率(%)	90.00%	88.89%	81.82%	77.78%	85.19%	71.43%	74.29%	76.47%	78.79%	83.33%	75.86%
音楽文化教育	最高学年在籍数	47	43	34	25	35	21	24	15	18	15	23
	卒業者数	42	39	34	20	32	18	21	14	16	11	20
	卒業率(%)	89.36%	90.70%	100.00%	80.00%	91.43%	85.71%	87.50%	93.33%	88.89%	73.33%	86.96%
ミュージック・リベラルアーツ	最高学年在籍数										2	14
	卒業者数										2	12
	卒業率(%)										100.00%	85.71%
全体	最高学年在籍数	410	416	394	385	386	371	370	368	332	328	347
	卒業者数	371	382	366	357	359	335	334	332	296	300	296
	卒業率(%)	90.49%	91.83%	92.89%	92.73%	93.01%	90.30%	90.27%	90.22%	89.16%	91.46%	85.30%

※各年度9月卒業者数を含む

※2019年度早期卒業者3名は除外

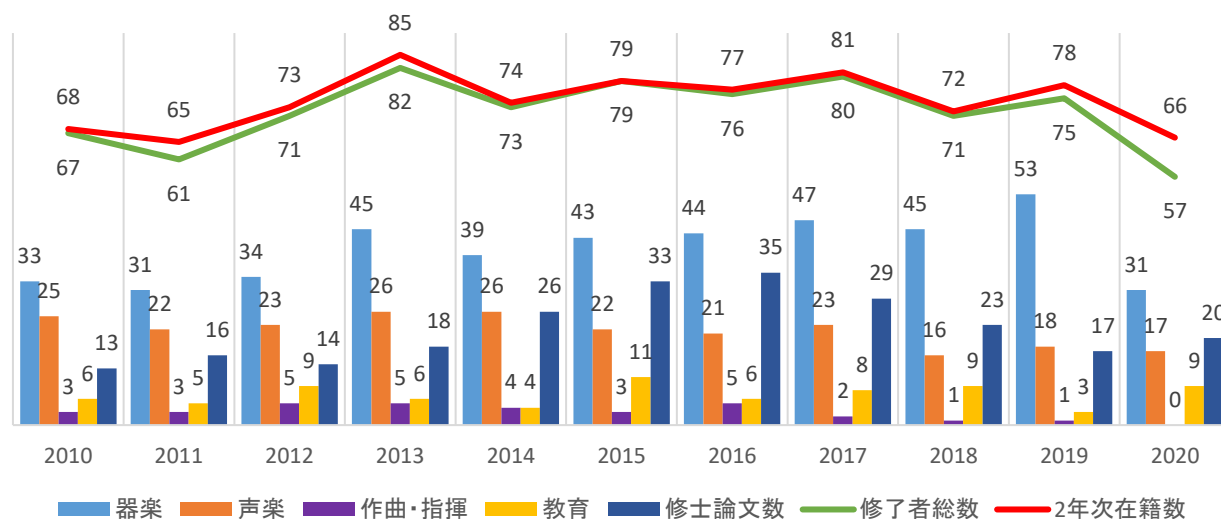
Ⅱ-3 卒業・修了(大学院)

大学院修士課程標準年限(2年)内修了者数・率(2010～2020)

入学年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
入学数	67	66	70	84	73	78	80	85	72	79	68
中途退学数	0	3	1	1	1	0	2	4	0	4	4
中途退学率	0%	4.50%	1.40%	1.20%	1.40%	0%	2.50%	4.70%	0%	5.10%	5.88%
修了年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
標準修業年限内修了者	66	60	67	81	72	78	76	79	68	72	55
留年数	1	3	2	2	0	0	2	2	4	3	9
標準修業年限内修了率	98.51%	90.91%	95.71%	96.43%	98.63%	100.00%	95.00%	92.94%	94.44%	91.14%	80.88%

※過年度生を含まない

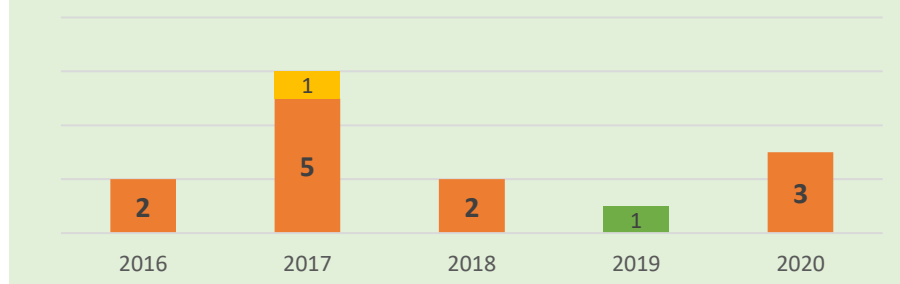
修士課程修了者数・修士論文数2010～2019



※過年度生を含む

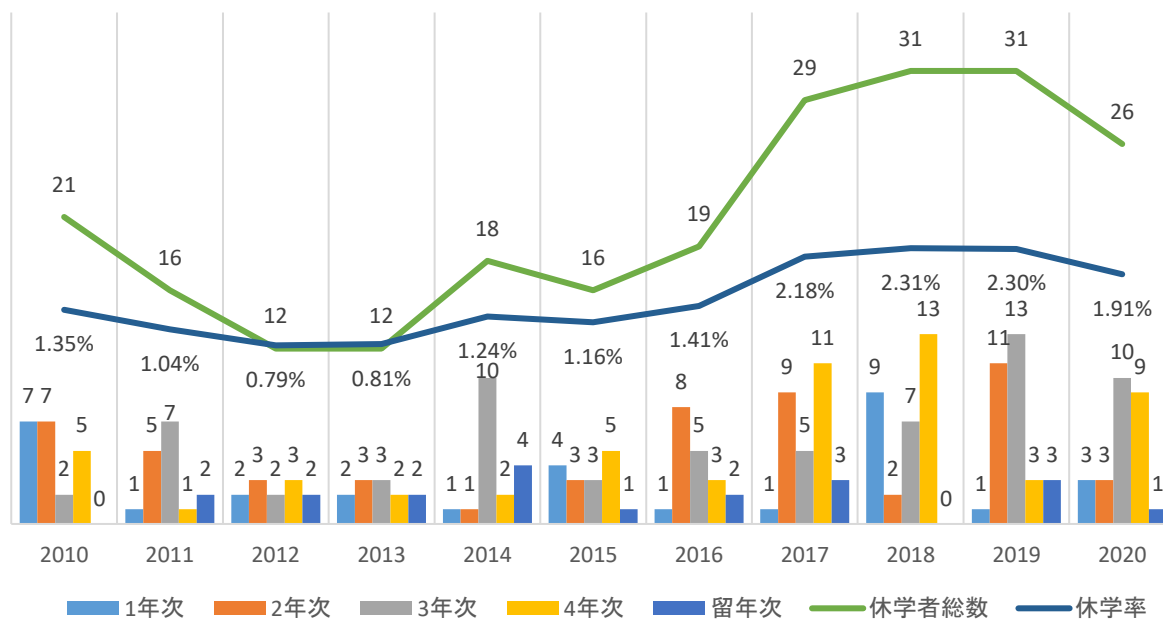
博士後期課程学位授与数

■ 音楽 ■ 音楽学 ■ 音楽教育学



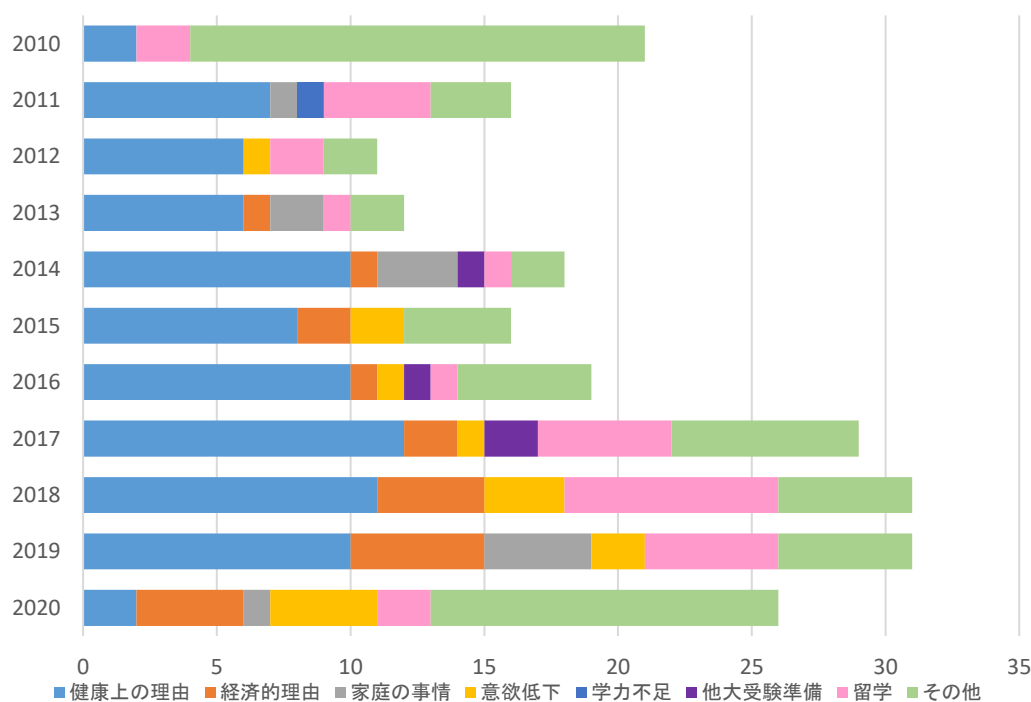
休学

年度・年次別休学者数・休学率(学部) 2010～2020



※休学率＝休学者数÷在籍数(各年度5月1日付)

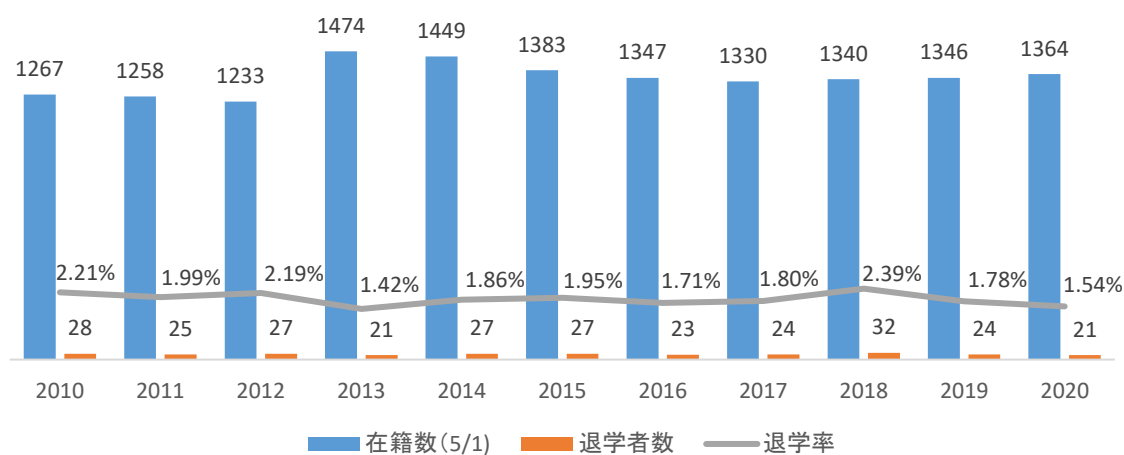
休学理由の割合 2010～2020



※2020年度の休学者の内「その他」には、コロナの影響により十分な授業・レッスンが受けられないという理由の学生9名含む

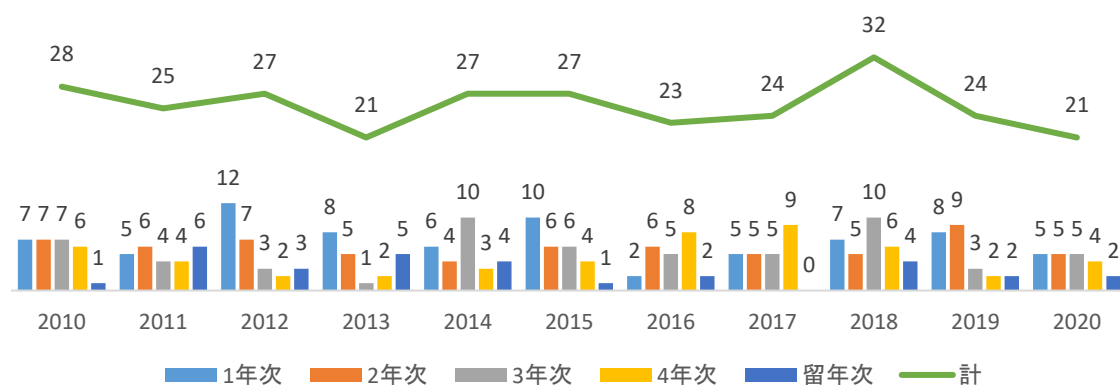
退学

退学者数・退学率(学部)



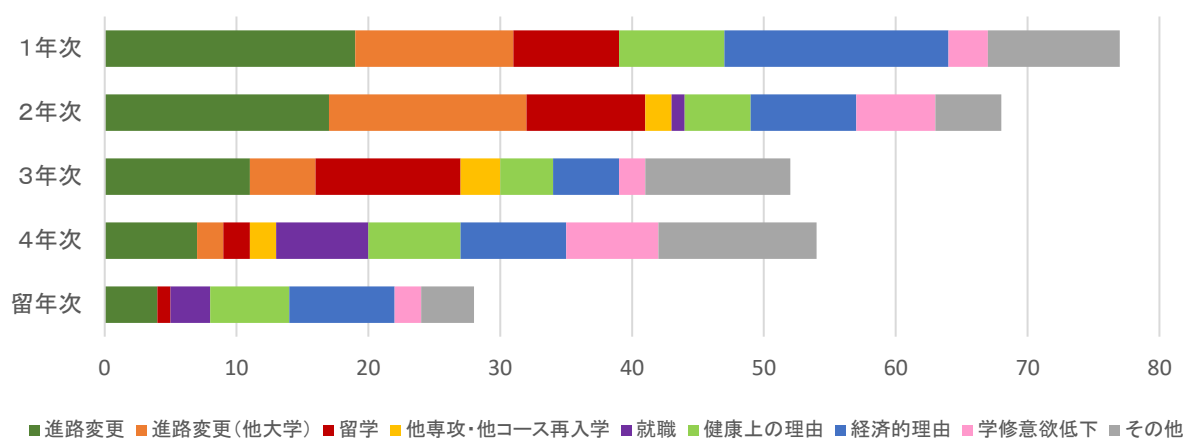
※除籍者数を除く

退学年次別退学者数



※除籍者数を除く

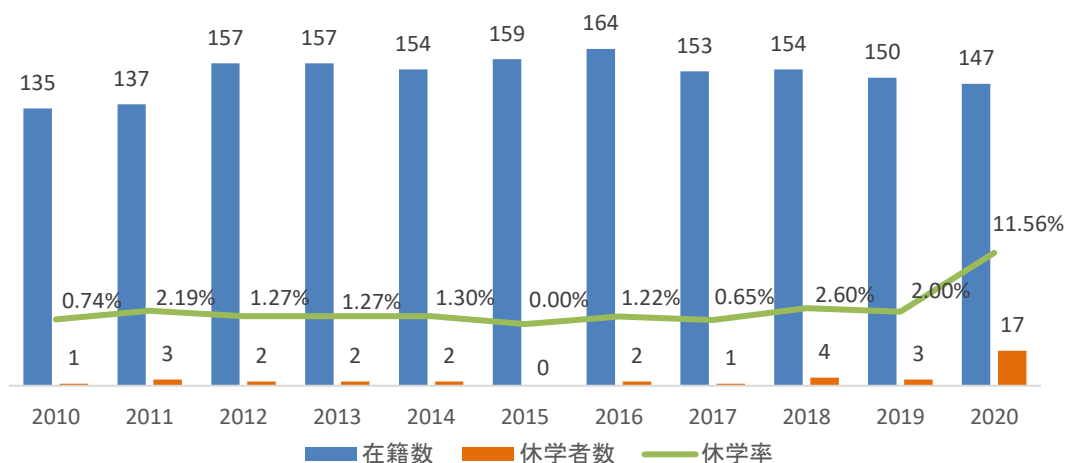
年次別退学理由の割合 2010～2020



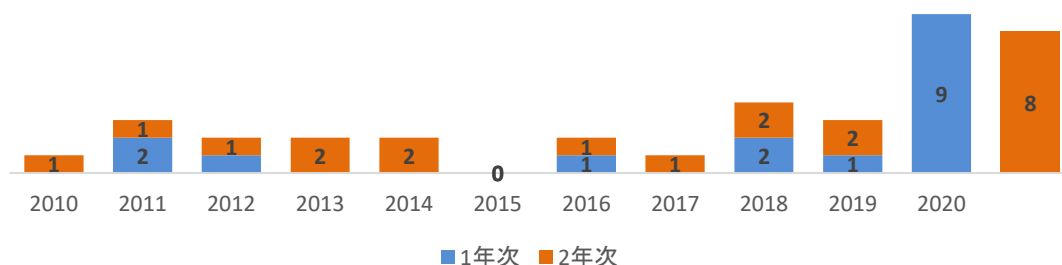
Ⅱ-4 休学・退学(大学院)

休学

修士課程休学者数・休学率

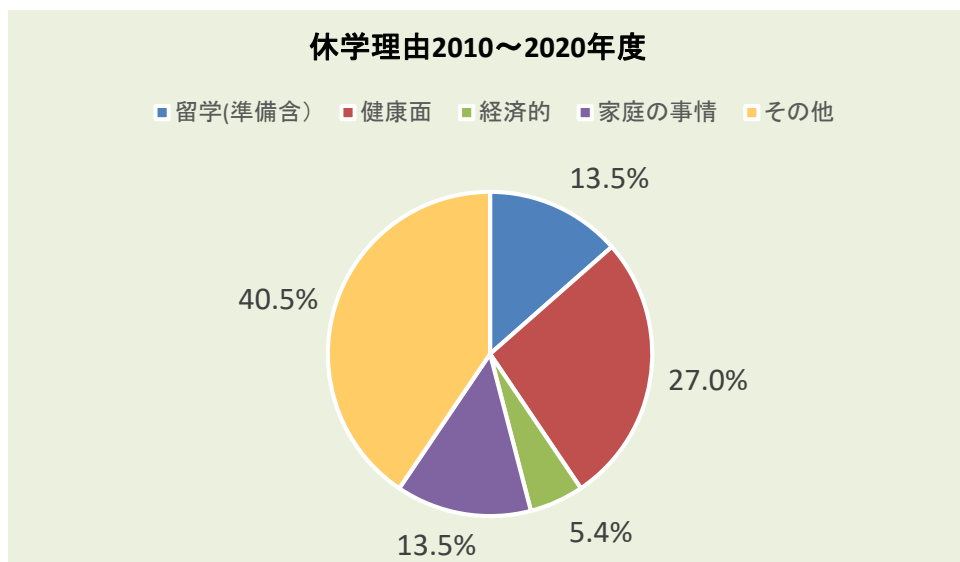


修士課程年次別休学者数



※2020年度は、コロナの影響による学習環境変化を理由に休学した12名を含む。

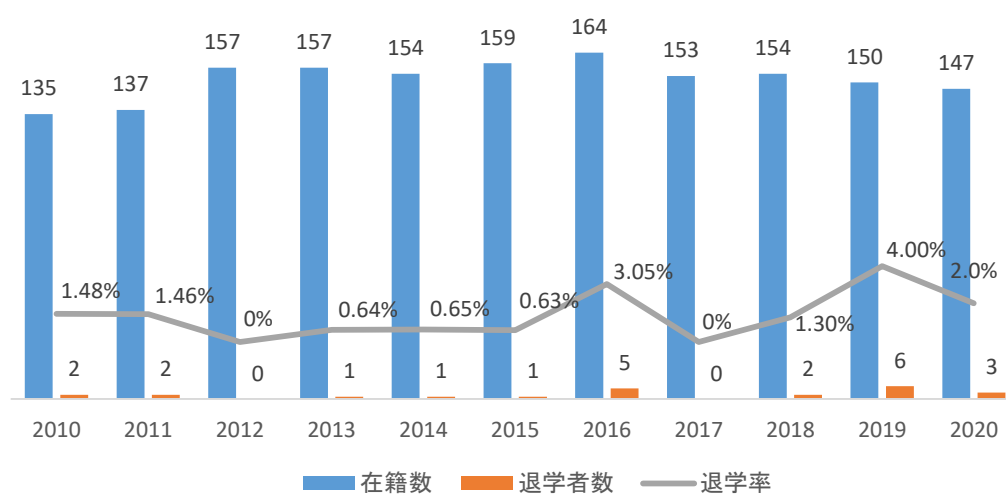
休学理由2010～2020年度



※2020年度、コロナの影響による学習環境変化を理由に休学した学生は「その他」に含む。

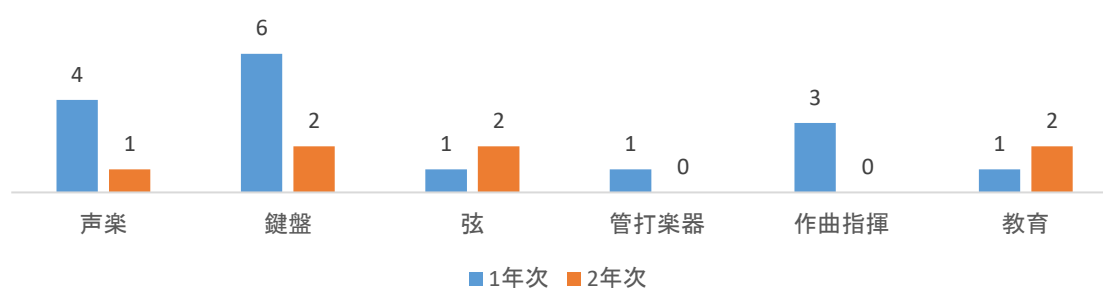
退学

修士課程 年度別退学者数・退学率



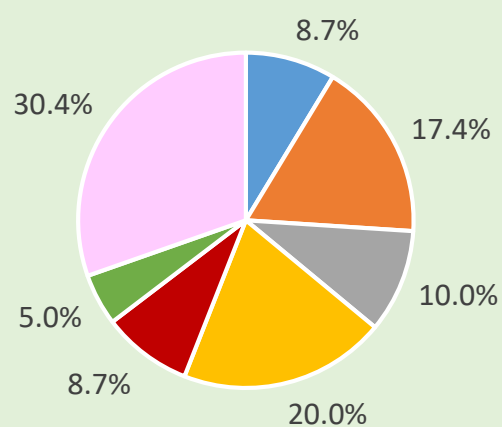
※除籍者数は除く

修士課程 専攻・年次別退学者数



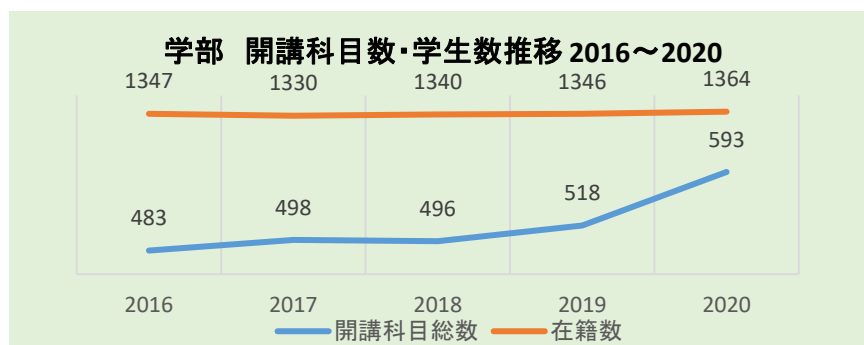
修士退学理由2010～2020年度

■進路変更 ■留学 ■就職 ■健康面 ■経済 ■意欲低下 ■その他

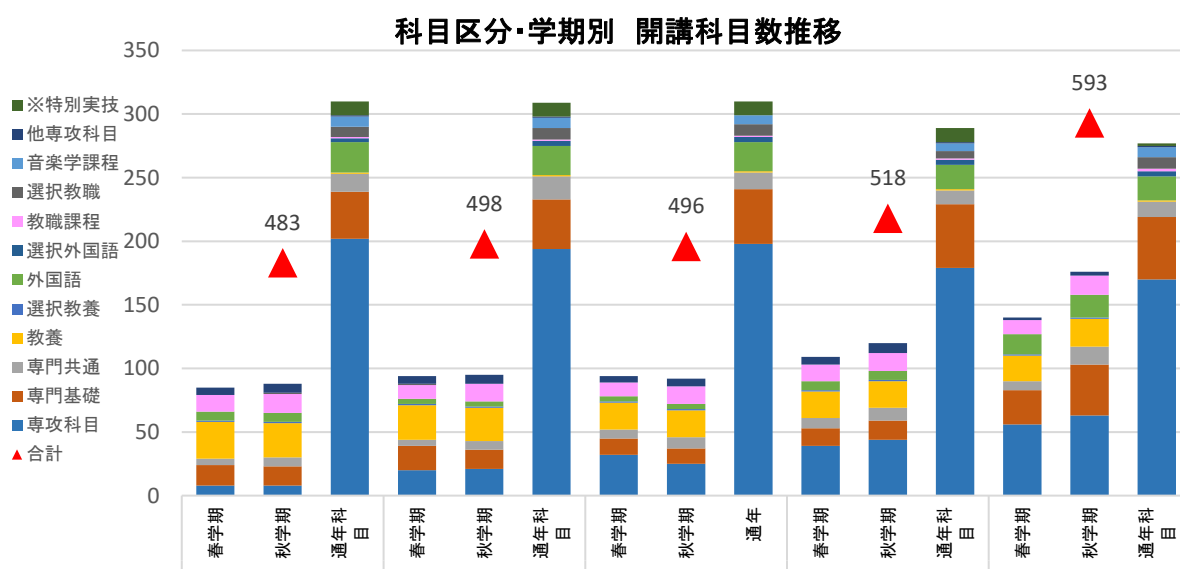


Ⅱ. 教育

Ⅱ-5 開講科目数(学部)



※2023年12月修正

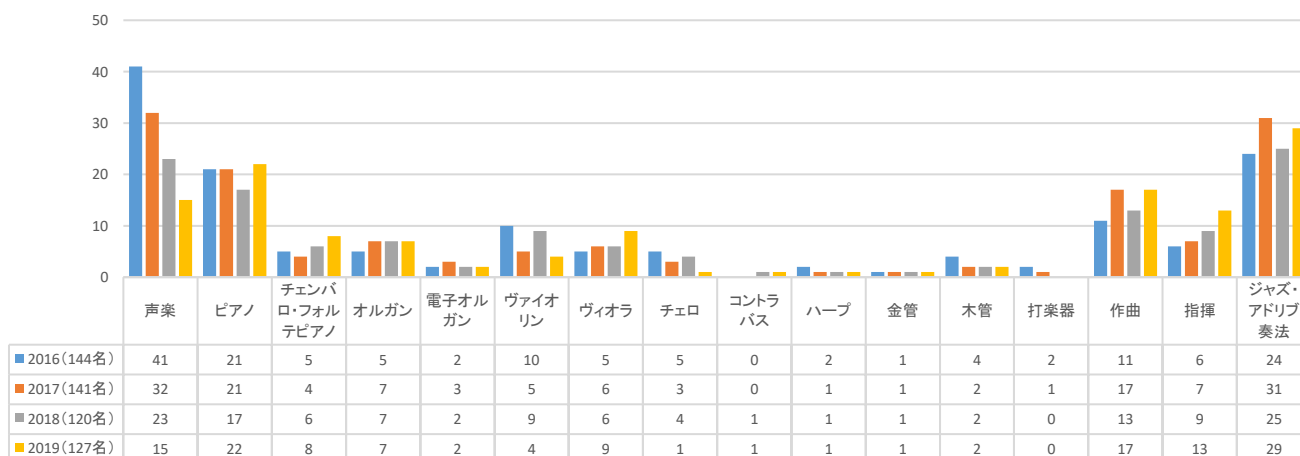


※特別実技科目 ※2020年度は特別実技科目開講無し

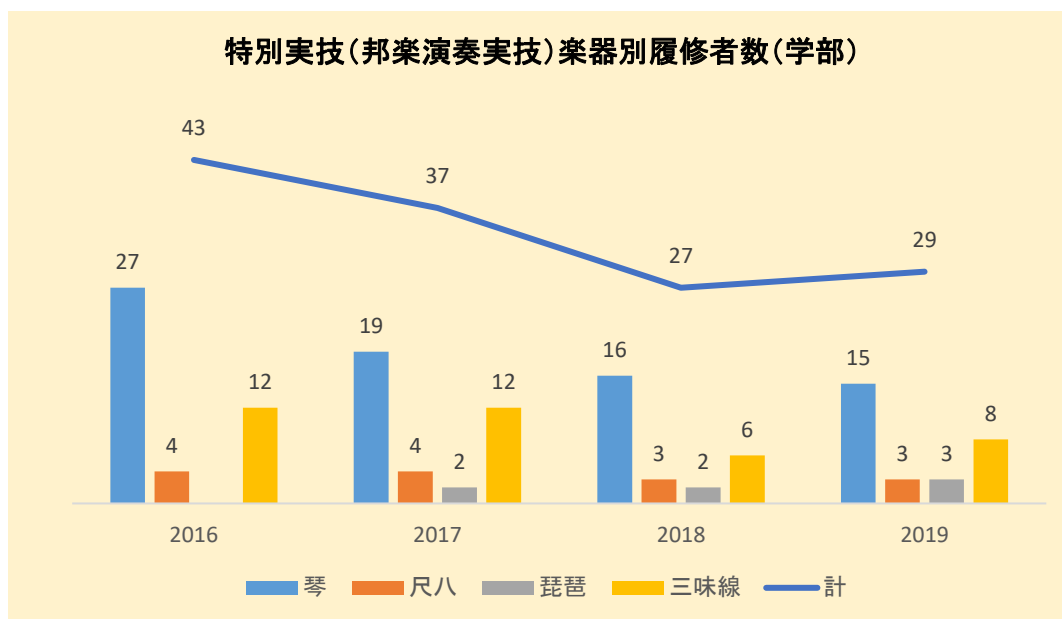
※2023年12月修正

1. 第2副科実技(全専攻対象 1科目につき受講料年額96,000円)
2. 邦楽演奏実技(全専攻対象 1科目につき受講料年額36,000円)
3. ガムラン演奏実技(全専攻対象 無料) ※2019年度から専門共通科目に変更

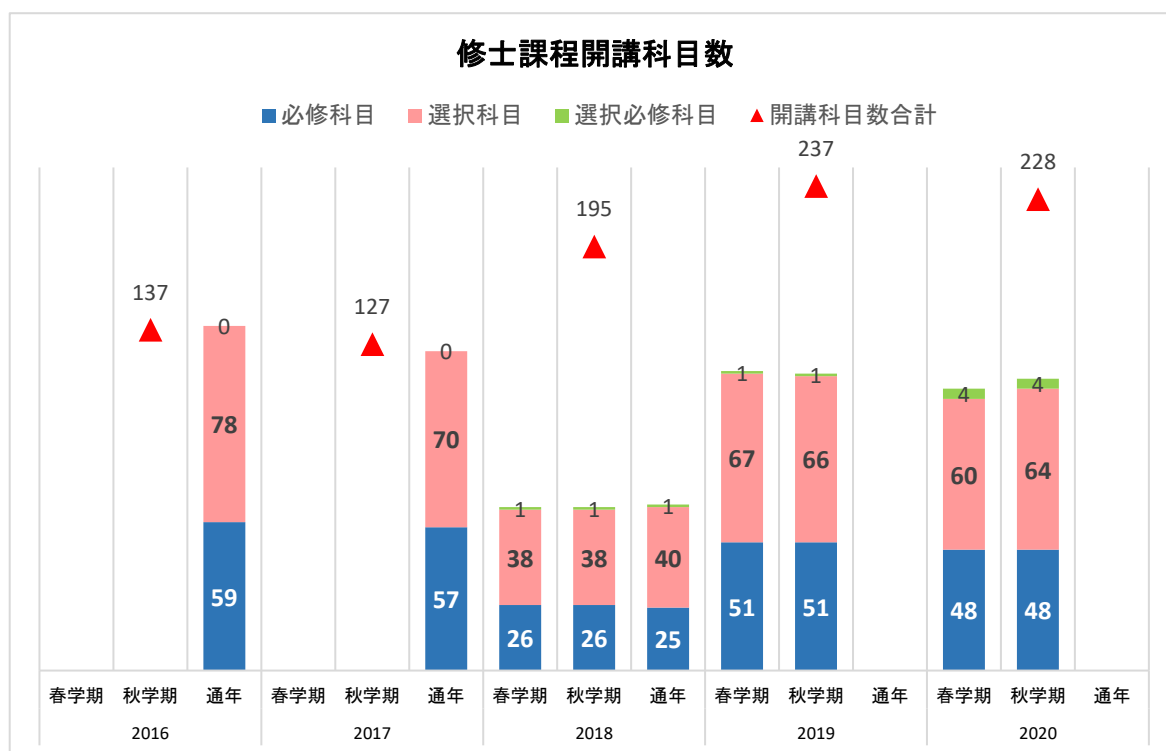
特別実技(第2副科)楽器別履修者数推移



※2017年度よりピアノ専攻は専門基礎科目として副科実技Ⅰ(声楽)が履修可能になった。2020年度は開講無し。



Ⅱ-5 開講科目数(修士)



Ⅱ. 教育

Ⅱ-6 単位修得状況(学部)

卒業要件(卒業に必要な単位数:2020年度入学生)

専攻(コース)	教養科目	外国語科目	必修科目	選択必修	選択科目	計
声楽(声楽芸術コース)	12	20	68	－	24	124
声楽(声楽特別演奏家コース)	12	20	68	－	24	124
器楽(ピアノ演奏家コース)	12	12	54	－	46	124
器楽(ピアノ)	12	12	54	－	46	124
器楽(コンポーザー＝ピアニストコース)	12	12	68	－	32	124
器楽(ピアノ・創作コース)	12	12	70	－	30	124
器楽(チェンバロ／オルガン)	12	12	62	－	38	124
器楽(弦楽器)	12	12	68	－	32	124
器楽(管打楽器)	12	12	70	－	30	124
作曲指揮(作曲「芸術音楽コース」)	16	12	66	－	30	124
作曲指揮(作曲「映画・放送音楽コース」)	14	12	78	4	16	124
作曲指揮(作曲「ポピュラー・インストゥルメンツコース」)	12	12	88	－	12	124
作曲指揮(作曲「ソングライティングコース」)	14	12	76	－	22	124
作曲指揮(指揮)	12	12	72	－	28	124
音楽文化教育	12	12	36	16	48	124
ミュージック・リベラルアーツ	0	0	59	26	39	124
吹奏楽アカデミー	12	12	66	24	10	124

※転専攻、コース変更した場合、卒業に必要な単位数が124単位を超えることがある。

成績評価 GPA(Grade Point Average)

点数	評語		判定	GPA
	2019年度入学生以降	2018年度入学生以前		
90～100点	A+	秀	合格	4
80～89点	A	優	合格	3
70～79点	B	良	合格	2
60～69点	C	可	合格	1
59点以下	F	不可	不合格	0
評価外	X	外	不合格	0

GPAの種類と算出方法: 「年度GPA」「累積GPA」に区分し、次の方法により算出。
算出された数値の小数点第3位以下は切捨て。

(1)当該年度のGPAの計算式

$$\frac{(\text{当該年度の「秀/A+」の単位数} \times 4 + \text{「優/A」の単位数} \times 3 + \text{「良/B」の単位数} \times 2 + \text{「可/C」の単位数} \times 1)}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

(2)累積GPAの計算式

$$\frac{(\text{全期間の「秀/A+」の単位数} \times 4 + \text{「優/A」の単位数} \times 3 + \text{「良/B」の単位数} \times 2 + \text{「可/C」の単位数} \times 1)}{\text{全期間の総履修登録単位数}}$$

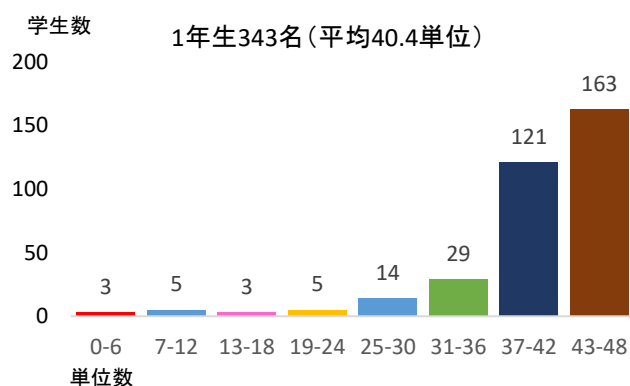
- GPA非対象科目: 1.卒業要件に算入しない教職に関する科目
2.卒業要件に算入しない特別実技科目
3.成績評価が「認定／P」と付く科目
4.所定の期間に履修登録取り消し手続きをした科目

※2020年度学生便覧より

Ⅱ-6 単位修得状況(学部) a.修得単位数

単位の過剰登録を防ぎ、効果的な学習時間(予習復習を含む自主的な学習時間)を確保するために本学では1年間に履修登録できる単位数の上限を48単位と定めている。(CAP制) 下のグラフは各学年で2020年度に修得した単位数の分布(左)、20年度までに修得した通算単位数の分布(右)である。

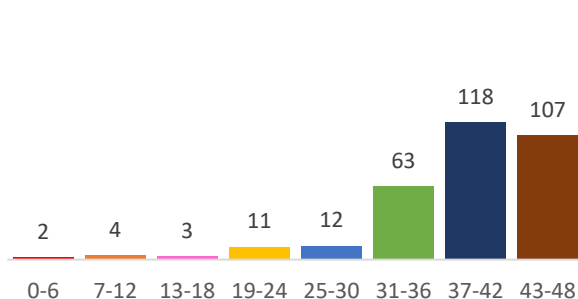
2020年度学年別修得単位数分布



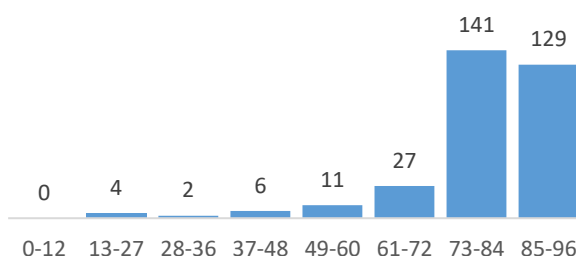
2020年度分を含む通算修得単位数分布

左記グラフと同じ

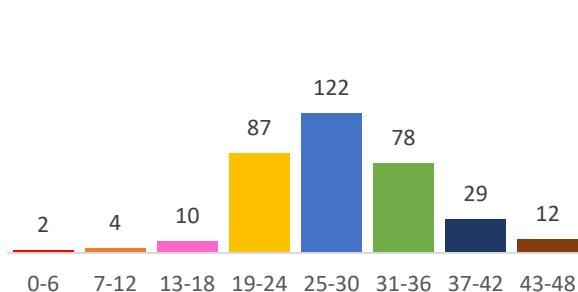
2年生320名(平均38.3単位)



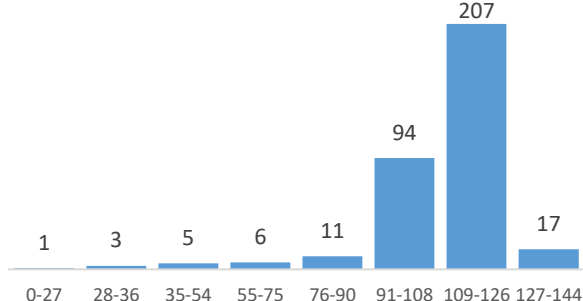
2年生通算修得単位数(平均80.5単位)



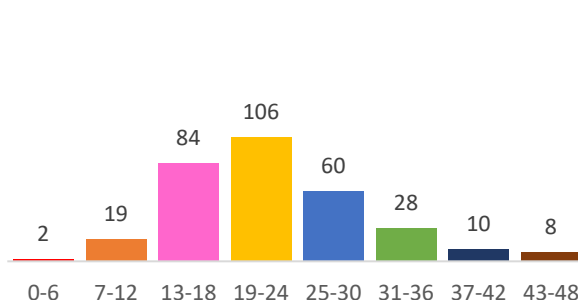
3年生344名(平均28.4単位)



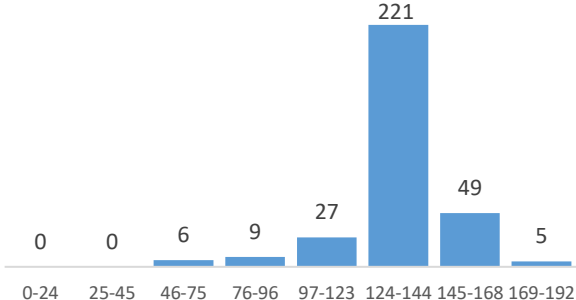
3年生通算修得単位数(平均108.7単位)



4年生317名(平均22.8単位)



4年生通算修得単位数(平均131.6単位)

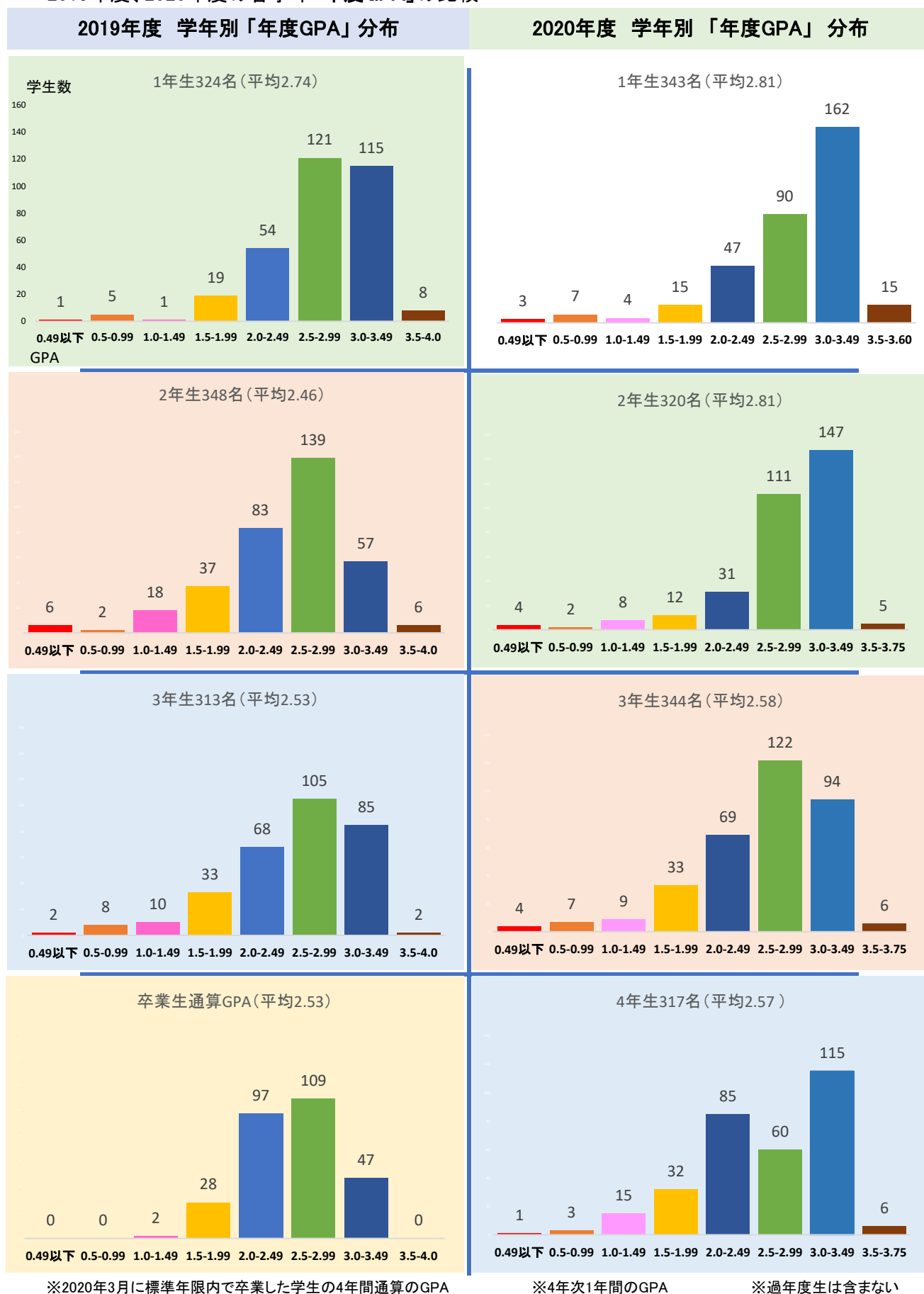


※留年となった学生を含む。過年度生は含まない。

※留年となった学生を含む。過年度生は含まない。

Ⅱ-6 単位修得状況(学部) b. GPA分布

2019年度、2020年度の各学年「年度GPA」の比較



Ⅱ-6 単位修得状況(大学院)

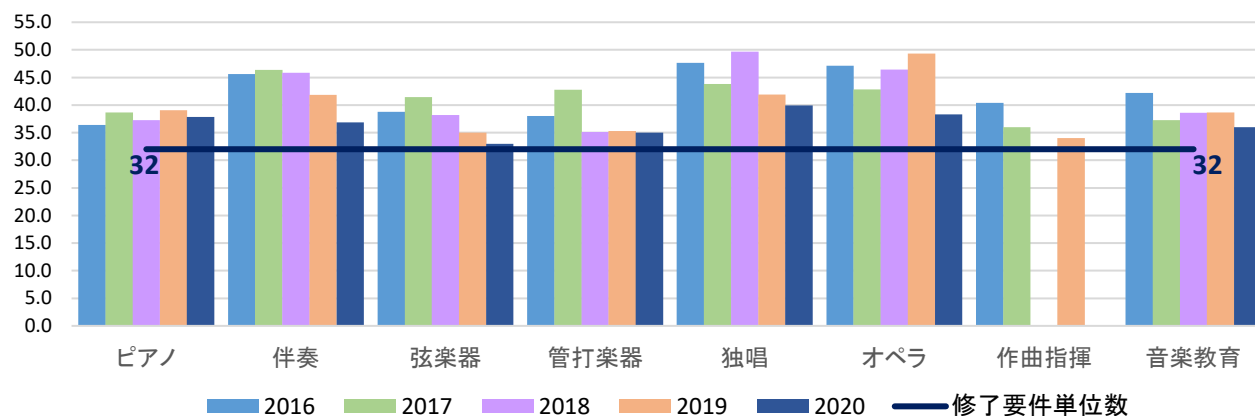
大学院(修士課程)専攻(研究領域)別修了要件単位数

専攻	必修科目	選択科目	修了要件単位数
器楽	20	12	32
声乐	16	16	
作曲指揮	16	16	
	20	12	
音楽文化	16	16(4)	
	16	16	
	18	14(4)	
	8	24(8)	

※()内の数字は選択必修科目の単位数

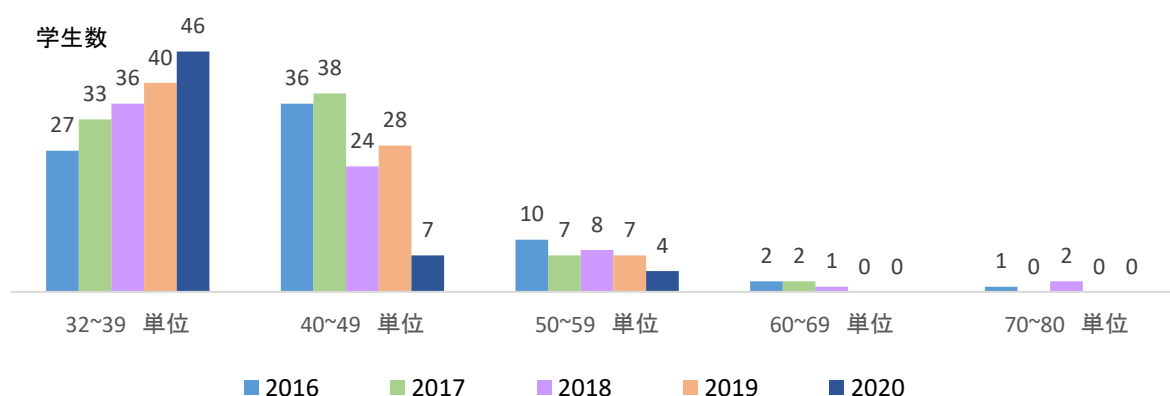
修得単位数

修了時修得単位数 研究領域別平均

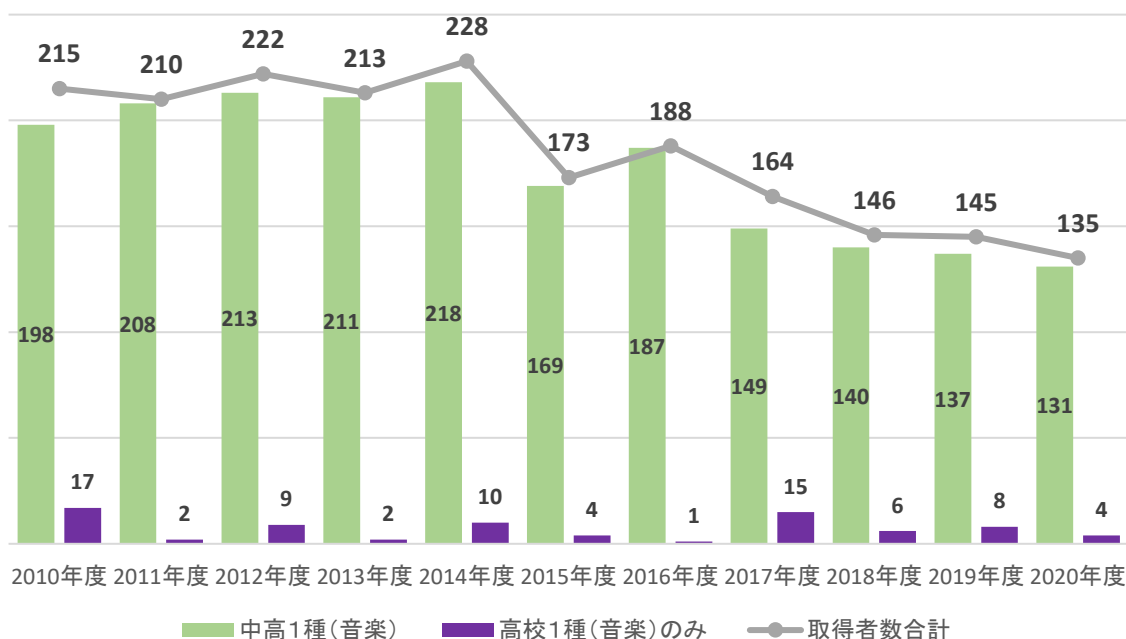


※「作曲指揮」及び「音楽教育」については専攻の平均

修士課程 修了時修得単位数分布

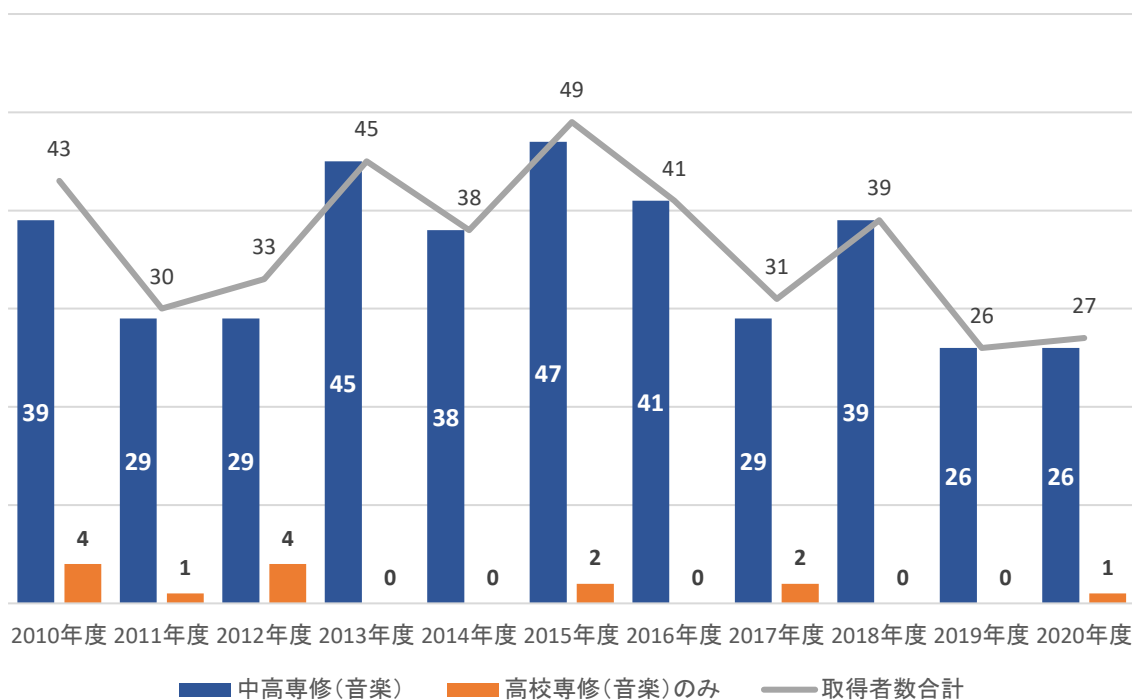


教育職員免許状 中高1種(音楽)取得者数



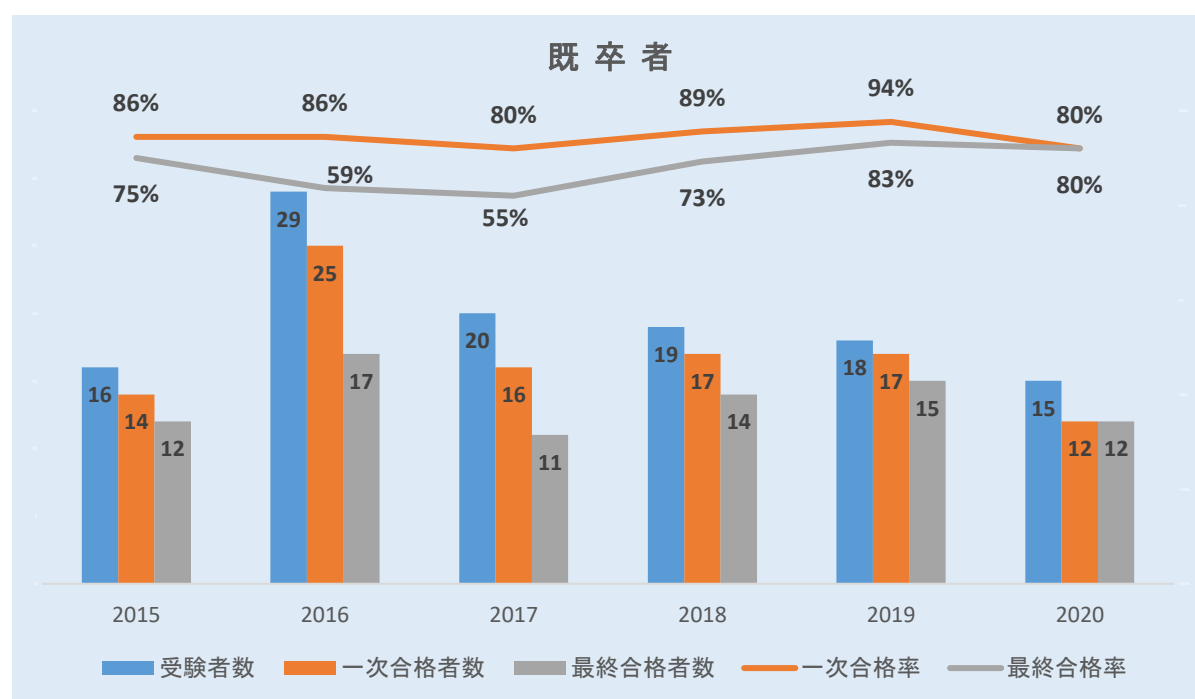
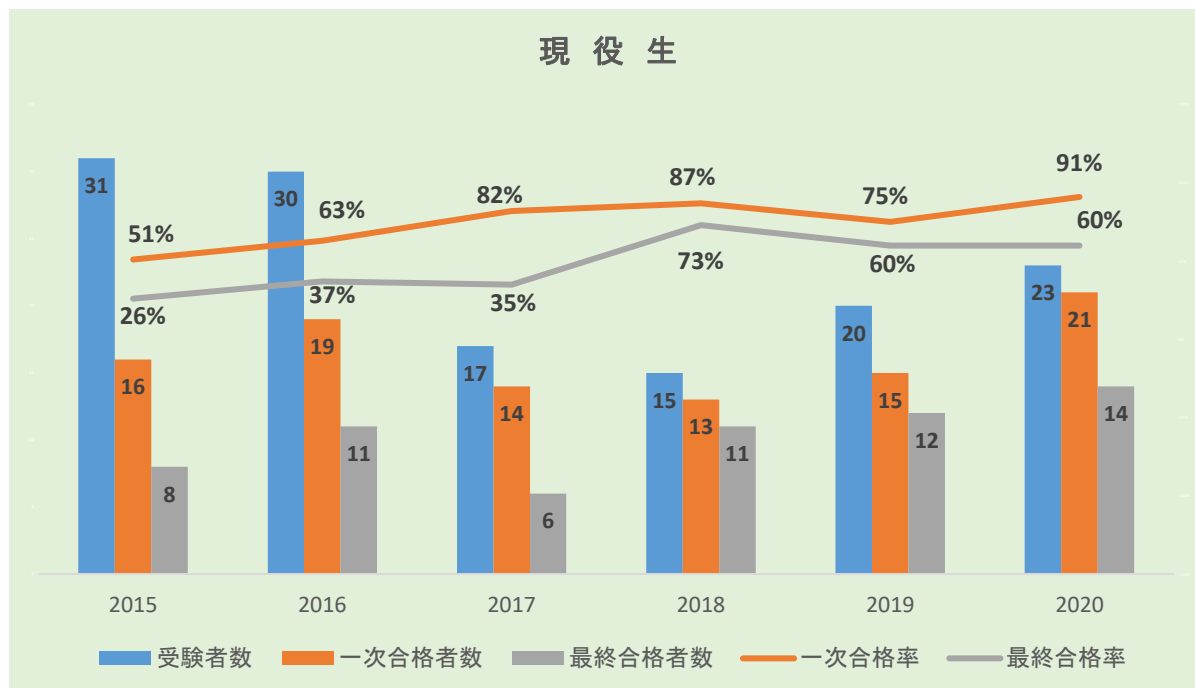
※個人申請者は含まない

教育職員免許状 中高専修(音楽)取得者数



※個人申請者は含まない

教員採用試験結果 2015～2020



毎年行っている本学主催の演奏会

1.	卒業演奏会
2.	学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会
3.	シンフォニックウインドアンサンブル定期演奏会
4.	ピアノ演奏会～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～
5.	ピアノ教員によるコンサート
6.	声楽教員によるコンサート
7.	弦楽アンサンブル演奏会
8.	シンフォニーオーケストラ定期演奏会

その他の主な本学主催演奏会2015年度～

2015年度	コハーン・イシュトヴァーン クラリネットリサイタル シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会 打楽器教員によるコンサート 東京音楽大学&京都市立芸術大学交流演奏会 吹奏楽Vol.2
2016年度	コハーン・イシュトヴァーン クラリネットリサイタル ミロスラフ・クルティシェフ ピアノリサイタル エリソ・ヴィルサラゼ ミニコンサート&公開レッスン 教員による室内楽演奏会
2017年度	シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会 創立111周年記念オペラ公演「ラ・ボエーム」 エリソ・ヴィルサラゼ ミニコンサート&公開レッスン ファルカシュ・ガーボル リスト「巡礼の年」全曲演奏会
2018年度	シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会 ドビュッシー没後100年記念「印象派光と影の織りなす色彩の芸術」 エリソ・ヴィルサラゼ ミニコンサート&公開レッスン 名川・岡村法律事務所創立101周年 東京音楽大学創立111周年記念 特別演奏会
2019年度	創立111周年記念コンサートシリーズ(8公演) シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会 中目黒・代官山キャンパス開校記念 シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会 室内楽・オーケストラコンサート エリソ・ヴィルサラゼ ミニコンサート&公開レッスン
2020年度	教員室内楽コンサート 「ベートーヴェンイヤーに贈る精鋭メンバーによるスペシャルコンサート」 東京音楽大学コンクール優勝者コンサート シンフォニーオーケストラ演奏会(Aオーケストラ)

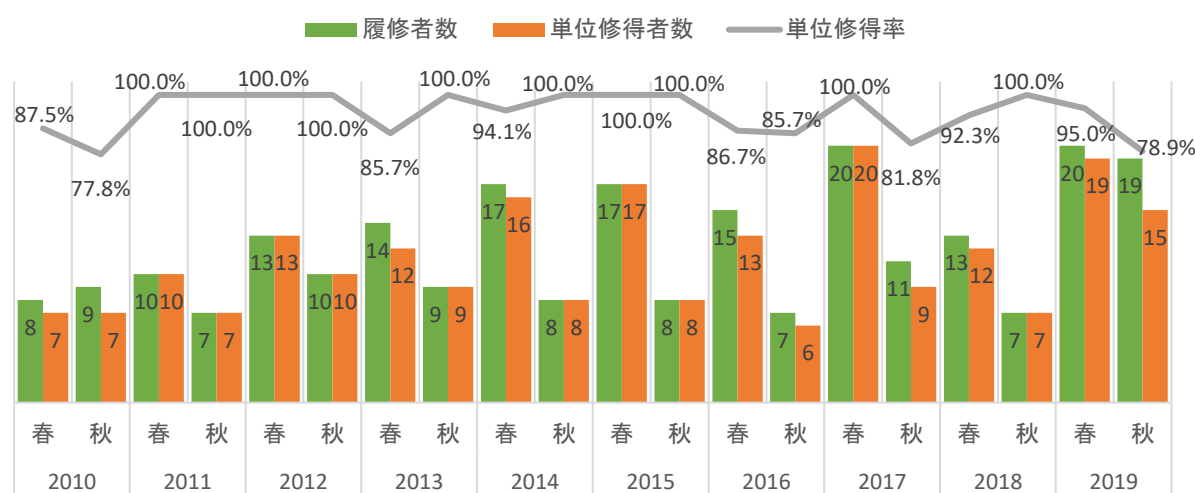
※ その他 外部団体からの依頼演奏会についてはⅦ. 社会貢献参照

Ⅱ-9 大学間連携

1. 上智大学との単位互換制度

2010年度より上智大学との単位互換制度を開始。

上智大学との単位互換実績 2010～2019



※2020年度は実施無し

2. 明星大学との教育業務提携

2015年に明星大学通信教育学部と教育業務提携を締結。

小学校教諭二種免許状が取得可能になる。

通信教育受講実績

2015年度生	7名	2018年度生	8名
2016年度生	8名	2019年度生	2名
2017年度生	9名	2020年度生	7名

3. 聖心女子大学との単位互換制度

2020年1月聖心女子大学と学生交流に関する協定書を締結。

2020年度はコロナ禍のため実績なし。

4. 音楽系2大学連携事業

東京音楽大学・神戸女学院大学音楽学部 共通科目

「ミュージック・コミュニケーション講座」

平成21年度に文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定された「音大連携による教育イノベーション 音楽コミュニケーション・リーダー養成に向けて」として3大学(東京音楽大学・昭和音楽大学・神戸女学院大学)で開始。

現在は、東京音楽大学と神戸女学院大学音楽学部が継続・展開している。

神戸女学院大学音楽学部と、インターネット配信による同時中継授業を通じて、教育・地域・福祉の場で音楽を生かす方法を学ぶ。

Ⅱ. 教育

Ⅱ－10 学修行動調査

4月のガイダンス時、学部及び大学院の2年生以上にアンケート用紙を配付し、前年度について回答してもらっている学修行動調査結果の抜粋。2020年度はコロナ禍で4月のガイダンスが実施できなかったため、8月にUNIVERSAL PASSPORTを使って1年生も含めアンケートを実施。左側のグラフが2019年度、右側が2020年度の集計結果である。

回答率: 回答数÷対象学生数

2019年度 学部: 780/1004 77.7% 大学院: 72/89 80.9%

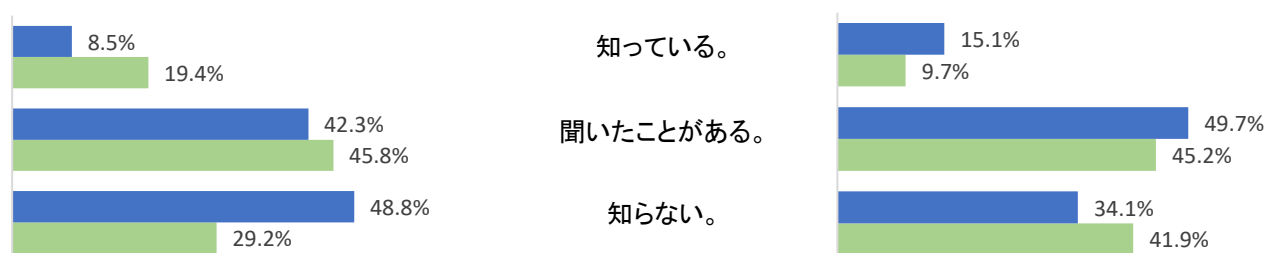
2020年度 学部: 786/1532 51.3% 大学院: 31/165 18.8%

2019年度集計結果

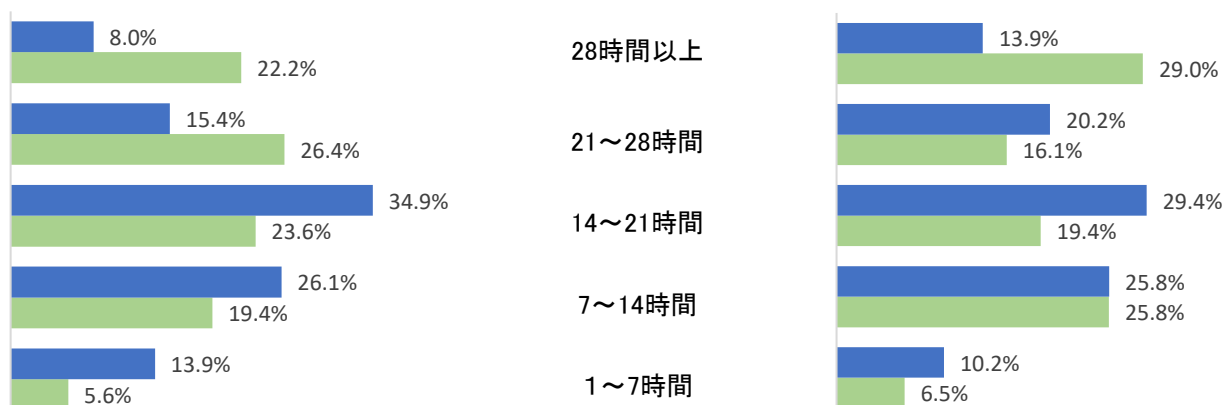
学部生 大学院生

2020年度集計結果

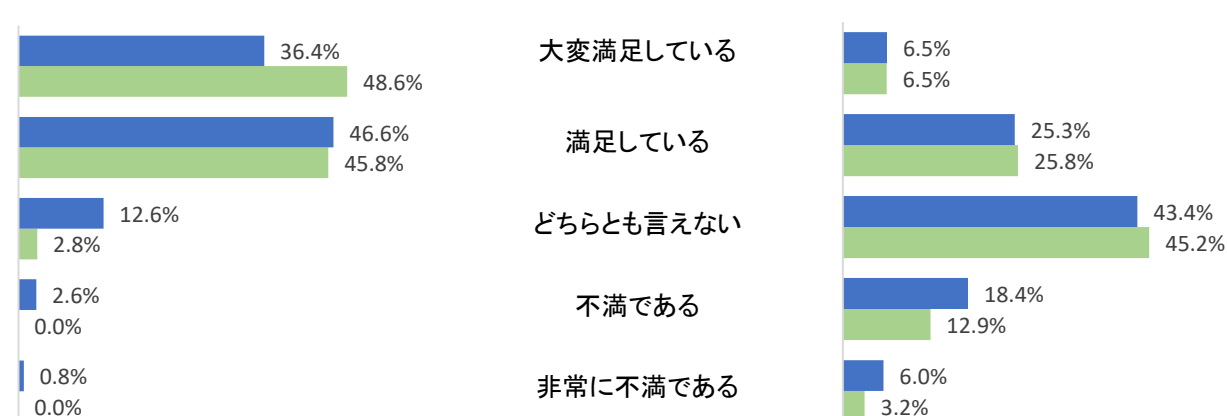
東京音楽大学の理念や使命・目的等を知っていますか？



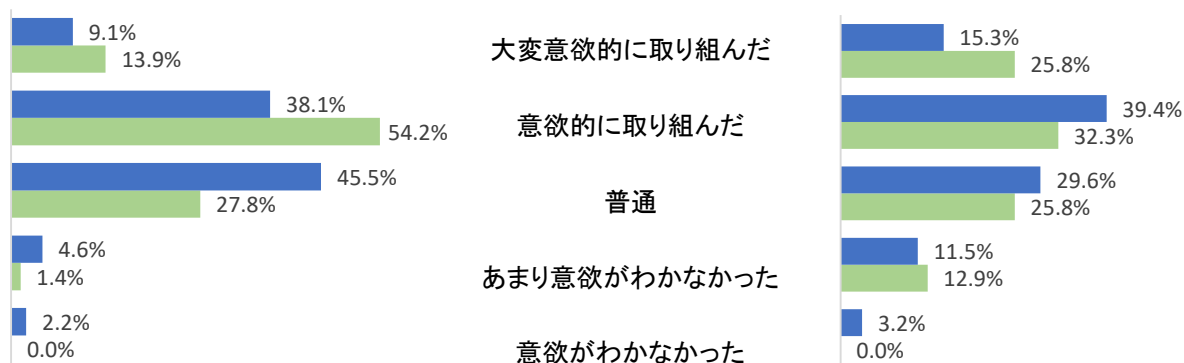
実技科目(専攻科目)の学修に、1週間当たりどれくらい時間をかけていますか？



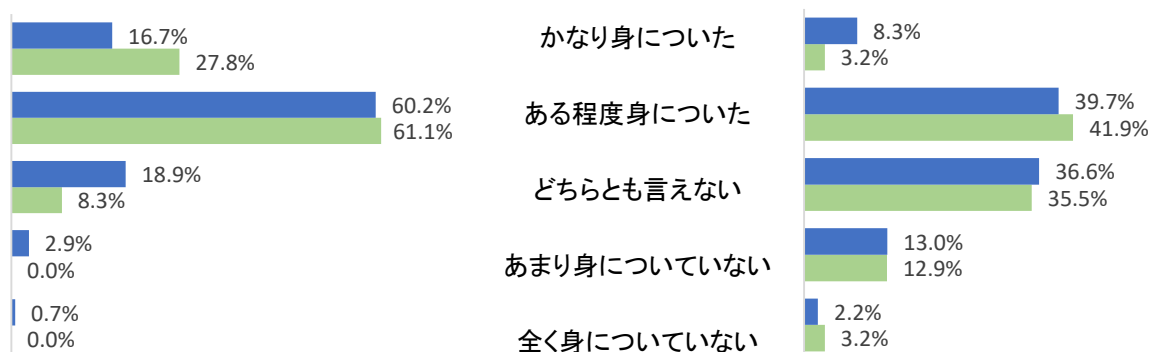
実技科目(専攻科目)のレッスン等に満足していますか？



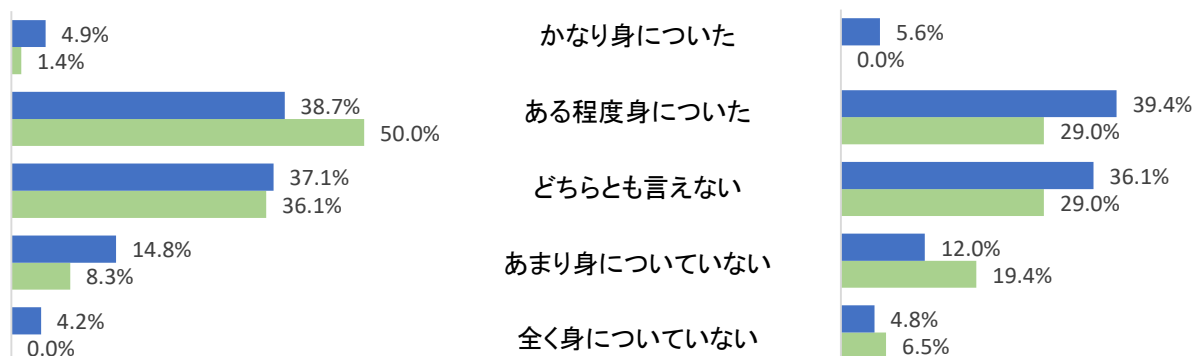
レッスンを除く授業や演習科目に意欲的に取り組みましたか？



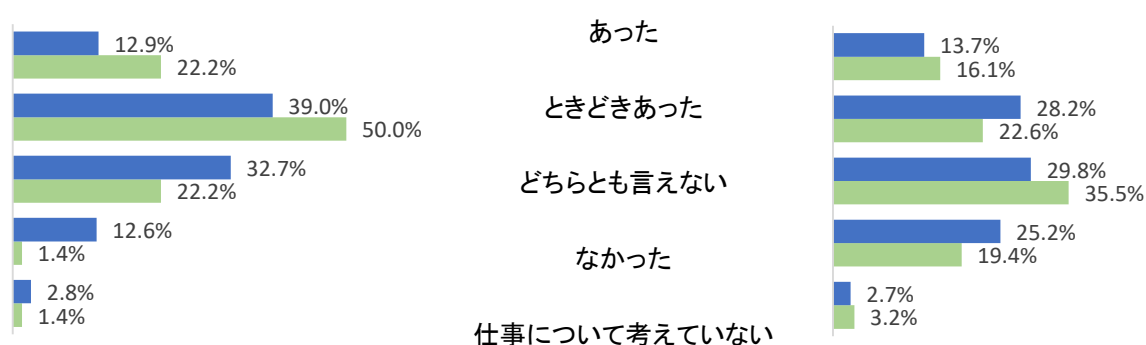
音楽に関する技能が向上しましたか？



外国語(語学)や一般的な教養が身につきましたか？



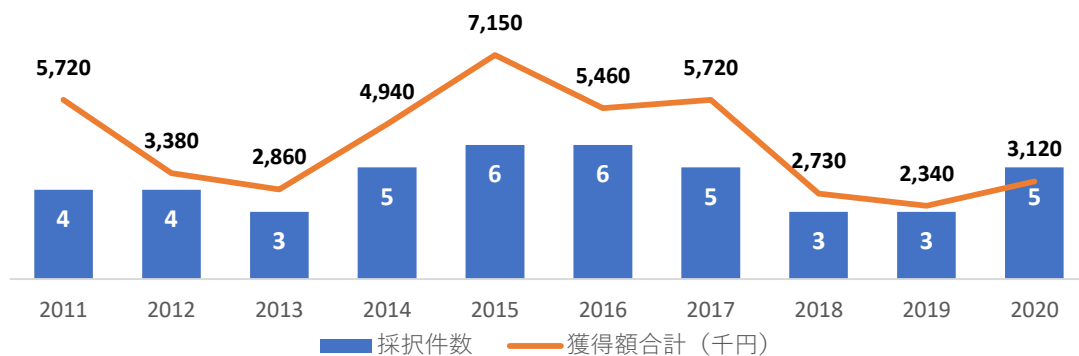
卒業後の仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ機会がありましたか？



Ⅲ. 研究

Ⅲ-1 研究助成金等

科学研究費採択件数・獲得金額の推移



研究代表者及び研究課題

2012～2014 太田暁子(非常勤講師)

菊亭家旧蔵資料にみる江戸期の公家における雅楽に関する研究

2015～2017 藤田 茂(准教授)

アンリ・デュティユー研究: 20世紀ポスト調性音楽におけるシステムと自由の問題

2011～2014 園田みどり(非常勤講師)

イタリア声楽曲の歌詞の文芸技法と音楽との関係-ヴェルディのオペラを対象として-

2011～2012 小日向英俊(非常勤講師)

現代日本における南アジア音楽の需要と変容

2011 太田暁子(非常勤講師)

ケンブリッジ大学所蔵の菊亭家旧蔵雅楽関係資料に関する調査研究

2015～2017 大和田和治(准教授)

構文に基づいた英語の自動詞・他動詞の習得を促す教材の開発

2015～2017 太田暁子(講師)

三味線譜を主軸とする義太夫節の音楽学的基礎研究

2011～2012 大和田和治(准教授)

日本人英語学習者の非対格動詞の習得を促す教材開発

2013～2018 福田裕美(准教授)

日本の民俗芸能の記譜資料に関する基礎的研究-音楽の伝承の観点から-

2019 福田裕美(准教授)

民族芸能公演をめぐるアートマネジメントの基礎的研究-伝承と創造の観点から

2015～2017 武石みどり(教授)

洋楽受容とジャンル形成・分化の軌跡-演奏記録・レコード・楽譜・演奏者の観点から

2014～2016 下道郁子(准教授)

寮歌の形成過程とその展開に関する研究-変容する音楽文化としての再検討

2018～2019 小日向英俊(客員教授)

在日インド系コミュニティの音楽とその動態

2018～2019 武石みどり(教授)

明治～昭和初期の洋楽受容の諸相-演奏の場・人・曲目・ジャンル・メディア

科学研究費獲得金額私立大学内本学順位



文化庁 文化芸術振興費補助金(大学における芸術推進事業)

日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメント人材育成

～「伝統×伝統」、「伝統×現代」、「伝統×地域」のクロスオーバーによる
新たな価値の創出を目指して～

本事業は、東京音楽大学附属民族音楽研究所を推進母体とし、日本とアジアの伝統的な音楽・芸能の公演等について「クロスオーバーによる活用」を主たるテーマに、総合的に企画・運営できるアートマネジメントの専門的知見を有した人材を育成することを目的としている。

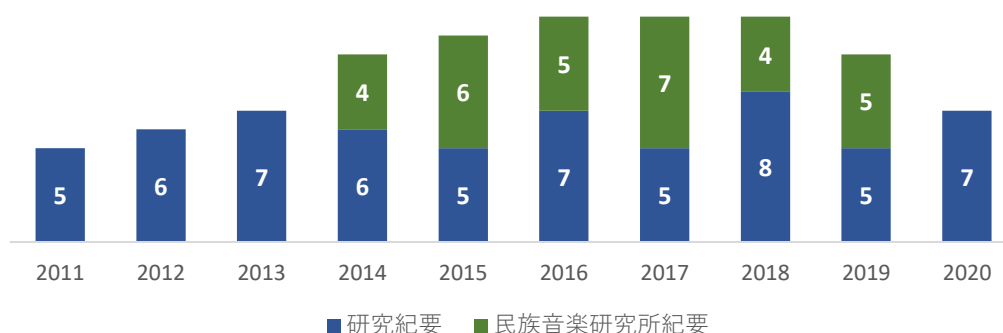
事業統括責任者 福田裕美（准教授）

令和元年度補助金 19,000,000円

令和2年度補助金 18,000,000円

Ⅲ-2 リポトリ

研究紀要掲載論文数 2011～2020



IV. 社会貢献

IV-1 地域・社会連携

目黒区との連携

「上目黒一丁目地区プロジェクト」の推進

本学は「中目黒・代官山キャンパス」の開校以来、東京都都市整備局及び目黒区より承認を受けた「上目黒一丁目地区プロジェクトまちづくり計画書」に定める7つの誘導目標（1.緑の保全・確保やオープンスペースの創出、2.景観への配慮、周辺環境との調和等、圧迫感のない施設計画、3.環境対策、省資源及び省エネルギーへの配慮、4.地域に開かれた防災機能の確保、5.周辺地域が育んできた歴史や文化への配慮、7.二つのまちを結ぶ散歩道の形成）の実現に努め、地域の環境・文化の発展に寄与している。

「東京音楽大学×目黒区教育委員会連携講座」の開講

本学は、「中目黒・代官山キャンパス」の開校を控えた2018年度から毎年度、目黒区教育委員会との連携のもとで、本学の教育・研究資源を生かした社会教育講座を開講し、地域の生涯学習の推進に貢献している。

「災害時における協力体制に関する協定」の締結

本学は2019年9月10日、大規模災害発災時の帰宅困難者の安全確保を図ることを目的として、「災害時における協力体制に関する協定」を目黒区と締結した。

「なかめオータムフェスタ2019」等地域行事への参加

本学学生は地域コミュニティ活動の一環として、中目黒商店街連合会が主催する「なかめオータムフェスタ2019」（2019年10月）に出演する等、地域行事を通じて目黒区民との交流を推進している。

「目黒区民センターの将来を考える大学生ワークショップ」への参加

本学学生が2020年10月、目黒区の招きにより「目黒区民センターの将来を考える大学生ワークショップ」に参加し、東京工業大学、東京都市大学の学生と共に、目黒区民センター及び周辺環境の将来構想について、音大生ならではの視点を生かした積極的提言を行なった。

豊島区との連携

「としまコミュニティ大学」の開講

本学は、豊島区と豊島区内7大学（東京音楽大学・学習院大学・川村学園女子大学・女子栄養大学・大正大学・帝京平成大学・立教大学）との包括協定に基づき、音楽大学の特色を生かした社会教育講座を2011年度より毎年度開校し、地域の生涯学習の推進に貢献している。

「庁舎ランチタイムコンサートwith東京音楽大学」の開催

本学は公益財団法人としまみらい文化財団及び豊島区との連携に基づき、1988年度から30年以上にわたり豊島区本庁舎において本学学生の演奏を区民に披露し、地域の文化的環境の醸成に貢献している。

「東アジア文化都市2019豊島」のパートナーシップ事業の展開

本学は2019年、「東アジア文化都市」の国内都市に選定された豊島区の助成を受け、『楽器がつむぐ東アジアの未来』と題した各種パートナーシップ事業（コンサート、講座等）を展開し、地域からの国際的な文化発信に貢献した。

目白駅エレベーター「銀鈴の塔」の音源制作

本学は2020年、目白地域協議会の依頼により、新設の目白駅エレベーター「銀鈴の塔」に内蔵する「赤い鳥小鳥」のチャイム音源を、本学作曲「映画・放送音楽コース」（現ミュージック・メディアコース）の教授陣の協力を得て制作し、地域文化の啓発に貢献した。

産学連携

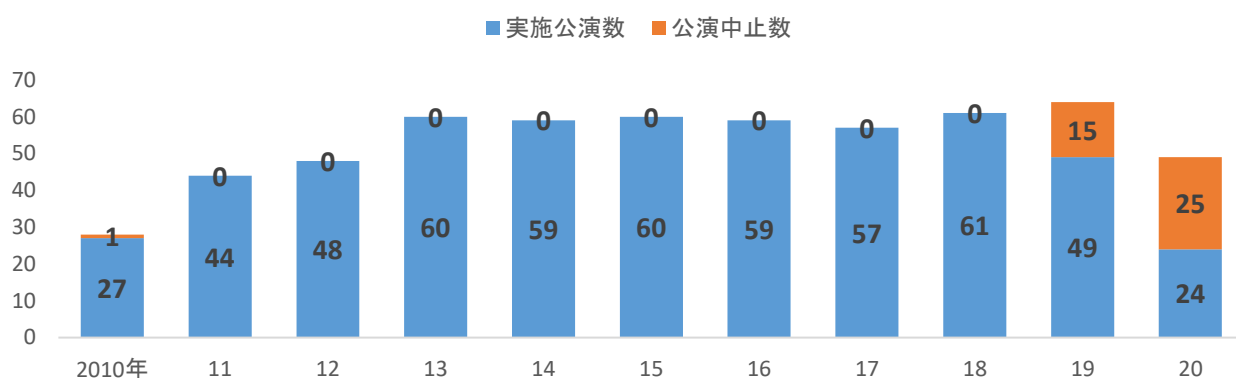
株式会社東急文化村との連携・協力に関する包括協定

本学と株式会社東急文化村との包括協定は2019年、文化振興に関する共同研究・共同事業、教育及び人材育成及び人的・物的資源の相互活用などについて密接に協力・連携することにより、芸術文化の振興に寄与することを目的として締結された。

その他各団体・地域・自治体等主催の演奏会に学生が出演（詳細：IV-2依頼演奏会参照）

IV-2 依頼演奏会

外部からの依頼演奏会 公演数推移 2010～2020



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1.みないけコンサート	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2.としまおやこコンサート			1		1				1		
3.回遊キャラバン			10	9	10	8	8	8	8	7	1
4.豊島区庁舎コンサート	6	5	5	5	5	4	6	6	6	4	2
5.マナビト開講式		1	1	1	1	1	1	1	1	1	
6.イケビズフェスタ								1	1	1	1
7.豊島区関連	1	0	1	0	0	2	3	6	4	4	0
8.目黒区関連								2	2	6	0
9.東京共済病院									3	3	
10.北本市文化センター		1	5	4	3	4	5	4	4	4	2
11.ラ・フォル・ジュルネ	0	0	1	1	1	2	1	0	1	1	
12.癒しの森コンサート		1	1	1	1	1	1	1	1	1	
13.マエストロ白熱教室				1	1	1	1	1	1	1	1
14.音大オケフェス	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1
15.合唱	6	6	7	5	6	8	6	4	7	4	4
16.京都国際音楽フェス	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
17.ペーゼンドルファー				12	12	12	12	11	6	4	6
18.表参道サロン	4	5	4	4	4	4	4	4	4	3	5
19.その他	8	22	8	13	10	9	7	4	7	2	0
公演数合計	27	44	48	60	59	60	59	57	61	49	24

1. みないけコンサート

主催：豊島区立南池袋小学校 開始：2002年12月15日（日）

実施対象：南池袋小学校児童とその保護者および近隣住民 会場：本学 100周年記念ホール

2. としまおやこコンサート

主催：東京商工会議所豊島支部青年部 開始：2012年11月11日（日）

実施対象：豊島区在住の小学生およびその保護者 会場：本学100周年記念ホール

3. 豊島区民ひろば 回遊音楽キャラバン

主催：豊島区 地域区民ひろば課 開始：2012年6月7日（木）

実施対象：豊島区在住の乳幼児およびその保護者をはじめとした多世代

会場：豊島区内の区民ひろば（回ごとに区民ひろばを変えて開催）

4. 豊島区庁舎ランチタイムコンサート（旧：豊島区庁舎ロビーコンサート）

主催：としま未来文化財団 開始：1988年11月10日（水）

実施対象：一般 会場：としまセンタースクエア（豊島区庁舎の多目的スペース）

5. としまコミュニティ大学「マナビト」開講式

主催：豊島区 学習・スポーツ課 開始：2011年6月4日（土）

実施対象：としまコミュニティ大学の年間登録者 会場：としまセンタースクエア

IV. 社会貢献

IV-2 依頼演奏会

6. イケビズフェスタ

主催：IKE・Biz としま産業振興プラザ指定管理者 としまのちから 開始：2017年11月23日（木・祝）
実施対象：豊島区民 会場：IKE・Biz としま産業振興プラザ
概要：ミニコンサート、楽器体験会等。

7. 豊島区関連

主催：豊島区、東京商工会議所豊島支部、豊島消防署など、開催内容により異なる
開始：明確な開始時期は不明
実施対象：開催内容により異なるが、主に豊島区民 会場：開催内容により異なる
概要：本学は、2007年11月に「豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定」を締結。

8. 目黒区関連

主催：目黒区、商工会議所目黒支部、目黒区芸術文化振興財団など 開始：2017年6月29日（木）
実施対象：開催内容により異なるが、主に目黒区民 会場：開催内容により異なる
概要：「上目黒一丁目地区プロジェクト」の事業について、まちづくり計画に目黒区と連携していくこととしており、音楽での地域貢献をまちづくりに資する取組としている。

9. 東京共済病院 コンサート

主催：東京共済病院 医療サービス推進委員会 開始：2018年4月2日（月）
実施対象：東京共済病院で療養中の患者およびその家族、近隣住民
会場：東京共済病院 南館1階・エントランス

10. 北本市文化センター 東京音楽大学提携事業シリーズ

主催：北本市文化センター指定管理者 acTrC 北本ネットワーク 開始：2010年9月23日（木・祝）
実施対象：一般 会場：北本市文化センター ホールロビー
概要：北本市と本学との音楽文化事業の連携に関する協定により、音楽による地域文化の創造をめざし、活力ある個性豊かな地域文化の形成と発展に寄与することを目的としたものである。

11. ラ・フォル・ジュルネ

主催：ラ・フォル・ジュルネTOKYO運営委員会 開始：2012年5月3日（木・祝）
実施対象：一般 会場：東京国際フォーラム、東京芸術劇場
概要：ラ・フォル・ジュルネは、1995年フランス西部ナントで始められたクラシック音楽祭であり、日本では2005年から東京国際フォーラムで開催が始まったイベントである。

12. 癒しの森コンサート

主催：癒しの森コンサート実行委員会 開始：2011年9月3日（土）
実施対象：信濃町民、信濃町への観光客 会場：信濃町総合体育館
概要：2012年2月に、本学と長野県信濃町、信濃町森林療法研究会の三者により「癒しの森協定」を締結。心豊かで活力ある地域社会の実現を主目的のひとつとして開催される演奏会。

13. マエストロの白熱教室

主催：青葉区民文化センター フィリアホール 開始：2013年9月29日（日）
実施対象：一般 会場：青葉区民文化センター フィリアホール
概要：本学で指揮を学ぶ学生たちと、広上淳一教授による対話型の公開授業（レッスン）として開催。生涯にわたって音楽を楽しんでいくためのより深い「学び」を提供する企画。

14. 音楽大学オーケストラフェスティバル／音楽大学フェスティバルオーケストラ

主催：音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員会、東京芸術劇場、ミューザ川崎シンフォニーホール
開始：2009年12月13日（日） 実施対象：音楽大学の学生、一般
会場：東京芸術劇場、ミューザ川崎シンフォニーホール

16. 京都・国際音楽学生フェスティバル

主催：ロームミュージックファンデーション 開始：2001年5月26日（土）～30日（水）
実施対象：一般 会場：京都府立府民ホール「アルティ」
概要：国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催。本学では、数年に一度、代表校として出演している他、選抜学生が合同演奏に参加している。

17. ベーゼンドルファー ランチタイムコンサート／アフタヌーンコンサート

主催：ベーゼンドルファー東京 開始：2013年4月19日（金）
実施対象：一般 会場：ベーゼンドルファー東京 展示サロン（ランチタイムコンサート）

18. 東京音楽大学表参道サロンコンサートシリーズ

主催：カワイ音楽振興会 開始：2008年1月28日（月）
実施対象：一般、カワイ表参道店利用者 会場：カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」

IV-3 社会人講座

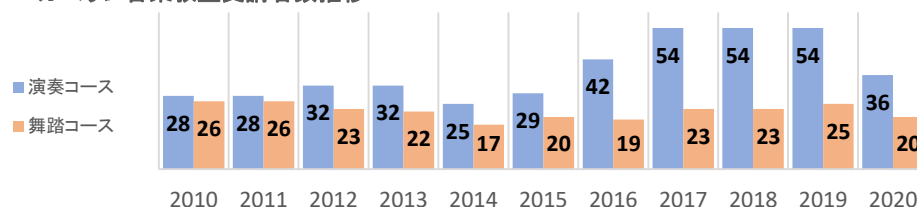
1. 附属民族音楽研究所主催 実技と講義で学ぶ社会人のための音楽講座

ガムラン講座 (年間30回程度 有料)

ガムランの演奏・舞踊を広く学んで頂けるよう社会人を対象としたガムランの講座を開講。

- 1.合奏コース 2.舞踊コース

ガムラン音楽教室受講者数推移



民族楽器入門講座 (春、秋各6回 有料)

世界各国の珍しい民族楽器の奏法や歴史を学ぶ講座を開講。※2020年度は開講無し

民族楽器入門講座受講者数・開講講座数推移



民族音楽等 社会人特別講座

邦楽、古楽器及び民族楽器を習得しようとする社会人が、本講座における個人レッスン(含アンサンブル)で、楽器もしくは舞踊の実技を学ぶ。

- 1.教養コース 2.研究コース (有料)

個人レッスン 年間25回、1回40分 講義 年間20回、1回80分

〈民族楽器〉

シタール[インド]、ジャワ・ガムラン[インドネシア]、トンコリ[アイヌ]

口琴[ロシアなど]、コムズ[キルギス]、二胡[中国]、馬頭琴[モンゴル]

月琴[明清楽]、琴学、パンフルート[ルーマニア]、龍笛、各種民族太鼓

〈民族舞踊〉 〈邦楽器〉

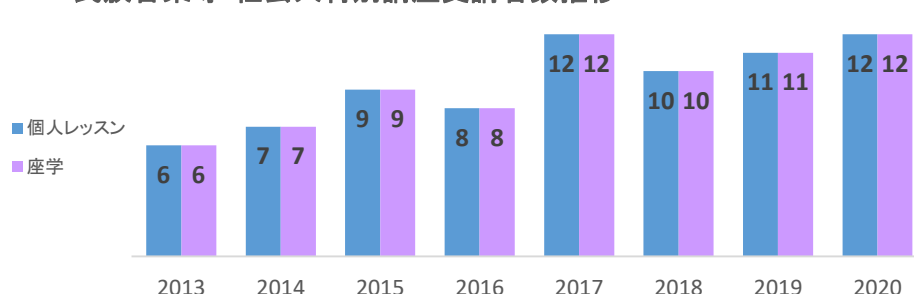
ジャワ舞踊 箏、三味線、尺八、琵琶

〈古楽器〉

リコーダー、リュート[ルネサンス、バロック]、ビウエラ、ギター[ルネサンス、バロック]

チェンバロ

民族音楽等 社会人特別講座受講者数推移



2. ピアノ個人レッスン社会人講座 (有料)

初心者から上級者、プロフェッショナルな方々までを対象にした個人レッスン形式の社会人講座。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
申込者数	29名	25名	29名	募集無し

※2020年度はコロナ禍のため開講無し

3. 東京音楽大学指揮研修講座 (有料)

指揮にかかわる技術や知識を体系的かつ実践的に修得することを通して、創造性に満ちたリーダーを育てる東京音楽大学作曲指揮専攻の独創的な教育を、社会人などを対象に、広く一般に公開。

①指揮レッスンの受講(半期15回程度) ②指揮マスタークラスへの参加(不定期)

2020年度秋期は、31名が受講 ※2020年度春期はコロナ禍のため開講無し。

4. 付属民族音楽研究所主催 公開講座 (無料)

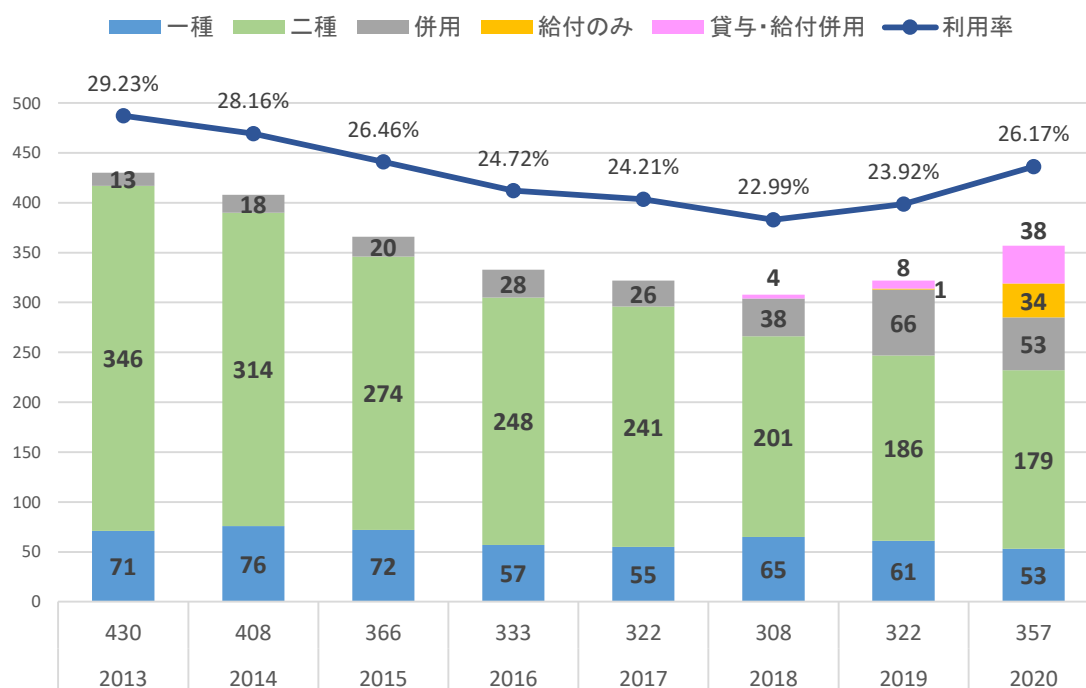
2010年度～2020年度の実績

年度	内 容(タイトル)	来場者数
2010年度	グルジア民謡の声楽ポリフォニーについて	80
	中国民族音楽楽器二胡を聴く	350
	日本の音	70
	ドゥルバド声楽の現在	139
2011年度	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く～」	130
	「東京音楽大学民族音楽研究所寄託の明清楽器の修理について」	50
	付属図書館ロビーコンサート	70
2012年度	「伊福部昭 昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の貳】」	130
	「伊福部昭 室内楽作品を集めて」	350
2013年度	Kahlil Cummings パーカッションワークショップ	120
	竹のガムラン『チャルン』と舞踊『レンゲル』のワークショップ	150
	ヤングピープルズコーラス・オブ・ニューヨークシティ～異文化教育とその実践～	250
	伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の参】～	120
	阿寒の歌(ウボボ)をめぐる～伝統音楽の五線表現の視点から～	250
2014年度	「アメリカとインド～サロードの楽しみ」	80
	世界音楽特講A「インドネシア ロテ島伝統楽器 ササンドウ」	60
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【その四】」	120
2015年度	リズム楽「音楽と生活のエヴォリューション」	80
	「伊福部昭 昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【その五】」	120
	「ジャワ・ガムランの合奏の楽しみ～演奏・舞踏とワークショップ」	150
	「楽器に見る東西交流:ウードとリュート」	80
2016年度	「池辺晋一郎～音楽をする人に伝えたいこと」	80
	「伊福部昭の原点を探る」	200
	「シルクロード楽器の響き～中国現代箏篋芸術の発見と伝番」	150
	「インド音楽の哲学～ドゥルバド歌謡から」	80
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の六」	120
	「トランシルヴァニアの鼓動～Zoord(口琴)」	100
	「池辺晋一郎～誰の心の中にもある音楽」	80
2017年度	「ガムランと西洋音楽の出会い」	150
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の七】～御座楽と明清楽」	220
	「音楽は自然とともに」	80
	「中央アジア・キルギス民族楽器アンサンブル(オールドサフナ)を聴く」	180
2018年度	「韓国の伝統楽器:カヤグムとチャングの歴史・特徴・奏法」	150
	「『チョーミン楽団が行く』上映会及び『ミャンマー音楽文化講座』	100
	「童謡作曲家の世界～成田為三から中山晋平まで～」	200
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の八」	150
	「童謡歌手の不思議な世界～かわいいは作れる?～」	180
2019年	「アンデスの楽器の世界」	250
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の八」	120
	「アジアの声のワークショップ～インドの歌謡ドゥルバド」	50
2020年	「中国伝統楽器の響き」	150
	パンフルートの贈り物～ ルーマニアの風に乗せて～(オンライン)	50
	モンゴル音楽の世界	200

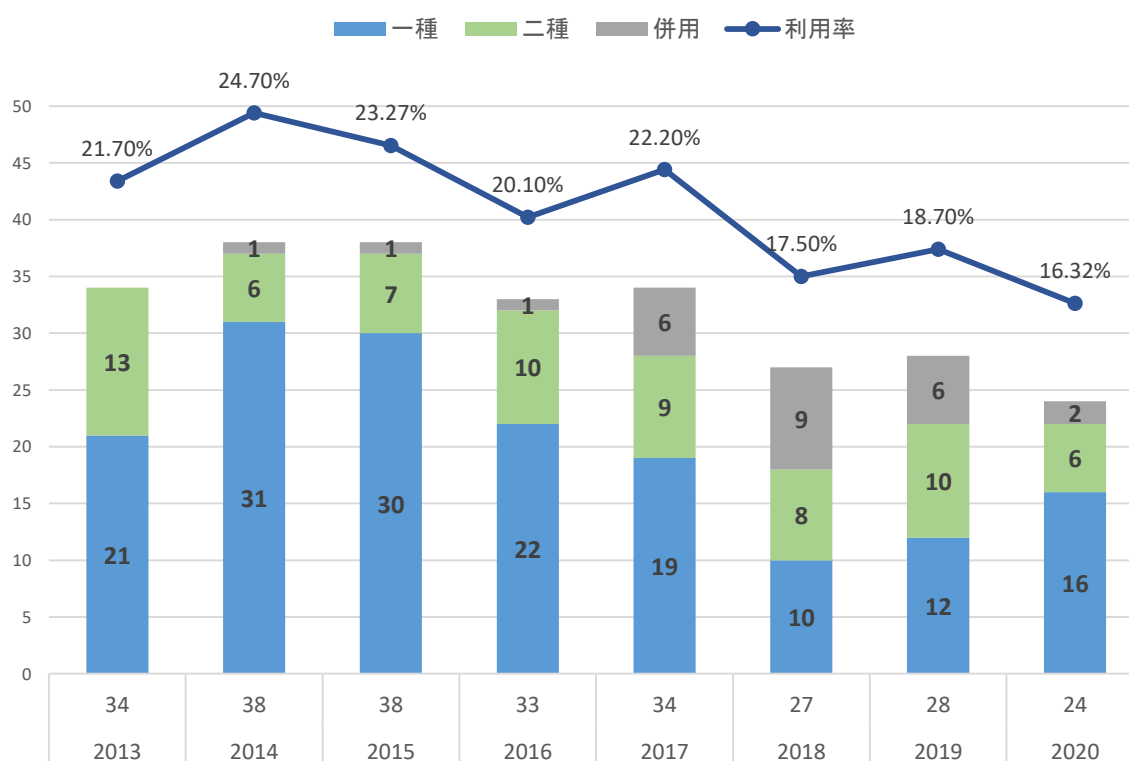
V. 学生生活

V-1 奨学金

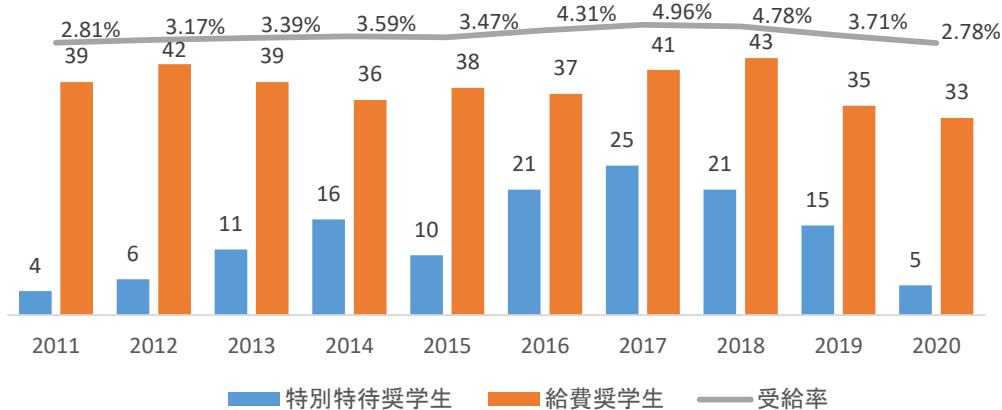
日本学生支援機構奨学金利用者数・利用率(学部)



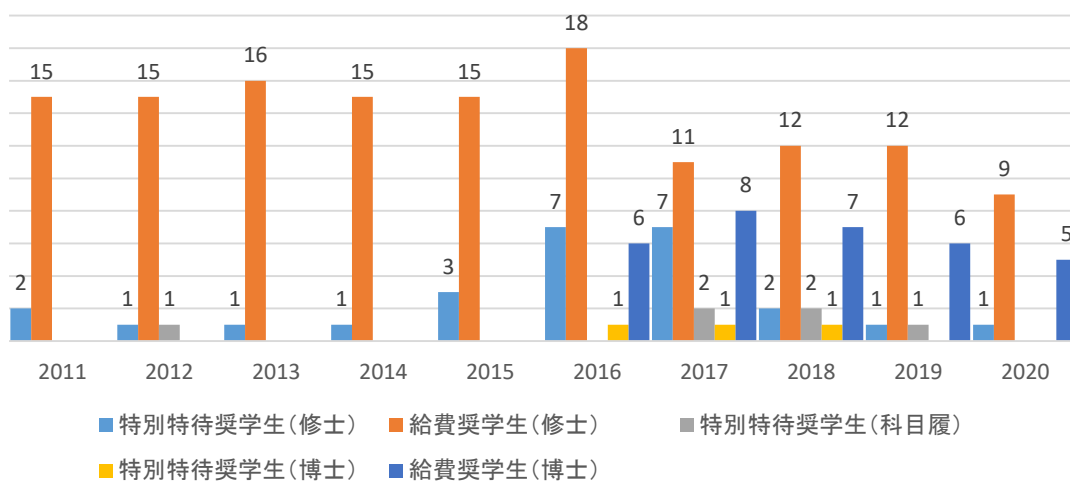
日本学生支援機構奨学金利用者数・利用率(大学院)



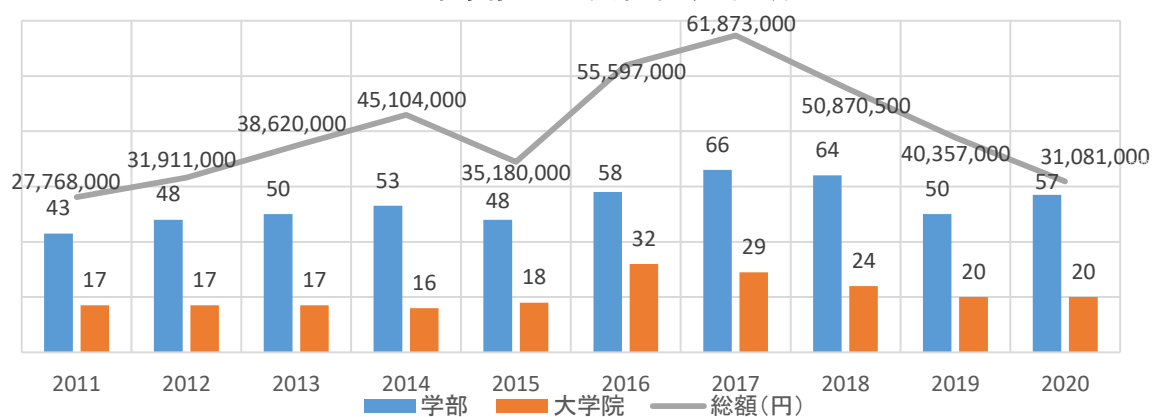
校内給費奨学金受給者数・率（学部）



校内給付奨学金受給者数(大学院)

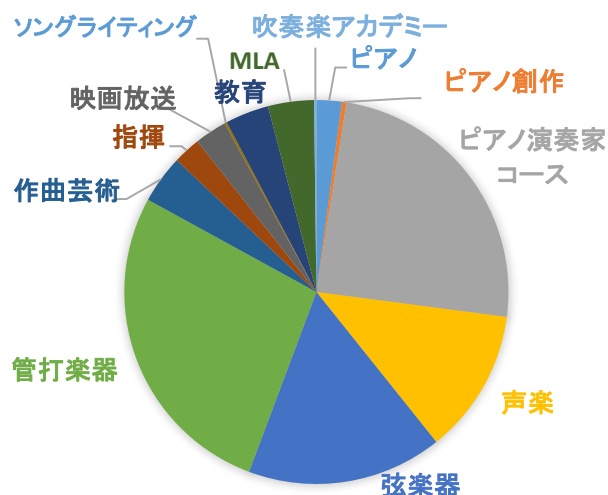


校内給費奨学金受給者数・総額

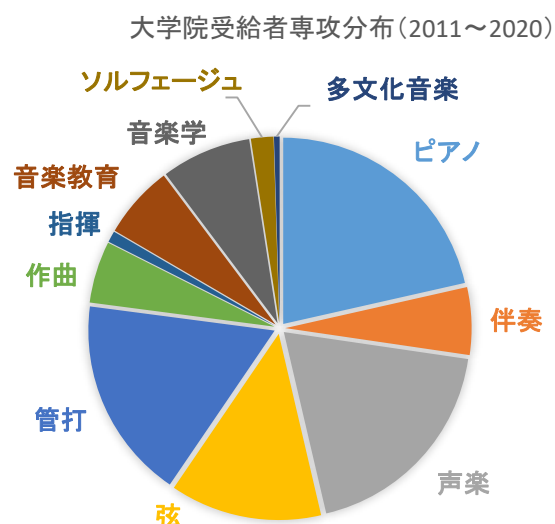


V-1 奨学金

学内給付奨学金受給者の専攻分布(学部)



学内給付奨学金受給者の専攻分布(大学院)



V-1 奨学金(学外)

よんでん文化振興財団	1999年～	17名
戸田育英財団	2006年～	13名
山田貞夫音楽財団	2014年～	延べ18名
青山財団	2015年～	17名
福島育英会	1987年～	39名
明治安田クオリティオブライフ文化財団	1999年～	22名

V-2 授業料減免

大規模自然災害被災学生への授業料減免 2011～2020

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	延べ人数	総減免額(円)
東日本大震災	12	15	16	16	16	11	7	4			97	85,520,850
熊本地震						2	1	2	2	1	8	7,626,100
西日本豪雨								1	1	1	3	4,089,250
令和元年台風19号										1	1	46,100

複数就学者授業料減免 2010～2020

年度	件数	総減免額(円)
2010	17件	4,009,000
2011	17件	4,431,000
2012	11件	2,443,000
2013	15件	3,944,800
2014	15件	2,867,800
2015	14件	2,765,000

年度	件数	総減免額(円)
2016	15件	4,063,000
2017	12件	2,788,000
2018	15件	3,882,000
2019	13件	3,294,000
2020	14件	3,780,000

V-3 学生相談室

学生相談室 相談件数・面談件数

	相談者数	延べ面談件数	連携活動件数	備考
2010	55	152		
2011	54	257		
2012	67	354		
2013	82	331		保護者、教職員含む
2014	115	602		保護者、教職員含む
2015	72	418	310	保護者、教職員含む
2016	63	395	258	保護者、教職員含む
2017	75	603	156	保護者、教職員含む
2018	70	680	191	保護者、教職員含む
2019	66	525	234	保護者、教職員含む
2020	50	512	136	保護者、教職員含む

V-4 学生寮

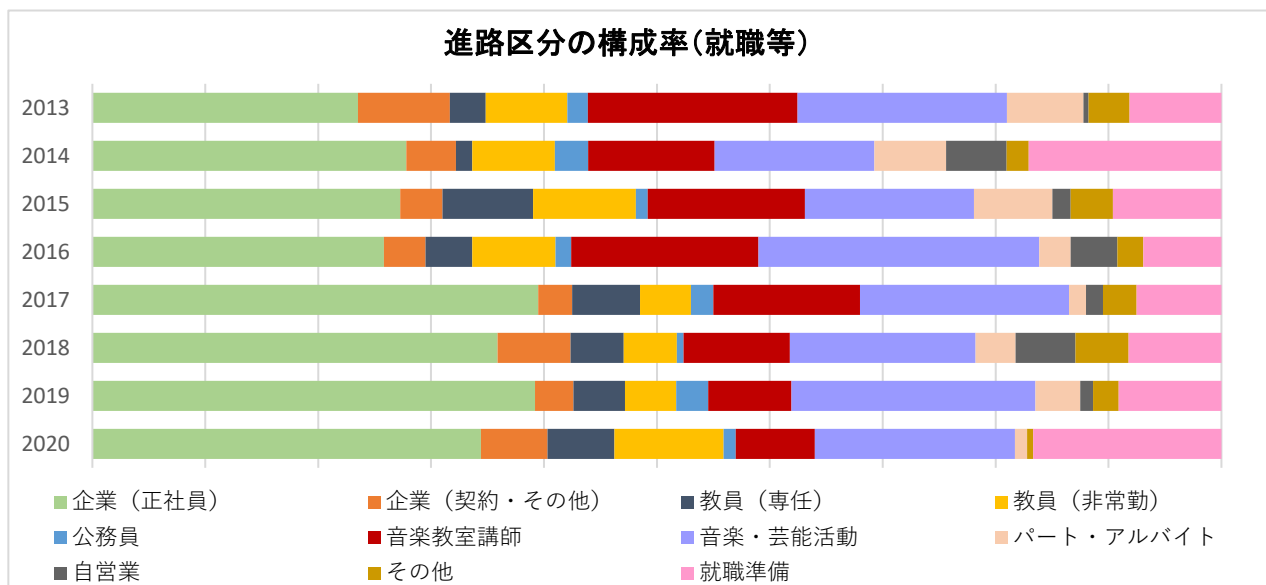
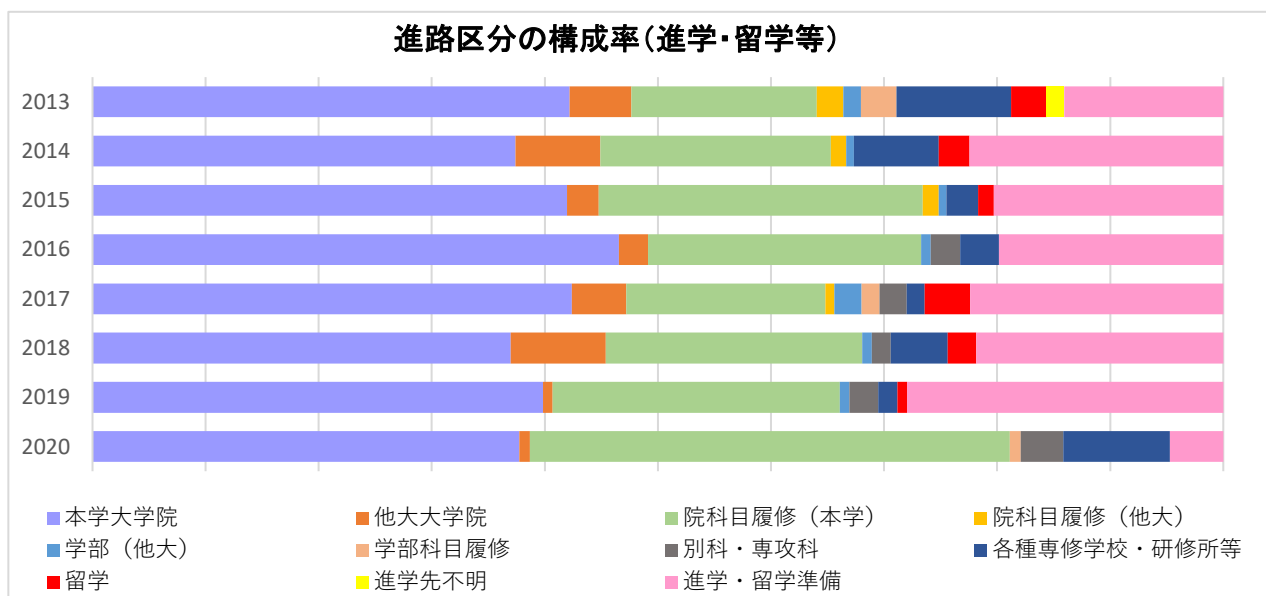
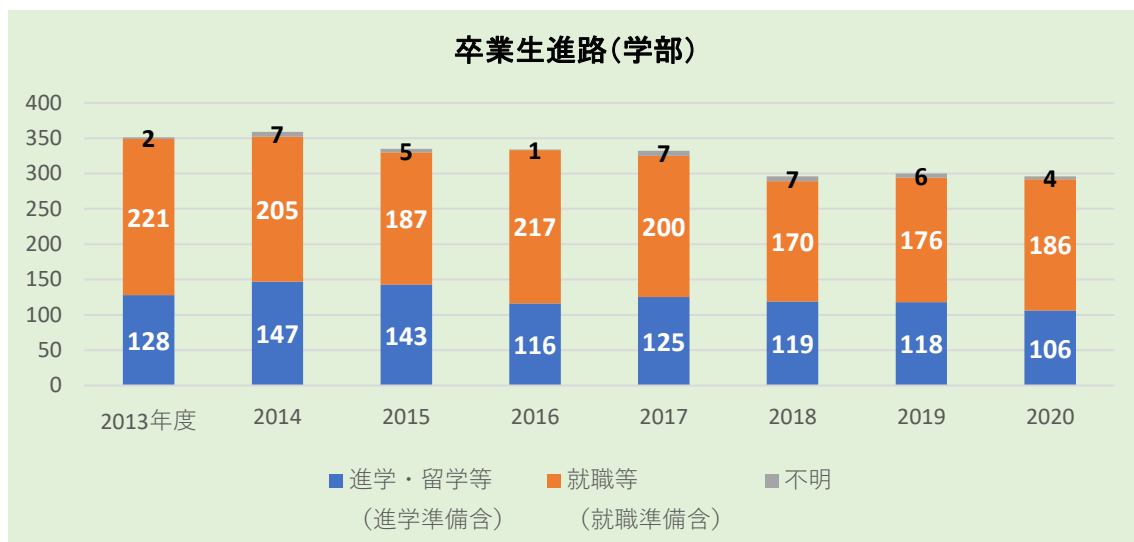
寮生数推移 2010～2020

学部生定員：92名 46室（付属高校生分は含まない）

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2020
計	86	88	92	88	80	74	84	90	89	77
1年生	27	28	25	23	27	21	31	36	24	29
2年生	22	23	26	20	17	23	18	25	33	10
3年生	18	20	20	25	16	14	21	14	22	16
4年生	19	17	20	20	20	16	14	15	10	22
院生			1							

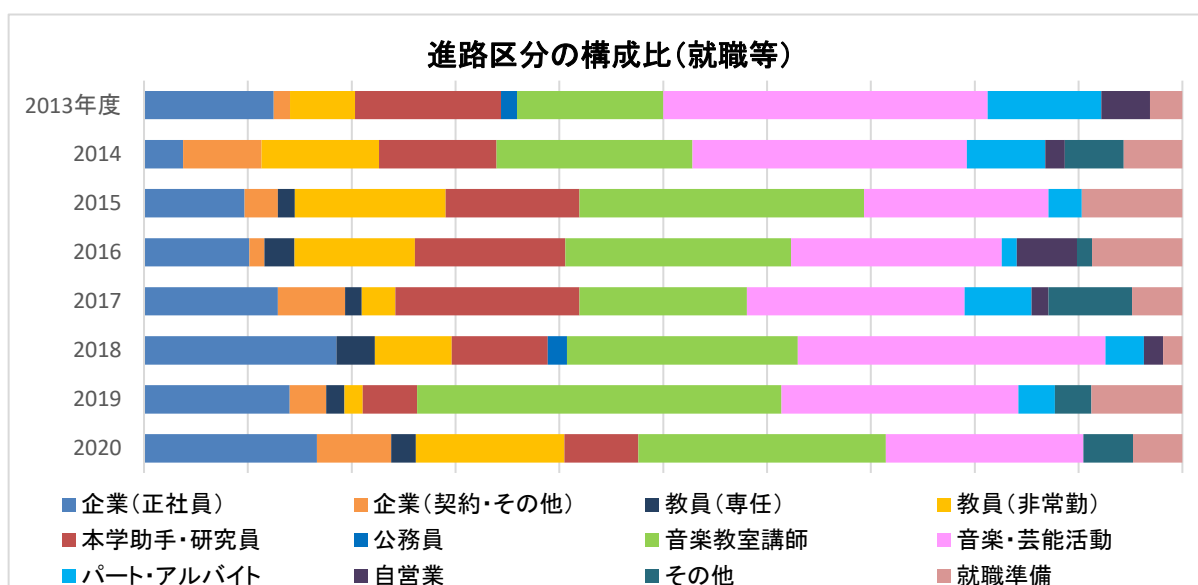
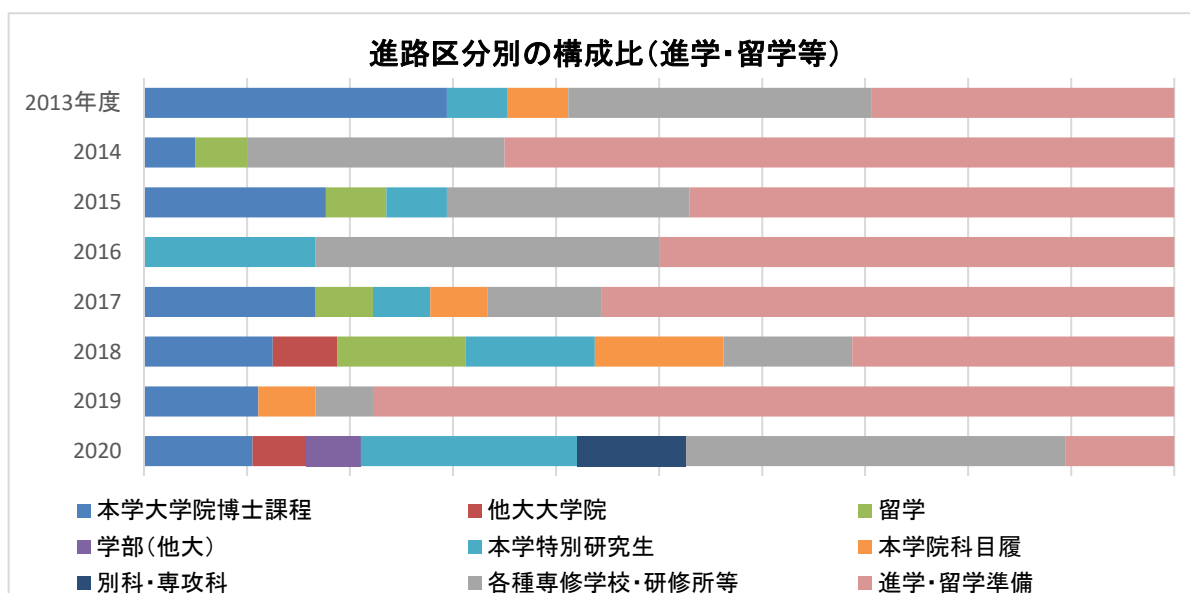
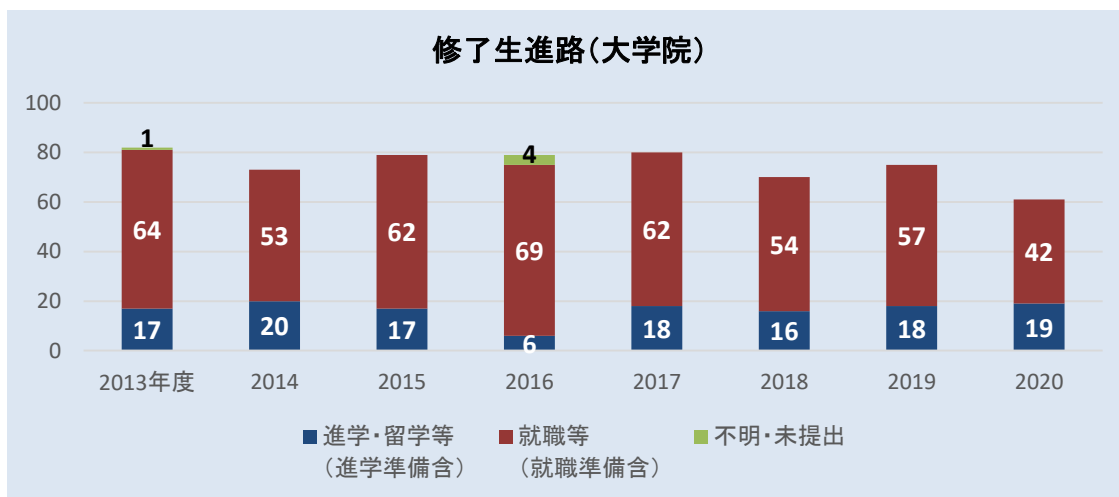
IV. 進路

IV-1 学部



Ⅳ. 進路

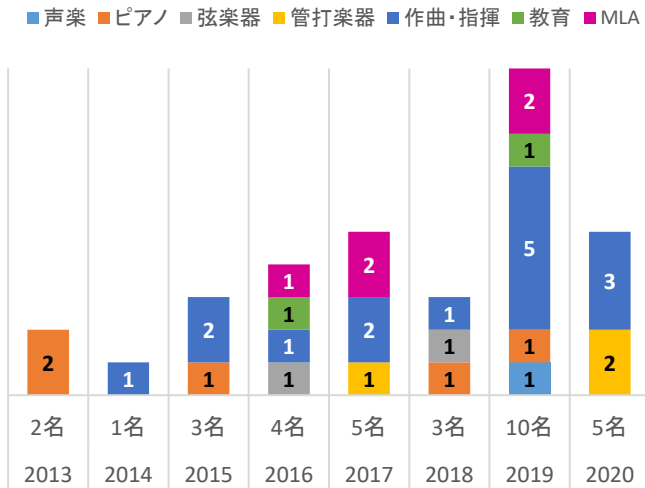
Ⅳ－2 大学院



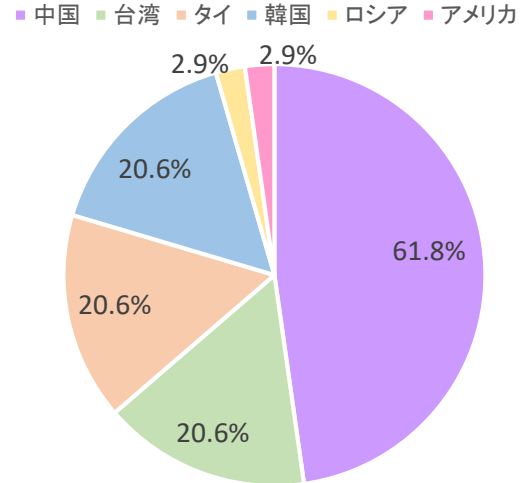
VII. グローバル

VII-1 留学生数

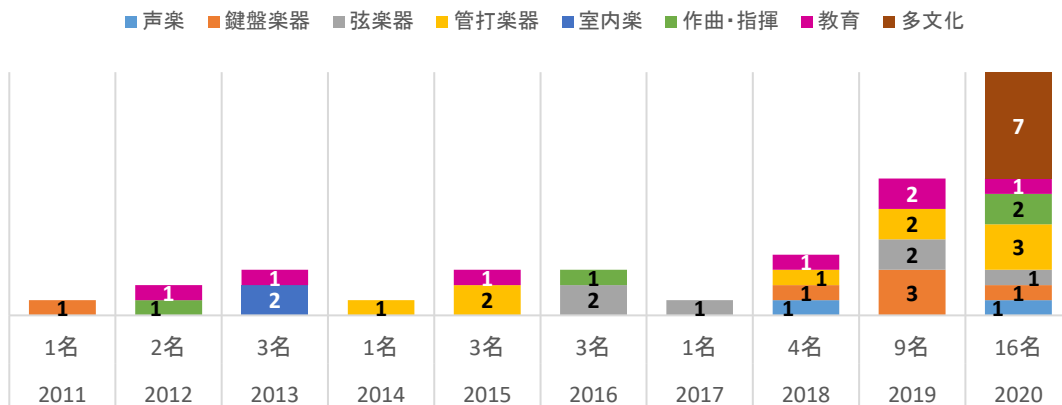
留学生入学者数(学部)



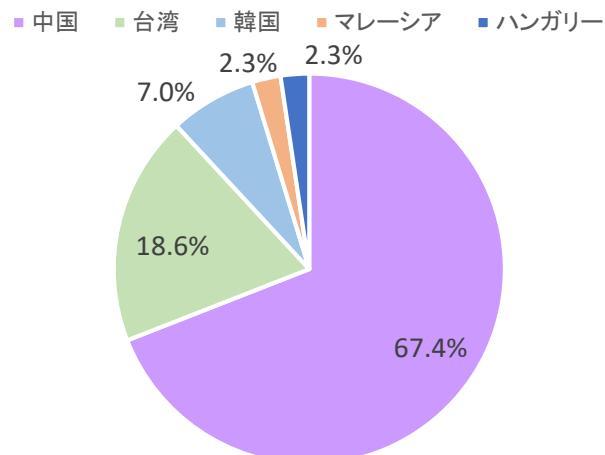
留学生・国籍分布(学部)2013～2020



留学生入学者数(修士)



留学生国別分布(修士)2011～2020



Ⅶ. グローバル

Ⅶ-1 受入留学生数

交換留学生受入数

年度	提携学校名	専門	人数
2015	ローマ・サンタチェチーリア音楽院	作曲	1
2016	シベリウス・アカデミー	作曲	1
2016	シベリウス・アカデミー	民族音楽	1
2017	モーツァルトテウム大学	ヴィオラ	1
2017	リスト音楽院	ピアノ	1
2018	リスト音楽院	民族音楽	1
2019	シベリウス・アカデミー	ピアノ	1
2019	リセウ音楽院	ピアノ	1
2019	リセウ音楽院	ギター	1

Ⅶ-2 派遣留学生数

短期留学奨学生数 2010～2020

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	計	声楽	ピアノ	弦	管打	作曲
モーツァルトテウム音楽大学 夏期国際音楽アカデミー	10	8	9	10	9	8	8					62	21	12	14	15	
シベリウス音楽院	1		1			1	1		2	1		7		5	1	1	
英国王立音楽院	2			2		1	1	1	1			8		6(1)	2		
ギルドホール音楽演劇学校	2	3	2	3	2	2	2	4	6	6		32	9	21	2		
ハノーファー音楽演劇メディア大学			1			1	1	2	1	1		7		6(1)	1		
リュエイク＝マルメゾン地方音楽院				1	2	4	1	2	1			11				11	
リスト音楽院					1	2			2	2		7		7			
ローマ・サンタチェチーリア音楽院						1		2	5			8	8				
Folkヴァング芸術大学								1				1		1			
国際・ホルンターゲ								2		2		4				4	
国際アンサンブル・モデルン・アカデミー								1	1			2					2
サセックス大学									2			2		1(1)	1(1)		
中国中央音楽院									1			1					1
リセウ高等音楽院										1		1		1			
ショパン音楽大学										1		1		1			
ロイヤルバーミンガム音楽院										1		1				1(1)	
モスクワ音楽院										1		1		1			
ハダースフィールド大学										2		2		1(1)		1(1)	
年度別合計	15	11	13	16	14	20	14	15	22	18		158	38	63	21	35	3

()内はミュージック・リベラルアーツ専攻生

バイエルン州立青少年オーケストラ 合宿・演奏会派遣学生数

楽器	2015		2016		2017		2018		2019		合計
	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏*	冬	夏	冬	
ヴァイオリン	3	4	3	1	1	1		1	1	1	16
ヴィオラ	3	3	3	3	1	2		3	3	3	24
チェロ		3		1		1		1	1		7
コントラバス	4	2	2	2		1		1	1		13
指揮の勉強					1						1
合計	10	12	8	7	3	5		6	6	4	61

* 2018年夏期は、大学の授業と重なった為、派遣を中止。

VII-3 国際交流

短期留学制度 提携先(2021.3.1現在)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ・ギルドホール音楽演劇学校(イギリス) | ・リセウ高等音楽院(スペイン) |
| ・ザルツブルク・モーツァルテウム大学(オーストリア) | ・インターナショナル・ホルンターゲ(オーストリア) |
| ・ハノーファー音楽・演劇・メディア大学(ドイツ) | ・ウィーン国立音楽大学(オーストリア) |
| ・リスト音楽院(ハンガリー) | ・モスクワ音楽院 |
| ・ショパン音楽大学(ポーランド) | ・バイエルン州青少年オーケストラ(ドイツ)* |
| ・シベリウス・アカデミー(フィンランド) | |

国際交流演奏会 2015～

2015	10月	第一回東京音楽大学・ローマ・サンタチェチーリア音楽院交換留学生紹介コンサート
2017	6月	New Connections 東京音大の学生による国際交流コンサート
2017	7月	ソウル芸術高校・東京音楽大学交流演奏会 東京音楽大学教師によるマスタークラス
2017	12月	リスト音楽院・東京音楽大学交換留学プログラム2017修了演奏会
2017	1月	モーツァルテウム大学・東京音楽大学交換留学プログラム2017演奏会
2018	5月	ソウル芸術高校・東京音楽大学交流演奏会 東京音楽大学教師によるマスタークラス
2019	6月	京都・国際音楽学生フェスティバル2019
2019	5月	東京音楽大学&南京芸術学院 交歓演奏会
2019	6月	日本・ポーランド国交樹立100周年記念交流コンサート
2019	11月	東アジア文化都市2019豊島パートナーシップ事業「東アジアとクラシック音楽その現在と未来」
2019	11月	国立台北芸術大学 東京音楽大学 交流演奏会
2020	2月	交換留学プログラム 2019年度修了演奏会

海外演奏旅行

1978年	管弦楽団 ・ 吹奏楽団「創立70周年記念アメリカ親善演奏旅行」 ロサンゼルス／アリゾナ／オレゴン／サクラメント（指揮：森正）
1979年	管弦楽団 ・ 吹奏楽団「中国親善演奏旅行」 北京／杭州／上海（指揮：森正）
1981年	管弦楽団 ・ 吹奏楽団「東西ドイツ演奏旅行」 カール・マルクス・シュタット／ゲーラ／ベルリン／ボン（指揮：森正）
1983年	管弦楽団 ・ 吹奏楽団「オーストリア・ハンガリー演奏旅行」 リンツ／ウィーン／ブダペスト／デブレゼン（指揮：森正）
1984年	管弦楽団「東西ドイツ演奏旅行」 シュタスフルト／西ベルリン／ライプツィヒ／ドレスデン／イエナ／ワイマール ／東ベルリン／ホイエルスヴェルダ（指揮：オラフ・コッホ）
1988年	合唱団「ハンガリー・オランダ演奏旅行」 ブダペスト／アムステルダム（指揮：小林研一郎）
1993年	シンフォニーオーケストラ「アメリカ演奏旅行」 シカゴ／ニューヨーク／ワシントンD.C.（指揮：広上淳一）
1998年	合唱団 ・ ピアノ協奏曲ソリスト「オランダ演奏旅行」 ユトレヒト／アムステルダム（指揮：小林研一郎）
2000年	室内楽アンサンブル「ドイツ・オーストリア演奏旅行」 ハノーファー／ベルリン／ケルン／ザルツブルク（指揮：西村朗）
2009年	シンフォニーオーケストラ「ドイツ・チェコ・オーストリア演奏旅行」 ミュンヘン／プラハ／バンベルク／ウィーン（指揮：広上淳一）
2011年	吹奏楽「台湾演奏旅行」 台北／台中／高雄（指揮：汐澤安彦）
2012年	シンフォニーオーケストラ「チェコ・ハンガリー・オーストリア演奏旅行」 テブリツェ／プラハ／ブダペスト／グラーツ（指揮：小林研一郎）

インドネシア国立芸術大学スラカルタ校（Institut Seni Indonesia Surakarta）との 教育研究連携

2019年8月28日、インドネシア国立芸術大学スラカルタ校（Institut Seni Indonesia Surakarta）において、本学と同大学との教育研究連携に関する学術協定覚書（Memorandum of Understanding for Educational Cooperation between Tokyo College of Music (TCM) Japan and Institut Seni Indonesia (ISI) Surakarta）の調印式が行われました。協定は、学生の交流、教員ならびに研究者の交流、視聴覚資料や学術書に関する研究交流、共同研究、演奏会やセミナーの共同開催、そのほか人的・物的資源の相互活用など、密接に協力、連携し、芸術文化の振興に寄与することを目的としています。

VIII. 財務状況

事業活動収支計算書関係比率

事業活動収支計算書関係比率

※1.

※2.

	科目	差出基準	2016	2017	2018	2019	2020	評価	2019	2019
①	人件費比率	人件費／経常収入	62.62%	65.12%	68.11%	65.43%	61.35%	▼	56.10%	48.70%
②	人件費依存率	人件費／学生生徒納付金	80.86%	84.04%	84.04%	81.73%	75.25%	▼	70.00%	95.40%
③	教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	22.80%	23.74%	25.27%	34.80%	38.48%	△	34.80%	40.40%
④	管理経費比率	管理経費／経常収入	8.76%	8.91%	10.73%	13.68%	13.16%	▼	11.50%	7.00%
⑤	寄付金比率	寄付金／事業活動収入	0.85%	0.86%	1.81%	1.73%	0.87%	△	0.70%	1.90%
⑥	補助金比率	補助金／事業家通津収入	9.66%	9.63%	9.17%	11.04%	12.02%	△	9.30%	9.20%
⑦	基本金組入比率	基本金組入額／事業活動収入	39.64%	62.54%	85.99%	41.70%	19.40%	△	13.20%	8.80%

評価: △高いほうが望ましい ▼低いほうが望ましい

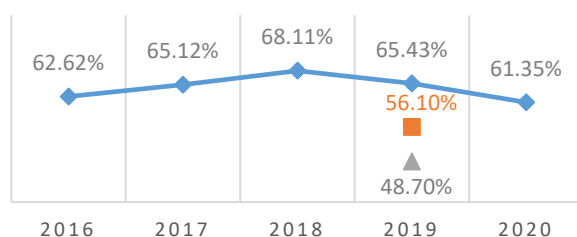
※1. 芸術系21大学の平均 ※2. 全国平均

◆ 本学

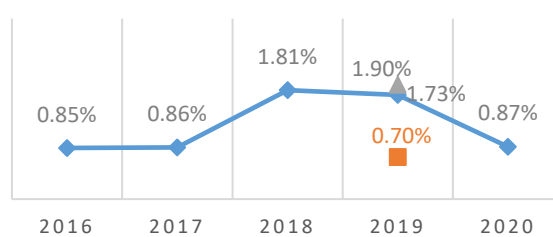
■ 芸術系21大学平均(2019年度)

▲ 全国平均(2019年度)

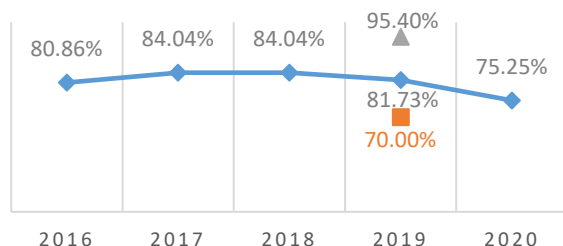
①人件費比率 ▼



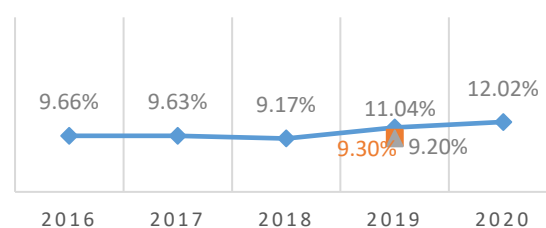
⑤寄付金比率 △



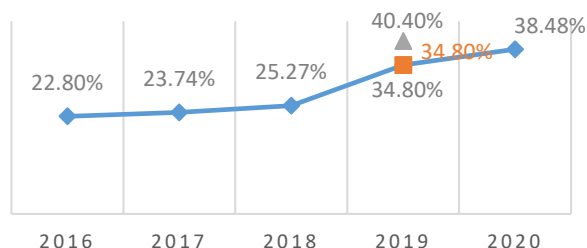
②人件費依存率 ▼



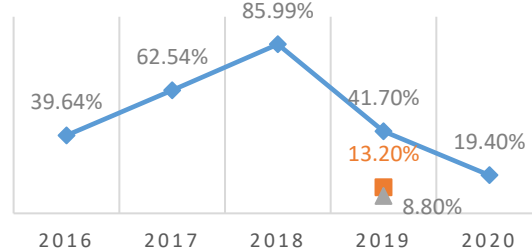
⑥補助金比率 △



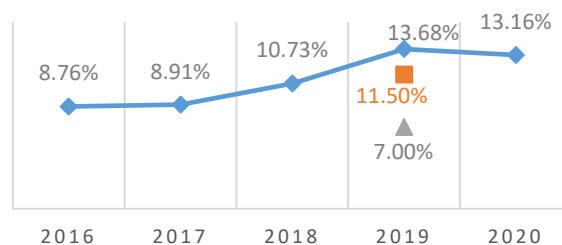
③教育研究費比率 △



⑦基本金組入比率 △



④管理経費比率 ▼



Ⅷ. 財務状況

事業活動収支計算書関係比率

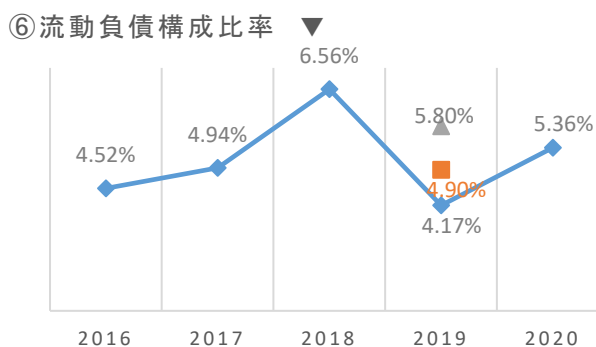
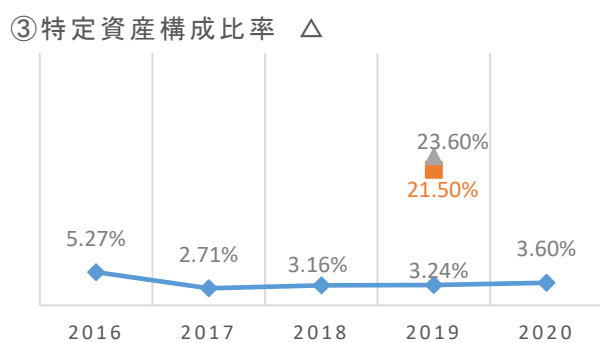
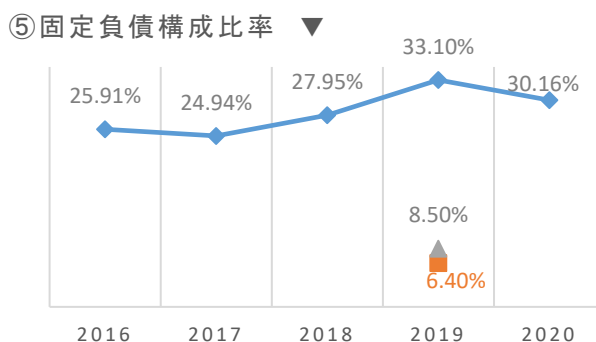
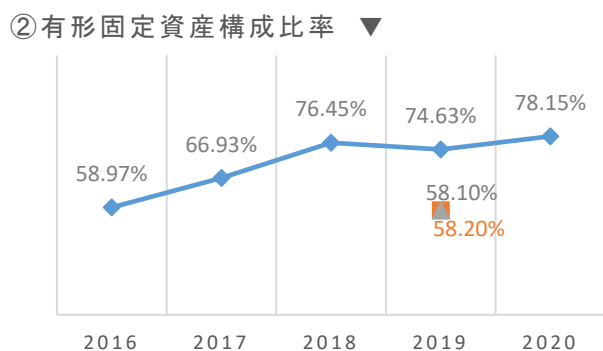
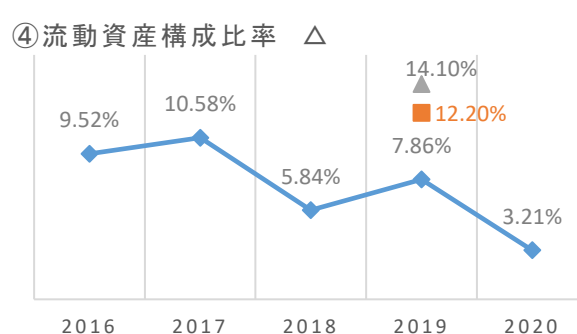
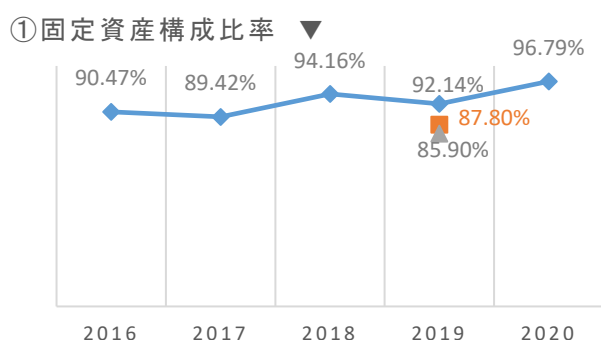
※1. ※2.

	科目	算出基準	2016	2017	2018	2019	2020	評価	2019	2019
①	固定資産構成比率	固定資産／総資産	90.47%	89.42%	94.16%	92.14%	96.79%	▼	87.80%	85.90%
②	有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	58.97%	66.93%	76.45%	74.63%	78.15%	▼	58.20%	58.10%
③	特定資産構成比率	特定資産／総資産	5.27%	2.71%	3.16%	3.24%	3.60%	△	21.50%	23.60%
④	流動資産構成比率	流動資産／総資産	9.52%	10.58%	5.84%	7.86%	3.21%	△	12.20%	14.10%
⑤	固定負債構成比率	固定負債／負債＋純資産	25.91%	24.94%	27.95%	33.10%	30.16%	▼	6.40%	8.50%
⑥	流動負債構成比率	流動負債／負債＋純資産	4.52%	4.94%	6.56%	4.17%	5.36%	▼	4.90%	5.80%

評価: △高いほうが望ましい ▼低いほうが望ましい

※1. 芸術系21大学の平均 ※2. 全国平均

◆ 本学 ■ 芸術系21大学平均(2019年度) ▲ 全国平均(2019年度)



TCM

Tokyo College of Music

東京音楽大学